オーナーズマニュアル

Manuel d'utilisation et entretien

オーナーズマニュアル

日本語

本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間はモーターサイクルと共に保管しなければなりません。
所有者が変更される場合は、本取扱説明書も新しい所有者に譲渡されなければなりません。
本取扱説明書は大切に保管しなければなりません。損傷や紛失した場合、速やかにDucati オフィシャルディーラーまたはサービスセンターに新しい取り扱い説明書を請求してください。

ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性はデザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず更新され、したがって本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は予告なく、またその義務を負わず、いつでも変更する権利を有します。このため、お客様の実際のモーターサイクルと比較すると、いくつかの図に違いがある可能性があります。

はじめに

この度はDucati製品をお買い上げ頂きありがとうございます。貴方をドゥカティストの仲間としてお迎えできるのは、私達にとって何よりの喜びです。この新しいバイクでは日常的に利用されるだけではなく、ロングツーリングも楽しまれることと思います。Ducati Motor Holding S.p.A.は、そのライディングが常に快適で楽しいものであるよう願っています。

ドゥカティは、ドイツの独特なスタイルにインスピレーションを受けたDiavel AMGスペシャルエディションの開発に際し、AMGとのパートナーシップ提携を発表します。その特別なコラボレーションと最高のパフォーマンスにより、Diavel AMGスペシャルエディションはハイパフォーマンス、ユニークなデザイン、細部にまでわたる入念な設計で、二つの素晴らしいブランドを合体させました。

お客様のモーターサイクルはDucatiモーターホールディング社の絶え間ない研究と開発から得られたものであり、メンテナンスプログラムに従い、オリジナルスペアパーツを使用することで品質を維持することが重要です。
本取扱説明書には簡単なメンテナンス作業の実施方法が記載されています。
より重要なメンテナンス作業は、Ducatiオフィシャルディーラーまたはサービスセンターに配備されているディーラーマニュアルに記載されています。

あなた自身のため、また製品の安全性及び信頼性を保証するために、メンテナンスプログラムで行うあらゆる作業は、Ducatiオフィシャルディーラーまたはサービスセンターにご依頼頂くよう強くお薦めします（195ページ参照）。

Ducatiオフィシャルディーラーの熟練したスタッフが、どのような整備作業にも対応できる専用器具と適切な工具、完璧な交換可能性、円滑な作動、ロングライフを保証するDucatiオリジナルパーツのみを使用し、最善のサービスを提供致します。

全てのDucatiモーターサイクルには保証書が付属しています。

車両を競技やそれに類する目的に使用する場合は保証の対象外となります。

車両や部品の一部でも交換したり、改造したり、変更した場合、保証は適用されません。

メンテナンスが正しく行われなかったり、不十分だったり、オリジナルでない又はDucatiに承認されていないスペアパーツが使用されている場合、車両に損傷を招いたり、期待される性能が得られないばかりでなく、保証が適用されなくなることがあります。

目次

はじめに　3
安全性ガイドライン　9
本取扱説明書で使用されている警告シンボルマーク　9
用途　10
ライダーの義務　10
ドライバーのトレーニング　12
服装　12
安全のための " ベストプラクティス "　13
燃料の補給　15
最大積載時の運転　16
危険物 - 注意事項　17
車両識別番号　19
エンジン識別番号　20
Diavel AMG スペシャルエディション　21

インストルメントパネル（ダッシュボード）　23
ハンドルバーに設置されたインストルメントパネル　24
LCD の主な機能　26
車両速度計　27
エンジン回転数表示 (RPM)　28
時計　29
エンジンクーラント温度　30
ディスプレイの背景の色（自動調整）　31
タンクに設置されたインストルメントパネル　31
TFT －パラメーター設定 / 表示　33
総走行距離 " オドメーター " 表示　35
" トリップ１ " メーター表示　36
" トリップ２ " メーター表示　37
リザーブタンクの走行距離インジケーター " 燃料トリップメーター "　38
"CONS. AVG" インジケーター - 平均燃費　39
"CONS" インジケーター - 瞬間燃費　40
"SPEED AVG" インジケーター - 平均スピード　41
"TRIP TIME" インジケーター - 走行時間　42
"Air" インジケーター - 気温　43
ギアイン表示　44
" 設定ライディングスタイル " インジケーター　44

"LAP" ON / OFF 機能インジケーター　45
Riding Mode（ライディングスタイル変更）　46
メンテナンス時期表示　48
メンテナンス一覧　48
最初の表示 - OIL SERVICE 1000 Km　49
SERVICE に至るまでの残りの走行距離表示　50
SERVICE に達した走行距離表示　52
警告表示（アラーム / マーク）　54
バッテリーレベル "LOW"　56
トラクションコントロール (DTC) OFF　56
Hands Free (HF) キー無感知　57
Hands Free (HF) キーバッテリーレベル "LOW"　57
エンジンクーラント温度 "High"　58
エラー　ステアリングアンロック状態 - ステアリングロック状態　59
インストルメントパネルの診断　60
セッティングメニュー　64
"Riding Mode" のパーソナライズ　66
DTC セッティング機能
(Ducati Traction Control)　68
ENGINE（エンジン出力コントロール）
セットアップ　74
DEFAULT (Ducati 社設定の修復)　76
メニュー 2 の停止 / 再起動機能　78
タンクのインストルメントパネル - DASHBOARD 1 の背景調整機能　80
ハンドルバーのインストルメントパネル - DASHBOARD 2 のバックライト調整機能　82
デジタルエンジン回転表示機能　84
LAP（ラップタイム）起動 / 解除機能　86
LAP 設定　88
LAP 記録表示　90
LAP 記録消去機能　92
バッテリーテンション表示 (BATTERY)　94
時計の調整　96
単位の変更機能　98
ABS 停止機能　102
イモビライザーシステム　104
キー　104
アクティブキーのバッテリー交換　106
キーの複製　109
イモビライザーの解除作業　109
ランプコントロール　115

運転時に必要なコマンド　120
コマンド類の配置　120
"Hands free" システム　121
左側スイッチ　130

クラッチレバー　131
右側スイッチ　132
スロットルグリップ　133
フロントブレーキレバー　133
リアブレーキコントロールペダル　134
ギアチェンジペダル　134
ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの配置調整　135

主要構成部品 / 装備　137

車両上の配置　137
燃料フィラープラグ　138
シートロック　139
サイドスタンド　144
パッセンジャーハンドル　145
フロントフォーク調整　146
リアショックアブソーバー調節　148

運転のしかた　152

慣らし運転の方法　152
走行前の点検事項　154
ON/OFF　156
車両の発進　158
ブレーキ操作　158
車両の停止　161
パーキング　161
燃料の補給　165
付属アクセサリー　166

主な整備作業とメンテナンス　167

エアフィルターの交換　167
クーラントレベルの点検および補充　167
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検　168
ブレーキパッドの摩耗点検　170
ジョイント部の潤滑　171
スロットルグリップの調整　172
バッテリーの充電　173
バッテリー充電および冬季の断熱　181
トランスミッションチェーン張力の点検　183
チェーンの潤滑　184
ハイ / ロービーム電球の交換　185
ヘッドランプの光軸調整　186
リアビューミラーの調整　188
チューブレスタイヤ　189
エンジンオイルレベルの点検　191
スパークプラグの清掃と交換　192
車両の清掃　193
長期間の保管　194
重要注意事項　194

メンテナンスプログラム　195
ディーラーで行うメンテナンス　195
ディーラーで行うメンテナンス　197
お客様が行えるメンテナンス　198

テクニカルデータ　199
全体寸法(mm)　199
重量　199
エンジン　201
タイミングシステム　201
性能データ　202
スパークプラグ　202
燃料供給　202
ブレーキ　203
トランスミッション　204
フレーム　205
ホイール　205
タイヤ　205
サスペンション　206
エキゾーストシステム　206
カラーバリエーション　206
エレクトリカルシステム　207

定期点検メモ　213

安全性ガイドライン

お客様とその他の人の安全性は非常に重要です。
Ducati モーターホールディング社はお客様にモーターサイクルを責任をもって使用されることをお願いします。お客様のモーターサイクルをはじめてご使用になる前に、本取扱説明書を最初から最後まで注意深くお読みになり、記載されているガイドラインに忠実に従ってください。正しい使用法とメンテナンスに関するすべての情報を得ることができます。車両について不明な点、さらに詳しくお知りになりたい点がある場合は、ご購入先のオフィシャルディーラーにお問い合わせ下さい。

本取扱説明書で使用されている警告シンボルマーク

お客様又はその他の人に負わす可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。
- モーターサイクルの安全性に関するラベル
- 注意シンボル、及び警告又は重要シンボルのうちの一つで表わされる安全性に関するメッセージ

警告
この説明を遵守しなかった場合、ライダー又はその他の人が重度の負傷および死亡に至る危険性があります。

重要
車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。

参考
作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は乗車位置から見た位置です。

用途

モーターサイクルはアスファルト舗装された道路又は平らで滑らかな路面でのみ使用することができます。

舗装されていない道路やオフロードではこのモーターサイクルを使用することができません。

⚠ 警告
オフロードでの使用はコントロールを失う原因となり、車両が破損したり、けがをしたり、さらには死亡したりすることがあります。

⚠ 警告
このモーターサイクルをトレーラーのけん引に使用したり、サイドカーを取り付けて使用してはいけません。コントロールを失う原因となり、事故につながる可能性があります。

⚠ 警告
ライダー、パッセンジャー、荷物、アクセサリーを含めた走行時の総重量は、400kg を越えてはいけません。

ライダーの義務

すべてのライダーは運転免許証を所持していなければなりません。

⚠ 警告
無免許運転は法律違反で、法律により訴追されます。モーターサイクルを使用するときには免許証を携帯していることを確認してください。未経験者および有効な免許証を持っていないライダーに使用を認めないでください。

飲酒後や麻薬の使用後には運転しないでください。

⚠ 警告
飲酒運転や麻薬の使用後の運転は法律違反で、法律により訴追されます。

薬の副作用に関する情報をかかりつけの医師から説明を受けていない場合は、運転前の薬の服用は避けてください。

⚠ 警告
薬によっては眠気を催したり、運転者の反射神経やモーターサイクルの制御能力を減少させることがあり、事故を起こす危険があります。

保険の加入を義務付けている国があります。

⚠ 警告
自身の国の法律を確認してください。保険に加入し、モーターサイクルのその他の書類と共に保険証書を大切に保管してください。

ドライバー及び必要に応じてパッセンジャーの安全を守るため、規格に適合したヘルメットの着用を法律で義務付けている国があります。

⚠ 警告
自身の国の法律を確認してください。ヘルメット着用せずに運転すると処罰されることがあります。

⚠ 警告
ヘルメットを着用しないと、事故の際、重傷や死に至る危険が高まります。

⚠ 警告
ヘルメットが安全性の規格を満たしており、視界がよく、頭部にちょうどフィットし、自身の国の規格認証ラベルが貼られていることを確認してください。
交通関連法規は国によって異なります。モーターサイクルを運転する前に自身の国の現行の法律を確認し、常にそれに従ってください。

ドライバーのトレーニング
多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。

⚠ 警告
ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、コントロールを失い、死や重大な破損の原因になる可能性があります。

服装
モーターサイクル使用時の服装は安全性の面で非常に重要です。モーターサイクルは衝撃に対して車のように人を保護することができません。

適切な服装とは、ヘルメット、目を保護するゴーグル、手袋、ブーツ、長袖ジャケット、長ズボンです。
- ヘルメットは 11 ページに記載されている要件を満たしていなければなりません。バイザーの付いていないモデルのヘルメットを使用する場合には、適切なメガネを使用してください。
- 手袋は革製又は摩耗に耐える素材のもので、5 本指のものでなければなりません。
- 運転用ブーツ又は靴は、滑り止めソール及び足首のプロテクションが付いていなければなりません。
- ジャケット及びズボン、又は防護スーツは、革製又は摩耗に耐える素材のもので、非常に目立つ色でなければなりません。

⚠ 重要
いずれにせよ、車両にひっかかる可能性のあるひらひらした服装やアクセサリーの使用は避けてください。

⚠ 重要
安全のため、季節を問わずこのような服を着用しなければなりません。

⚠ 重要
パッセンジャーも安全のため、適切な服を着用してください。

安全のための " ベストプラクティス "

使用前、使用中、使用後、人の安全性の確保に非常に重要な簡単な作業及びモーターサイクルの有効なメンテナンスを忘れずに行ってください。

重要
慣らし運転期間中は細心の注意を払って、152 ページに記載されている内容を順守してください。
順守されなかった結果、エンジンの損傷、および寿命の短縮などについて、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負いません。

警告
運転中に使用する装置について熟知していない場合は運転しないでください。

起動前には本取扱説明書に記載されている点検を行ってください（154 ページ参照 ）。

警告
点検を行わないと、車両が破損したり、ライダー又はパッセンジャー、またはその両方に重大なけがを負わせる原因になることがあります。

警告
エンジンの始動は屋外又は十分な換気がされている場所で行い、閉ざされた場所では絶対にエンジンを始動させないでください。
排気ガスは有毒ですので、短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。
走行中はライダー、パッセンジャーと共に適切な姿勢を保ちます。

重要
ライダーは常にハンドルバーを握っていなければなりません。

重要
ライダー、パッセンジャー共に、走行中は足をフットレストに乗せておいて下さい。

重要
パッセンジャーは常に両手でリアテール内部にあるパッセンジャーハンドル（取り外し可能、145 ページ参照）を握っていなければなりません。

⚠ 重要
交差点や私有地の出口に近い場所、駐車場、高速道路への進入路等を走行する際は充分に注意して下さい。

⚠ 重要
良好な視界を保ち、前方車両の〝死角〟に入らないよう走行して下さい。

⚠ 重要
車線を変更する時や曲がる時には、常に適切にターンインジケーターを使用し、早めに合図を出して下さい。

⚠ 重要
車両は人や物がぶつからないような場所にサイドスタンドを使用して停車して下さい。
車両が倒れる可能性があるので平坦でないところや柔らかい地面には絶対に停車しないで下さい。

⚠ 重要
タイヤを定期的に点検します。特に側面に傷やヒビがないか、でっぱり、広範囲のシミ、内部の損傷を表す箇所がないかを注意深く目視点検して下さい。損傷が著しい場合はタイヤを交換して下さい。
トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いて下さい。

⚠ 警告
エンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは、エンジン停止後も長時間高温を帯びています。エキゾーストシステムボディには手を触れないよう充分注意し、車両を木材、木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにして下さい。

⚠ 警告
モーターサイクルを目の届かない場所に置く場合には、常にイグニッションキーを抜き取り、車両の使用に適していない人の手に触れられないように保管してください。

燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で行います。

給油時には絶対に喫煙せず、火気を近付けないでください。

エンジン及びエキゾーストチューブに燃料がかからないように注意してください。

給油中、燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。

給油中、燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないようにし、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

警告

燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに石鹸水で洗ってください。

警告

燃料は非常に引火しやすいので、過って衣服に付着した場合には着替えてください。

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。

重量をバランス良く配分することは、通常の安全走行に必要な注意事項です。凸凹な道を走行したり、急な進路変更を必要とする際のトラブルを避けるために非常に重要です。

⚠ 警告
車両許容重量を超えることのないよう、以下の積載容量に注意すること。

積載容量について

⚠ 重要
積み荷は車両の中心に近く、できる限り低い位置に配置するよう努めて下さい。

⚠ 重要
車両が不安定になりますので、ステアリングヘッドやフロントマッドガード部に、体積や重量のかさむものを固定しないで下さい。

⚠ 重要
バッグなどの荷物は車体にしっかり固定します。確実に固定されていない場合、運転が不安定になる危険があります。

⚠ 重要
車両の可動部分の妨げになる恐れがありますのでフレームのすき間に絶対に物を挟まないで下さい。

⚠ 警告
タイヤが、189 ページに定められた規定空気圧内の良いコンディションであることを確かめて下さい。

危険物 – 注意事項

使用済みエンジンオイル

警告
使用済みエンジンオイルは長期間にわたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になることがあります。日常的に使用済みエンジンオイルを取り扱う場合には、使用後速やかに手を水と石鹸で入念に洗ってください。子供の手の届かない場所に保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキユニットを清掃する際、圧縮空気のジェットやドライブラシは絶対に使用しないでください。

ブレーキフルード

警告
車両のプラスチック、ゴム製部品又は塗装部品にブレーキフルードがかかるとその部品の損傷の原因になることがあります。ブレーキシステムのメンテナンスを始める前に、これらの部品に清潔な布をかぶせてください。子供の手の届かない場所に保管してください。

警告
ブレーキフルードは腐食性です。誤って目や皮膚に付いた場合は、大量の流水で洗浄して下さい。

クーラント

特定の条件下ではエンジンクーラントに含まれるエチレングリコールが発火し、その炎は目に見えません。エチレングリコールが発火するとその炎は目に見えず、重大なやけどの原因になることがあります。

⚠ 警告
エンジンクーラントをエキゾーストシステムやエンジン部品にかけないようにしてください。これらの部位は高温のためクーラントを発火させる危険があり、見えない炎で焦げてしまいます。
クーラント（エチレングリコール）は皮膚の炎症の原因になることがあり、飲み込むと有毒です。子供の手の届かない場所に保管してください。
エンジンがまだ熱いときにはラジエーターのキャップを取り外さないでください。クーラントは圧力がかかっており、やけどの原因になることがあります。

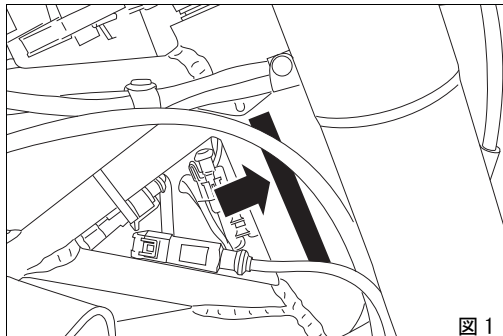
クーリングファンは自動的に作動するので手や衣服を近付けないでください。

バッテリー

⚠ 警告
バッテリーは爆発性のガスを発生させます。火花、炎、たばこを近付けないでください。バッテリー充電を行う場所の換気が適切であることが確認してください。

車両識別番号

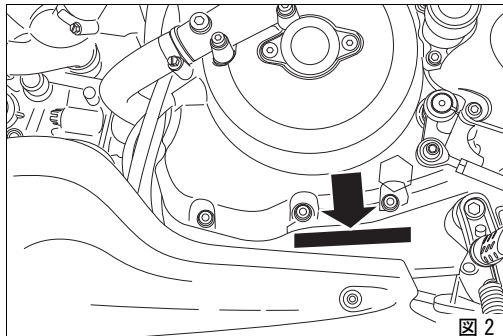
参考
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

図 1

以下の欄に自身のモーターサイクルのフレーム番号を控えておくことをお勧めします。

フレーム N.

エンジン識別番号

参考
これらの番号は車両モデルを識別するもので、部品を注文する際にも必要です。

図 2

以下の欄に自身のモーターサイクルのエンジン番号を控えておくことをお勧めします。

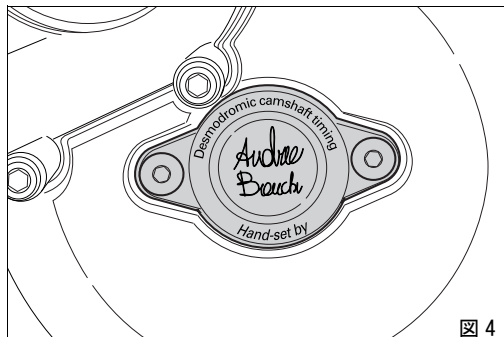
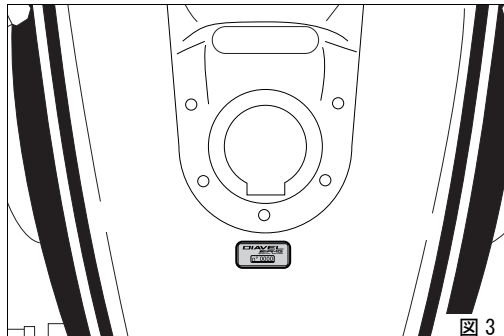
エンジン　N.

Diavel AMG スペシャルエディション

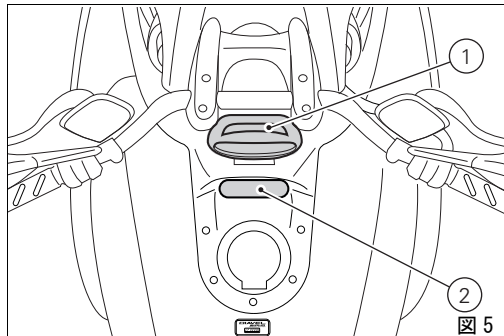
参考
この特別モデルは生産台数が限られています。それぞれのバイクには、タンク上、キャップ下にシルバープレート（図 3）が取り付けられ、シリアルナンバーとモデルが刻まれています

参考
それぞれのバイクのエンジンにはデスモドロミックシステムのタイミング調整を手動で行った作業者のサインが入り、さらにバイクを特別なものにしています。図（図 4）に書かれている名前はその例で、図に示す場所にサインが書かれます。

図 3

図 4

インストルメントパネル（ダッシュボード）

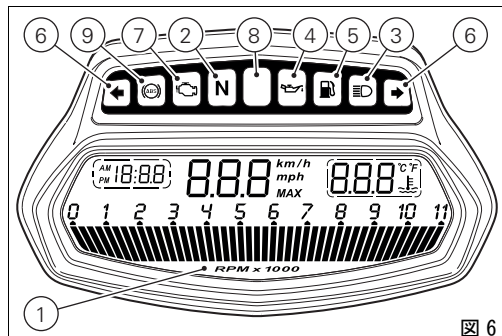
車両には 2 つのインストルメントパネルが装備されています。ハンドルバーに設置されたメインインフォメーション（スピード、エンジン回転数、エンジンクーラント温度及び時刻）を表示する LCD ディスプレイ (1、図 5)、及び、タンク底に設置されトリップインフォメーション（設定ライディングモード、オドメーター、燃費、平均速度等）及び様々な機能の作動、調整のための "設定"("setting") メニューを表示する TFT カラーディスプレイ (2、図 5) です。

図 5

ハンドルバーに設置されたインストルメントパネル

1) LCD ディスプレイ。
2) ニュートラルランプ N（緑）。
ギアポジションがニュートラルの時に点灯します。
3) ハイビーム表示灯 （青）。
ハイビーム点灯時に表示します。
4) エンジンオイル圧警告灯 （赤）。
エンジンオイルのプレッシャーが低すぎる時に点灯します。"Key-on" の状態が必要ですが、エンジン起動後、数秒の停止が必要です。
エンジン温度が高い時に、場合によって数秒間点灯することがありますが、回転数が上がると消灯します。

重要
エンジンに重度の破損をもたらす恐れがあるので、このランプ (4) が点灯続けている場合は、車両を使用しないで下さい。

5) リザーブ燃料警告灯 （琥珀色）。
燃料レベルがリザーブ状態になると点灯します。
約 4 リットルになったときに点灯します。
6) ターンインジケーター表示灯 （緑）。
ターンインジケーターを ON にすると点灯し、点滅します。

図 6

7) "エンジン / 車両診断 - EOBD" ランプ （琥珀色）。
エンジンと / もしくは車両にエラーが出ると同時に点灯しますが、場合によっては、エンジンブロックにつながることもあります。

8) リミッターランプ "Over rev"/ トラクションコントロールランプ "DTC"(赤)(図 6):

	Over rev ランプ
続行	停止
第一起点 – リミッターに達する RPM 数 (*)	On – 無点滅
リミッター(外部回転切断)(*)	On – 点滅

(*) それぞれのエンジンコントロールユニットの口径測定は、モデルにより、リミッターの限界とリミッターそのもの次第で異なる設定になる場合があります。

	DTC 作業ランプ
干渉なし	停止
DTC 作業中	On – 点滅

参考

Over rev ファンクションランプと DTC ランプが同時に点灯した場合、インストルメントパネルには Over rev ファンクションランと表示されます。

9) ABS ランプ (琥珀色)(図 6)。
ABS 停止もしくはエラー時に点灯します。

エンジン停止 / 走行速度 5 Km/h 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
–	メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている	ABS は起動しているが まだ作動していない
エンジン起動 / 走行速度 5 Km/h 以下		
ランプ OFF	点滅	点灯
–	メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている	ABS は起動しているが まだ作動していない
エンジン起動 / 走行速度 5 Km/h 以上		
ランプ OFF	点滅	点灯
ABS 機能は起動中	メニューの "ABS" 機能を使って ABS が解除されている	ABS 停止及び エラーにより非作動

LCD の主な機能

1）スピードメーター
走行速度を表示します
2）タコメーター
1 分間のエンジン回転数を表示します。
3）時計
4）クーラント温度計
エンジンクーラント温度を表示します。

重要
温度が最高に達した時は車両を使用しないで下さい。エンジンを傷める可能性があります。

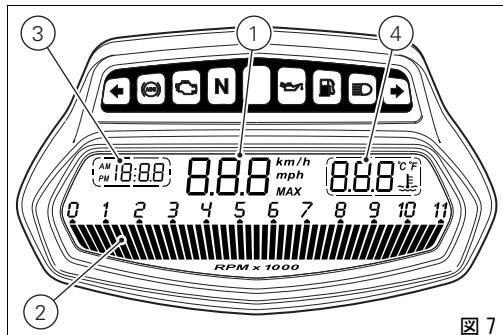



図 7

車両速度計

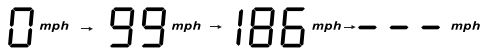
この機能は車両速度（Km/h または mph の選択が可能）を表示します。
インストルメントパネルは実際のスピード情報を受信し、5% 上乗せして表示します。
表示可能最高速度は 299 km/h（186 mph）です。
299 Km/h（186 mph）以上の場合、″ - - - ″(連続表示) が表示されます。

0 km/h → 160 km/h → 299 km/h → - - - km/h

図 8

図 9

エンジン回転数表示 (RPM)

この機能はエンジン回転を表示します。
インストルメントパネルにはエンジン回転データが表示されます。
左から右に見えるデータは回転数を表します。

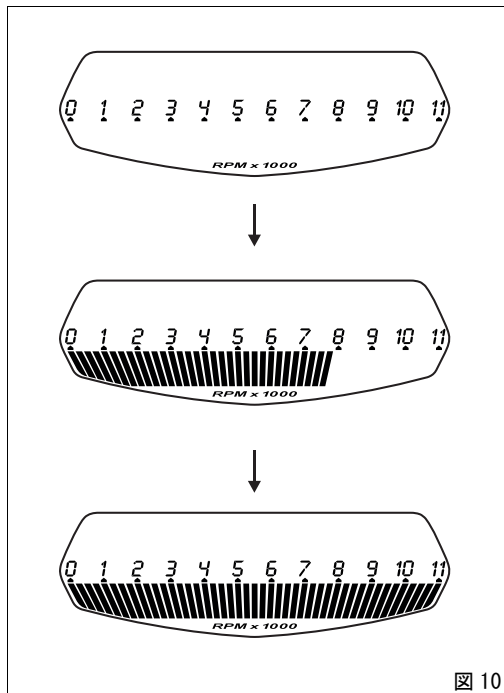



図 10

時計

この機能では時刻を表示します。
時刻は常に以下のように表示されます：
AM 0:00 から 11:59
PM 12:00 から 11:59

バッテリー電源が中断された場合（Battery OFF）、電源の確保および次の起動時（Key-On）に時計はリセットされ、自動的に"0:00"から再開します。

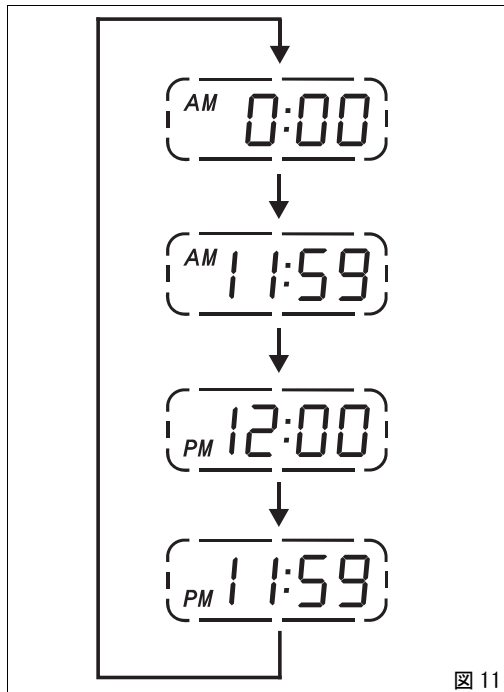



図 11

エンジンクーラント温度

エンジンクーラントに関する表示機能について記述します。
温度測定単位の選択が可能です。(° C 又は° F)
以下のとおり、データが表示されます:

- データが - 39° C から +39° C の場合、インストルメントパネルには無点滅で "LO" と表示されます。
- データが - +40° C から +120° C の場合、インストルメントパネルには無点滅で表示されます。
- データが +121 ° C (° F) 以上の場合、ディスプレイ上には "HI" が点滅表示されます。

参考

センサーエラーの場合は "- - -" が点滅表示され、同時にエンジン / 車両診断ランプ -EOBD (7、図6) が点灯します。

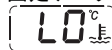
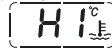
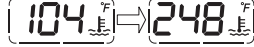
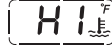



図 12

ディスプレイの背景の色（自動調整）

インストルメントパネルは外の光の強さに応じて自動的に背景の色を調整します。
センサーが " 弱い光 "（夜）を検知すると背景は黒色に、一方 " 強い光 "（昼）を検知すると背景は白色になります。
この機能は 80 ページの " 設定 "（"setting"）メニューの "BACK LIGHT - DASHBOARD 1" でパーソナライズし、常に NIGHT 又は DAY モードにする（又は AUTO モードに戻す）ことができます。

タンクに設置されたインストルメントパネル

1) メニュー 1（TOT、TRIP1、TRIP2、TRIP FUEL)。
2) メニュー 2（CONS. AVG. 、CONS. 、SPEED AVG、AIR 及び TRIP TIME)(作動時)。
3) ギア / ニュートラルの表示。
4) メニュー 1 の下に表示される機能に関するアイコン。
5) 現在のライディングモードのエンジン設定表示。
6) 現在の設定ライディングモード。
7) 現在のライディングモードの DTC（トラクションコントロール）干渉レベルの表示。

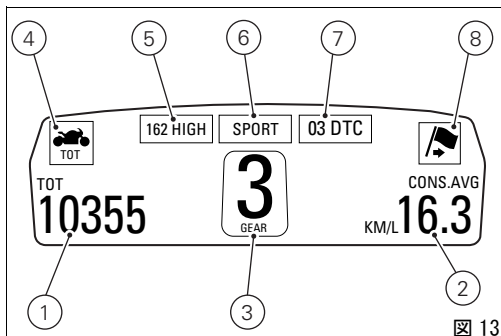
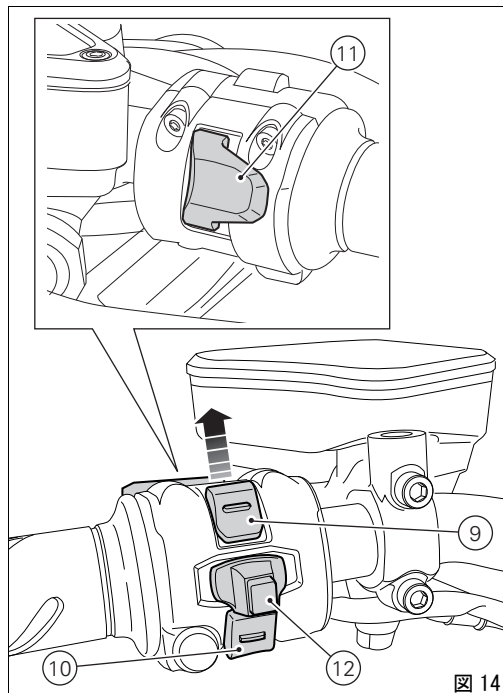
図 13

8) メニュー 2 の下に表示される機能に関するアイコン。
9)　コントロールボタン (図 14)
インストルメントパネル "▲" 上の設定および表示に使用するボタン。
10) コントロールボタン (図 14)
インストルメントパネル "▼" 上の設定および表示に使用するボタン。
11) フラッシャーランプボタン (図 14)
フラッシャーランプ機能ボタンは LAP 機能に使用する場合もあります。
12) 停止ボタン (RESET) (図 14)。
このボタンは通常ターンインジケーターの解除に使用しますが、インストルメントパネルのリセット / 決定と Riding Mode 機能にも使用します。

図 14

TFT ーパラメーター設定 / 表示

警告
インストルメントパネルでの操作は必ず車両が停止している時に行なって下さい。走行中にインストルメントパネルの操作は絶対に行わないで下さい。

チェックの時点で、インストルメントパネルは左側にオドメーター (TOT) を、右側に平均燃費を " メイン " として常に表示します（メニュー 2 の機能を停止していない場合）。

始動チェック時、メインインストルメントパネルには以下の情報が表示されます。

- 設定ライディングモード (Riding Mode)
- ギア表示 (GEAR)
- メニュー 1: オドメーター (TOT)
- メニュー 2 : 平均燃費 (CONS. AVG)

ボタンを押すと (1、図 16) "▲"、メニュー 1 の以下の機能が可能になります。
- TRIP1 – オドメーター 1
- TRIP2 – オドメーター 2
- TRIP FUEL – リザーブでの車体の走行可能距離（作動時のみ）

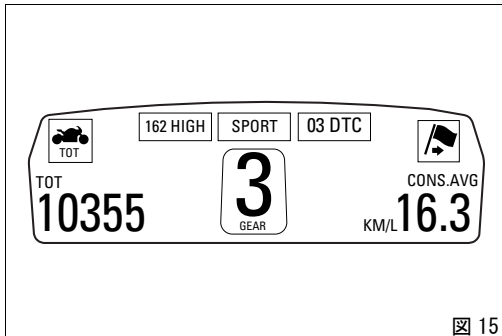



図 15

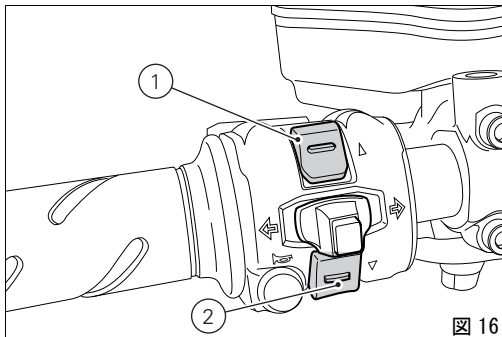



図 16

ボタンを押すと (2、図 16) ″▼″、メニュー 2 の以下の機能が可能になります。
- CONS. - 瞬間燃費
- SPEED AVG - 平均スピード
- TRIP TIME - 走行時間
- AIR - 気温

参考
″MENU 2″ の機能の設定メニューで、メニュー 2 の表示を停止することができます。

総走行距離 ″オドメーター″ 表示

この機能は総走行距離を表示させることができます（アプリケーションにより Km 又はマイル）。
キー ON でシステムは自動的にこの機能に入ります。データは永久的に記録され、リセットする事はできません。
数値が 199999 Km（または 199999 マイル）を越えると、表示は″199999″のまま残ります。

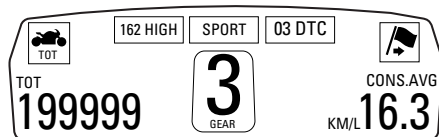
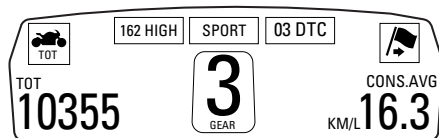
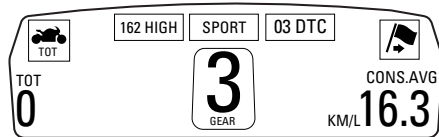



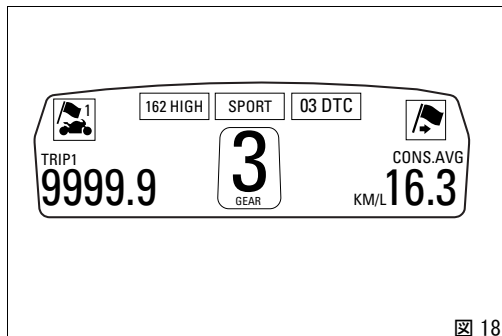
図 17

″トリップ１″メーター表示

この機能は部分走行距離を表示させることができます(アプリケーションにより Km 又はマイル)。
この機能が表示されている時にボタン (1、図 16)″▲″を 3 秒間押すと、データはリセットされます。
データが 9999.9 に達すると、走行距離はリセットされ、自動的に 0 からスタートします。
″SET UNITS″ 機能の設定メニューでシステムの測定単位を変更もしくは供給中断 (Battery off) が発生した場合は、その時点でこの機能はリセットされ、走行距離は０からカウントが始まります (新しく設定された単位で)。

図 18

参考

このデータがリセットされると、平均燃費と平均速度および走行時間機能もリセットされます。

″トリップ２″メーター表示

この機能は部分走行距離を表示させることができます（アプリケーションによりKm又はマイル）。
この機能が表示されている時にボタン(1、図16)″▲″を3秒間押すと、データはリセットされます。
データが9999.9に達すると、走行距離はリセットされ、自動的に0からスタートします。
″SET UNITS″機能の設定メニューでシステムの測定単位を変更もしくは供給中断（Battery off）が発生した場合は、その時点でこの機能はリセットされ、走行距離は0からカウントが始まります（新しく設定された単位で）。

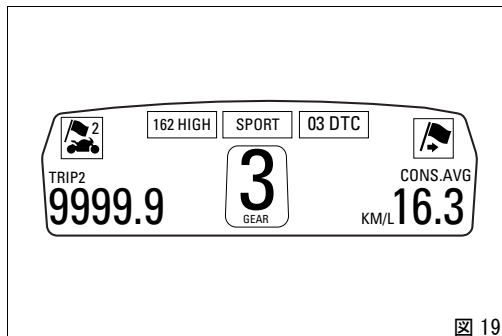
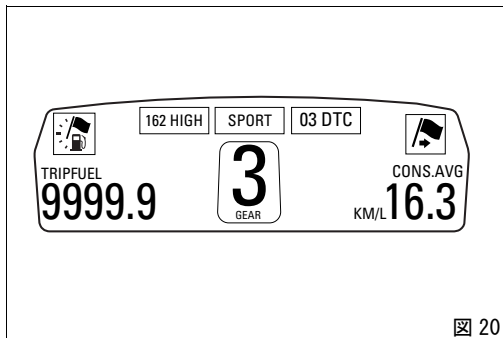



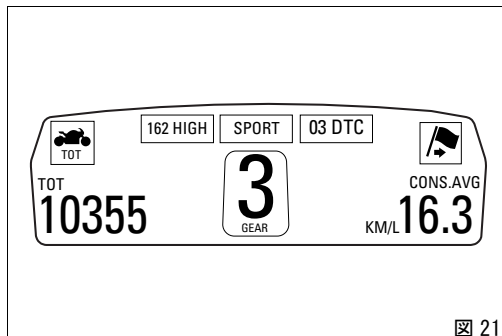
図 19

リザーブタンクの走行距離インジケーター〝燃料トリップメーター〟

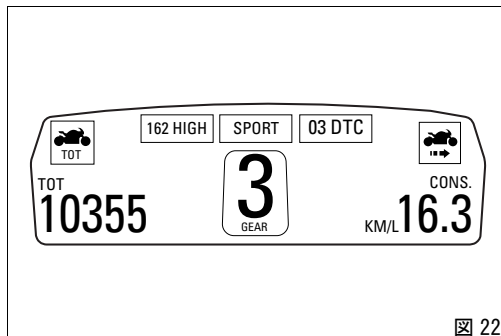
この機能はリザーブによる車体の走行距離を表示させることができます(アプリケーションにより Km 又はマイル)。
リザーブランプが点灯した時点で、どの機能が表示されている場合でも、自動的にフューエルトリップ表示に変わります。
リザーブタンク使用の状態が続く場合は、値はキーオフ後もメモリに記憶されます。
カウンターは、給油後にリザーブでなくなった時点で自動的に中断します。
数値が 9999.9 を超えると、カウンターはゼロクリアされて、自動的に再びゼロからカウントを開始します。

図 20

"CONS. AVG" インジケーター - 平均燃費

この表示は車両の平均燃費を表します。
使用燃料の量及び Trip1 の最後のリセット以降の走行距離から計算されます。TRIP 1 がリセットされると、データがリセットされ、最初のデータはリセットから 10 秒後に表示されます。数値がディスプレイされない最初の１０秒間は "- -.-" が表示されます。
データは "L / 100"（リットル /100km）で表示されます。"SET UNITS" 機能の設定メニューで L/100 から Km/L に " 燃費 " の単位（平均及び瞬間燃費を同時に）を変更することができます。
車体停止、エンジン作動中も計算されます（エンジン停止中のギアの中断は考慮されません）。

図 21

″CONS″ インジケーター － 瞬間燃費

この表示は車両の瞬間燃費を表します。
数値は消費燃料量と最終数秒の走行距離から算出されます。データは ″L / 100″（リットル /100km）で表示されます。″SET UNITS″ 機能の設定メニューで L/100 から Km/L に ″燃費″ の単位（平均及び瞬間燃費を同時に）を変更することができます。
数値はエンジン起動中かつ車両が動いている時に算出されます（車両停止中もしくはエンジン停止中のギア中断はお勧めできません）。算出がされない場合、ディスプレイ上に ″- -.-″ が表示されます。

図 22

"SPEED AVG" インジケーター – 平均スピード

車両の平均速度が表示されます。
TRIP 1の最後のリセット以降の走行距離及び時間から計算されます TRIP 1がリセットされると、データがリセットされ、最初のデータはリセットから10秒後に表示されます。数値がディスプレイされない最初の１０秒間は "– –.–" が表示されます。
車体停止、エンジン作動中も計算されます（エンジン停止中のギアの中断は考慮されません)。
表示車両速度を５%増大させたデータを表示します。
"SET UNITS" 機能の設定メニューでKm/h（及びKm)からmph（及びマイル）に"スピード"（及び"距離"）の単位を変更することができます。

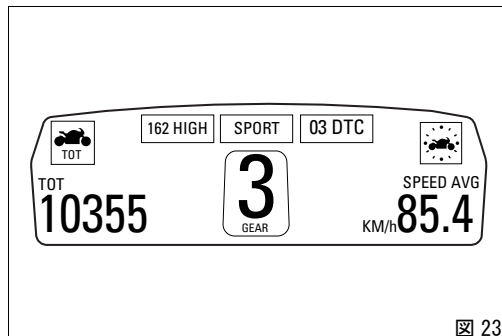
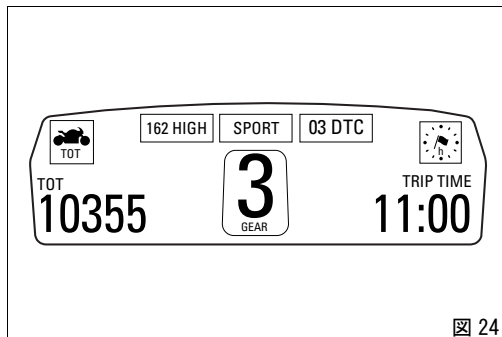
図 23

"TRIP TIME" インジケーター － 走行時間
この機能は車両の走行時間を表示します。
TRIP 1 の最後のリセット以降の走行時間から計算されます Trip1 がリセットされると、データもリセットされます。
車体停止、エンジン作動中も計算されます（エンジン停止中のギアの中断で、時間は自動的に止まり、計算が始まると自動的に時間測定も始まります。）
表示時間が 511:00（511 時間 00 分）を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再度ゼロからカウントされます。

図 24

"Air" インジケーター - 気温

この機能では外気温を表示します。
表示範囲 : -39° C ～ +124° C
センサーエラー (FAULT) の場合 (-40° C、+125° C または電源 OFF) は "- - -" が固定表示され、続けて車両 / エンジン診断 -EOBD ランプが点灯します (7、図 6)。

参考

停止車両にとって、エンジン熱は表示温度に影響を与えます。

4° C (39° F) まで温度が下がった場合、氷結危険の注意が表示されます。6° C (43° F) まで温度が上がると通告は解除されます。

警告

この通告は 4° C (39° F) 以上の温度でも、凍結路面上であれば表示されます。外気温が " 低い " 場合、特に日陰や橋など走行する時は、常に慎重な運転を心がけるようお勧めします。

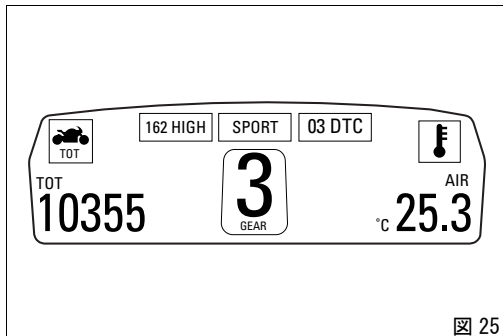



図 25

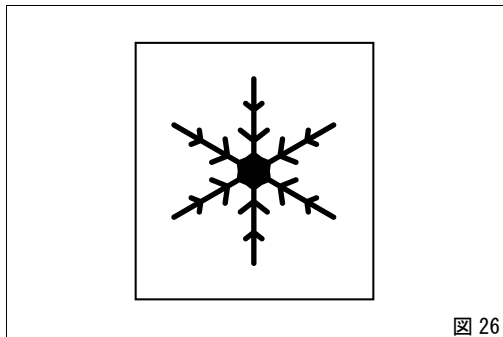



図 26

ギアイン表示
この機能はギアを表示することができます（1、図27）。
インストルメントパネルはデータおよびクラッチを切った状態またはニュートラル"N"を表示します。

参考
ギアセンサーエラーが出た場合 "-" の表示が出ます（無点滅）。

"設定ライディングスタイル"インジケーター
この機能は車両に設定されたライディングスタイルを表示します。
ライディングスタイルはSPORT、TOURING、URBANの3種類があります。
それぞれのライディングスタイルを"RIDING MODE"機能によって変更するができます。

参考
設定の時点でライディングスタイルに関連したパラメーターがデフォルト（ドゥカティが設定したもの）ならば、ライディングスタイル（SPORT、TOURING又はURBAN）（1、図28）を表示する背景は青色で、"RIDING MODE"機能の設定メニューで一つまたはそれ以上のパラメーターが変更（パーソナライズ）された場合は、黄色 です。

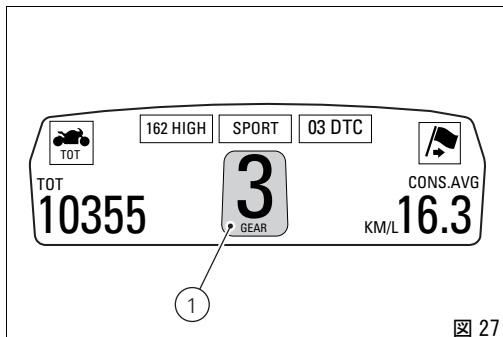



図 27

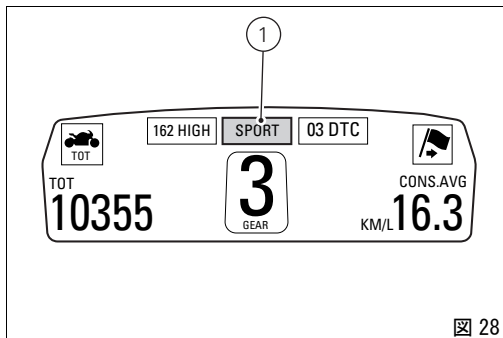
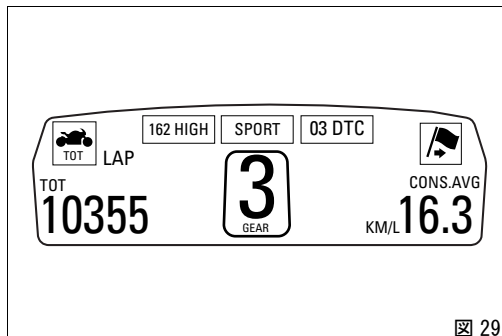



図 28

″LAP″ ON / OFF 機能インジケーター

この機能は ″LAP″（ラップタイム）機能が ON の状態の時のみ表示されます。
LAP が消えている場合は、OFF 状態を表します。
″LAP″ 機能の設定メニューで ″LAP″ 機能を ON にすることができます。

図 29

Riding Mode（ライディングスタイル変更）
この機能で車両のライディングスタイルの変更が可能です。
それぞれのライディングスタイルは各自のトラクションコントロール（DTC - Ducati Traction Control）、エンジン排気量と出力を兼ね備えています。
車両のライディングスタイル変更は、reset ボタン（12、図 14）を一度だけ押し、ディスプレイ上に "RIDING MODE" メニューが表示されます。
同じ reset ボタン（12、図 14）を何度も押すことで、好みのライディンスタイルの選択が可能です。
ライディングスタイルの決定には同ボタンを３秒連続で押し続けます。
スロットルが閉まっている場合（車両停止）は、即ライディングスタイル変更が可能です。スロットルが開いている場合（車両作動）ディスプレイ上には "CLOSE THROTTLE TO ACTIVATE" のメッセージが表示されます。このメッセージはスロットルを閉じた時５秒間表示されます。スタイル変更はその後可能です。
スロットルが閉じられず５秒経過すると、変更プロセスはキャンセルになります（無変更のままです）。

"RIDING MODE" メニューが表示され、リセットボタン（12、図 14）を 10 秒間で押し続けなければ、インストルメントパネルは無変更のまま、自動的に表示が消えます。

警告
Ducati 社は車両停止時のライディングスタイル変更をお勧めします。運転中にスタイル変更を行なう場合は、充分ご注意下さい（低速での変更をお勧めします）。

リセットを押す
RESET を 3 秒間押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
RIDING MODE
CLOSE THROTTLE TO ACTIVATE
162 HIGH
SPORT
03 DTC
TOT
10355
3
GEAR
CONS.AVG
KM/L 16.3
リセットを押す
RESET を 3 秒間押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
RIDING MODE
CLOSE THROTTLE TO ACTIVATE
162 HIGH
TOURING
03 DTC
TOT
10355
3
GEAR
CONS.AVG
KM/L 16.3
リセットを押す
RESET を 3 秒間押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
RIDING MODE
CLOSE THROTTLE TO ACTIVATE
162 HIGH
URBAN
03 DTC
TOT
10355
3
GEAR
CONS.AVG
KM/L 16.3
リセットを押す
図 30

メンテナンス時期表示

この機能は車両の走行距離から、Ducati オフィシャルサービスセンターにてゼネラルメンテナンスもしくはオイル交換の必要性を表示します。

メンテナンス一覧

サイン	走行距離	カウントダウン -1000 DESMO SERVICE	カウントダウン -1000 OIL SERVICE	DESMO SERVICE	OIL SERVICE
1	1000				●
2	11000		●		
	12000				
3	23000	●			
	24000			●	
4	35000		●		
	36000				●
5	47000	●			
	48000			●	
6	59000		●		
	60000				●
7	71000	●			
	72000			●	
8	83000		●		
	84000				●
9	95000	●			
	96000			●	

最初の表示 – OIL SERVICE 1000 Km

オドメーターが 1000Km（600 マイル）に達すると最初の表示が起動します。
表示 (赤色) が Key-On 毎に ″ 大きく ″10 秒間表示され（1、図 31)、その後 ″ リセット ″ されるまで常に小さく表示されます（2、図 32)。

警告

Ducati ディーラーもしくはサービスセンターにてメンテナンスを受けた後、ディスプレイ上の表示がリセットされます。

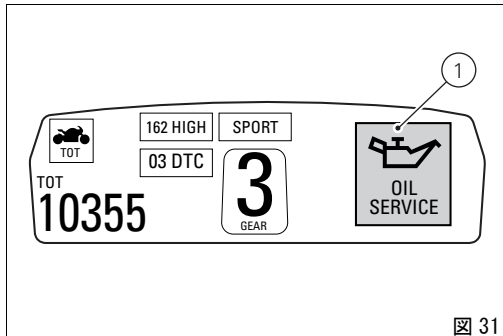



図 31

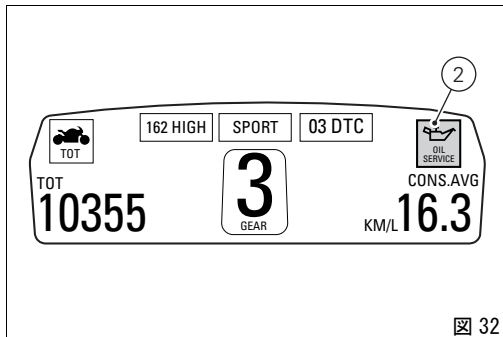



図 32

SERVICE に至るまでの残りの走行距離表示

(1000Km での) OIL SERVICE 表示の"最初の"リセット後、Key-On 毎に次に行う点検（OIL SERVICE 又は DESMO SERVICE）及び残りの走行距離が表示されます。
表示（1、図 33）（緑色）が Key-On 毎に 2 秒間表れます。規定値到達まで 1000Km を切ると、表示（2、図 33）（琥珀色）が Key-On 毎に 5 秒間表れます。

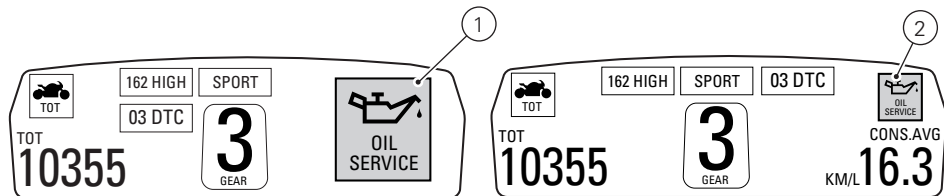
⚠ 警告
Ducati ディーラーもしくはサービスセンターにてメンテナンスを受けた後、ディスプレイ上の表示がリセットされます。

SERVICE に達した走行距離表示

メンテナンスをおこなう規定値に達すると、Key-On 毎に行うべき点検の内容（OIL SERVICE 又は DESMO SERVICE）が表示されます。
表示 (赤色) が Key-On 毎に " 大きく "10 秒間表示され（1、図 34)、" リセット " されるまで常に小さく表示されます（2、図 34)。
一度リセットされると、次に行う点検及び残りの走行距離が表示されます（前記の章参照)。

警告

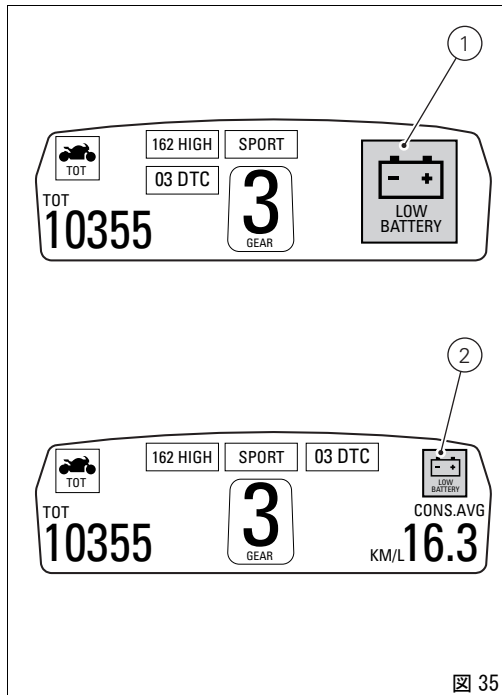
Ducati ディーラーもしくはサービスセンターにてメンテナンスを受けた後、ディスプレイ上の表示がリセットされます。

OIL SERVICE
1
2
162 HIGH
SPORT
03 DTC
TOT
TOT
10355
3
GEAR
OIL
SERVICE
CONS.AVG
KM/L
16.3
DESMO SERVICE
1
2
DESMO
SERVICE
図 34

警告表示（アラーム / マーク）

インストルパネルはリアルタイムに車体の正常な機能のために危険でないいくつかのマーク / 不具合を表示します。
Key-On（チェック終了後）状態で、起動中の場合、一つもしくはそれ以上の警告表示が出ます。
"警告" の表示に対応して、表示（琥珀色）が 10 秒間はっきりと表れ（1、図 35）、その後小さく表示されます（2、図 35）。
警告マークが２つ以上の場合、３秒ごとに表示が変わります。

参考

一つもしくはそれ以上の警告がある場合、マークランプは点灯しません。

図 35

警告は以下のマークで表示されます。
- ″低″バッテリーレベル(LOW BATTERY)
- トラクションコントロールOFF (DTC OFF)
- Hands Free (HF) キー″無感知″
- Hands Free (HF) キーバッテリーレベル ″LOW″
- エンジンクーラント温度″高″ (HIGH TEMP);
- ステアリングブロックエラー - ステアリングアンロックエラー(Unlock error)。

一つもしくはそれ以上の警告が出た場合でも、ボタン(2、図16) ″▼″ を押せば他の機能に移動が可能です。

バッテリーレベル "LOW"

この " 警告 " の表示（琥珀色）は車体のバッテリーレベルが低いこと示しています。
バッテリー電圧が ≤ 11.0 ボルト時に表示されます。

参考

この場合 Ducati 社は、車両停止を避けるため、正規チャージャーで速やかにバッテリーチャージをすることを推奨します。

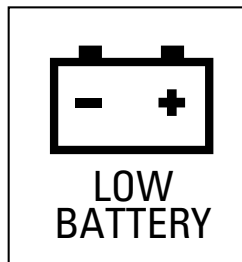



図 36

トラクションコントロール (DTC) OFF

この " 警告 " の表示（琥珀色）は DTC（Ducati Traction Control）が OFF であることを示しています。

参考

この場合 Ducati 社は、車両がトラクションコントロール機能に沿っていない理由から、運転に細心の注意を払うことを推奨します。

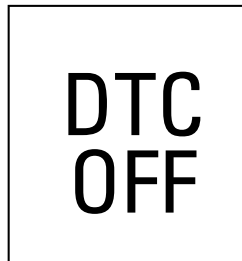



図 37

Hands Free (HF) キー無感知

この警告（琥珀色）は Hands Free システムが車両付近にアクティブキー（1、図 63）を感知できない場合に表示されます。

参考

この場合 Ducati 社は、アクティブキー（1、図 63）を車両付近で感知確認（これで無くしていない確認も可）することを推奨します。

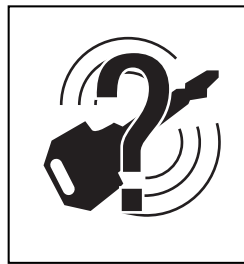



図 38

Hands Free (HF) キーバッテリーレベル "LOW"

この警告（琥珀色）は、情報のやり取り、車体の起動をおこなうアクティブキー（1、図 63）のバッテリーが切れかかっていることを Hands Free システムが感知したことを示しています。

参考

この場合 Ducati 社は、" アクティブキーのバッテリー交換 "（106 ページ）を参照し、速やかな電池交換を推奨します。

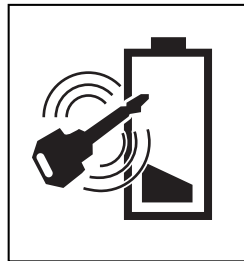



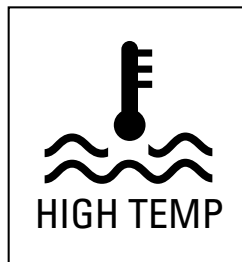
図 39

エンジンクーラント温度 ″High″

この ″ 警告 ″ (琥珀色) はエンジンクーラント温度が高温であることを表します。
温度が 121° C (250° F) まで上昇すると作動します。

参考

この場合 Ducati 社は、速やかなエンジン停止と切断を推奨します。ファンの作動は構いません。

図 40

エラー　ステアリングアンロック状態 - ステアリングロック状態

この"警告"(琥珀色)はHands Freeシステムがステアリングロックにオンできなかった時に表示されます。

警告

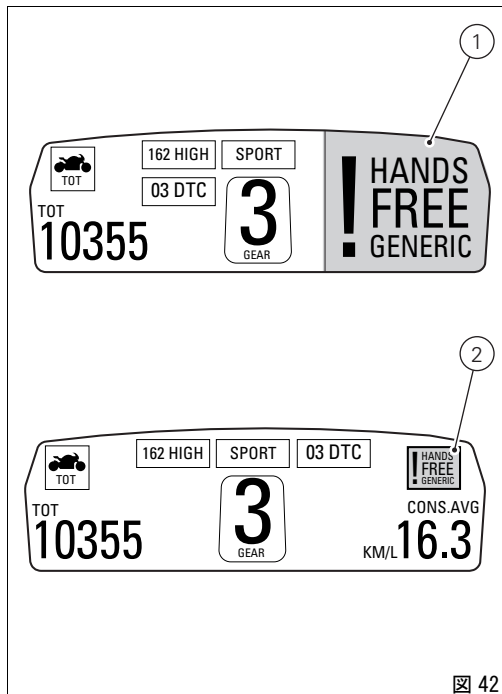
この場合Ducati社は、ハンドルレバーを押しながら車両の停止と再起動(Key-Off/Key-On)を推奨します。もしマークが変わらない(つまりステアリングロック状態のまま)場合は、Ducatiオフィシャルディラーまたはサービスセンターにご依頼下さい。

図 41

インストルメントパネルの診断

この機能は車両の異常を点検します。
インストルメントパネルは、あらゆる車両異常（エラー）を即時に表示します。
Key-On（チェック終了後）状態で、一つもしくはそれ以上の警告表示が赤色で出ます("ERRORI")（起動中の場合のみ)。
″エラー″の表示に対応して、表示（赤色）が 10 秒間はっきりと表れ（1、図 42)、その後小さく表示されます（2、図 42)。
複数のエラーがある場合は３秒ごとに表示が変わります。複数のエラーがある場合はいつもハンドルバーのインストルメントパネルに″エンジン / 車両診断 - EOBD″ランプも点灯します（7、図 6)。
その後、エラーリストが表示されます。

警告
一つかそれ以上のエラーが表示された場合には、必ず Ducati ディーラーまたはサービスセンターにご連絡下さい。

図 42

ランプ	エラーメッセージ	エラー
	BBS/DTC	Black Box ユニット / トラクションコントロール
	GEAR SENSOR	ギアセンサー
	FUEL SENSOR	燃料レベルセンサー
	SPEED SENSOR	スピードセンサー
	EXVL SYSTEM	エキゾーストバルブモーター
	UNKNOW DEVICE	未確認コントロールユニット
	DEVICE ECU	ECU コントロールユニット無作動
	DEVICE DSB SLAVE	ハンドルバーインストルパネル無作動
	DEVICE HANDS FREE	Hands Free コントロールユニットエラー
	DEVICE BBS DTC	ブラックボックスコントロールユニット / トラクションコントロール無作動
	THROTTLE POSITION	スロットルポジションエラー

ランプ	エラーメッセージ	エラー
	ACCELER.POSITION	アクセルポジションエラー
	ETV	サブエンジンリレー又はスロットルサブエンジン無作動
	DEVICE DBS MASTER	タンクインストルパネル無作動
	PRESSURE SENSOR	外気圧センサー
	ENGINE TEMP.	エンジン温度センサー
	T-AIR SENSOR	気温センサー
	FUEL INJECT.	インジェクションリレー
	COIL	コイル
	INJECTOR	インジェクター
	PICK UP	エンジン回転作動センサー
	LAMBDA	ラムダセンサー

ランプ	エラーメッセージ	エラー
	FAN RELAY	ファンリレー
	CAN LINE	CAN ライン
	BATTERY	電圧 (HIGH もしくは LOW)
	DEVICE ABS	ABS コントロールユニット無作動
	STOP LIGHT	リアストップライト
	ECU GENERIC	ECU コントロールユニットエラー
	KEY	HF コミュニケーションに問題発生
	HANDS FREE GENERIC	Hands Free コントロールユニットエラー

セッティングメニュー

このメニューはいくつかの車両機能を ON/OFF 及び設定することができます。
セッティングメニューに入るには、ボタン（2、図 16）"▼" を 3 秒間押し続けます。

参考

このメニュー内で操作しているときには、他の機能を表示することができません。

重要

安全上、セッティングメニューに入る場合は、20 Km/h かそれ以下で走行して下さい。この MENU モードに入っているときに車両のスピードが時速 20 km/h を超えた場合は、インストルメントパネルはこのモードから自動的に初期表示に移ります。

セッティングメニュー項目は以下の通り

- RIDING MODE
- MENU 2
- BACK LIGHT
- RPM
- PIN CODE
- LAP
- BATTERY
- CLOCK
- SET UNITS
- ABS
- EXIT

設定メニューから出るにはボタン（1、図 16）"▲" 又はボタン（2、図 16）"▼" で "EXIT" の表示をラインし、リセットボタン（12、図 14）を押します。

"▼" を 3 秒間押します。
"▲"
"▼"
MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT

図 43

"Riding Mode" のパーソナライズ

この機能でそれぞれのライディングスタイルの設定が可能になります。
この機能に入るには、64 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "RIDING MODE" を選択し、リセットボタ（12、図 14）を押して次のページに進みます。ディスプレイの機能入口に 3 つのライディングスタイルが表示されます。パラメーターのパーソナライズには、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" を使用し、変更したいライディングスタイルを選択し、リセットボタン（12、図 14）で決定します。設定が可能なパラメーターは "DTC"(Ducati Traction Control) および "ENGINE"(エンジン) です。更新事項は Battery-Off 後もメモリー消去されません。
DTC パラメーターの変更は、DTC（Ducati Traction Control）68 ページを参照してください。
エンジンパラメーターの変更は、ENGINE（ エンジン出力コントロール ）74 ページを参照してください。
それぞれのライディングスタイルを Ducati の初期設定に戻すには、" DEFAULT" 機能を使用します。
デフォルトパラメーターの変更は、DEFAULT (Ducati 初期設定修復) 76 ページを参照してください。

参考

パラメーターが変更（パーソナライズ）されていない、又は、"DEFAULT" 機能でパラメーターの修復が行われると、設定メニューの出口の " メイン " スクリーンにライディングスタイル（SPORT、TOURING 又は URBAN）を表示する " 背景 " が青色に変わります（1、図 44）。

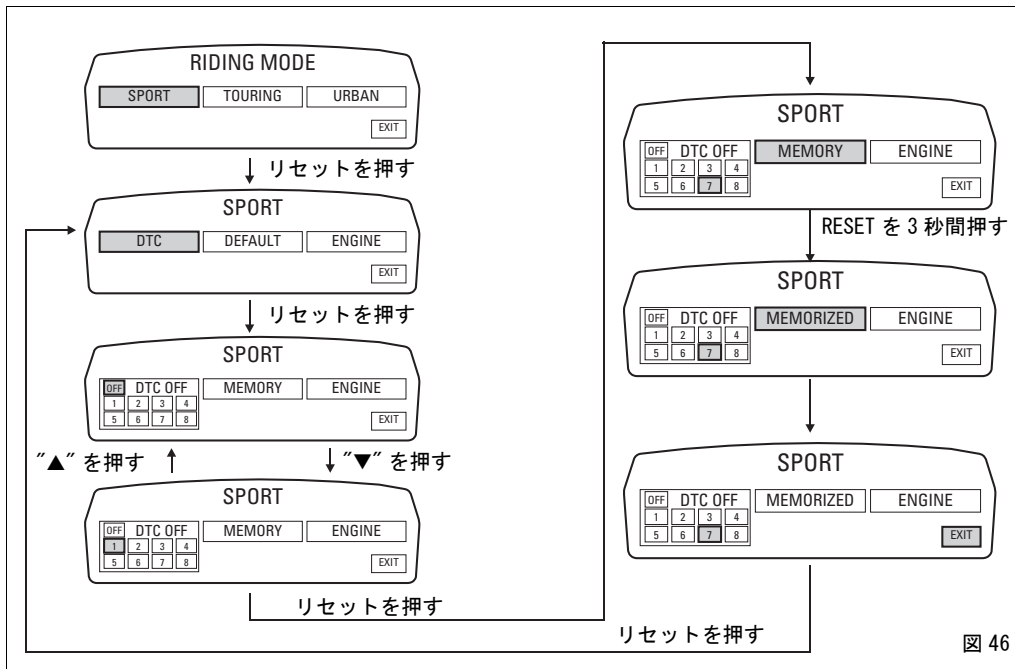
警告

これらの更新は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。想定外の更新になった場合、DEFAULT で、パネルそのものの修復をお勧めします。

図 44

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
”▼” を押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
EXIT
リセットを押す
SPORT
DTC
DEFAULT
ENGINE
EXIT
”▲” を押す
”▼” を押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
EXIT
リセットを押す
TOURING
DTC
DEFAULT
ENGINE
EXIT
”▲” を押す
”▼” を押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
EXIT
リセットを押す
URBAN
DTC
DEFAULT
ENGINE
EXIT
”▲” を押す
”▼” を押す
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
EXIT
リセットを押す
図 45

DTC セッティング機能 (Ducati Traction Control)

この機能は DTC（Ducati Traction Control）の干渉レベルをパーソナライズし、それぞれのライディングスタイル毎に機能を OFF にすることもできます。
この機能に入るには、64 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "RIDING MODE" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。
ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で希望のライディングスタイルを選択し、リセットボタン（12、図 14）ボタンを押します。
次のページに移るには、この時点でボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "DTC" 表示を選択し、再度リセットボタン（12、図 14）を押して、決定します。
長方形の内部のディスプレイの左側にある機能入口に、現在設定されている DTC レベルが表示されます（例 : DTC 1)。
ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で、新しい干渉レベル（1 から 8 まで）又は必要ならばトラクションコントロールを停止する OFF を選択します。一度新しい設定を選択したら、リセットボタン（12、図 14）を押して、"MEMORY" の文字を表示させます。
この時点で "MEMORY" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押して、新設定をメモリーします。新設定のメモリーが正常に行われると、2 秒間緑色の "MEMORIZED" の文字が表示され、その後自動的に EXIT の文字が表示されます。
この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
EXIT
リセットを押す
SPORT
DTC
DEFAULT
ENGINE
EXIT
リセットを押す
SPORT
OFF
DTC OFF
1 2 3 4
5 6 7 8
MEMORY
ENGINE
EXIT
″▲″ を押す
″▼″ を押す
SPORT
OFF
DTC OFF
1 2 3 4
5 6 7 8
MEMORY
ENGINE
EXIT
リセットを押す
SPORT
OFF
DTC OFF
1 2 3 4
5 6 7 8
MEMORY
ENGINE
EXIT
RESET を 3 秒間押す
SPORT
OFF
DTC OFF
1 2 3 4
5 6 7 8
MEMORIZED
ENGINE
EXIT
SPORT
OFF
DTC OFF
1 2 3 4
5 6 7 8
MEMORIZED
ENGINE
EXIT
リセットを押す
図 46

DTC はレベル 1 からレベル 8 まであります。
下記の表は、各タイプのライディングに適した DTC レベルで、ユーザーが "RIDING MODE" から設定を変更する事ができます：

DTC レベル	ライディングタイプ	使用	デフォルト？
1	Sport	熟練ドライバー及びサーキット用スポーティングドライブ	デフォルト RIDING MODE SPORT
2	Sport-Touring	熟練ドライバーの一般道のドライブ	/
3	Touring	一般道のノーマルドライブ	デフォルト RIDING MODE TOURING
4	Touring 2	あまり熟練していないドライバーの一般道のノーマルドライブ	/
5	Urban	市街地のドライブ	デフォルト RIDING MODE URBAN
6	Urban 2	あまり熟練していないドライバーの市街地のドライブ	/
7	Wet	湿ったアスファルトでのドライブ	/
8	Rain	濡れたアスファルトでのドライブ	/

レベルの選択に際しての注意事項

警告
あなたの車両の DTC システムの 8 レベル調整は、車両に搭載されているタイヤの種類 (メーカー、モデル、サイズなどの特徴) によって決定されています。
標準装備のタイヤと異なったサイズのタイヤを使用する場合、システム機能の特徴を変更することができます。
標準装備のタイヤとモデルまたは / およびメーカーが違うが、サイズクラスが同じ (リア＝ 240/45-17、フロント＝ 120/70-17) など、少し違うだけのタイヤを使用する場合、システムの機能を最適化するには、選択可能なレベルのうち、より適切なレベルを選択することでカバーできるでしょう。
サイズクラスの違うタイヤ、またはサイズが少しだけ違うタイヤを使用する場合、システム機能は設定可能な 8 レベルのどれも納得できるものではない可能性があります。
この場合、システムは解除する事をお勧めします。

レベル 8 を選択すると、DTC コントロールユニットはリアタイヤのわずかなスピンにも対応します。
レベル 8 とレベル 1 の間には、その他に 6 つのレベルが存在します。DTC の介入度はレベル 8 から 1 に向かい減少します。
レベル 1 は高スピンを可能にし、正常に機能させるために安定した高密着性が必要です。レベル 1 は熟練ドライバーがアスファルトの状態が極めてよいときのみに使用します。
正しいレベルの選択は、3 つの観点から行います :
1) 安定性 (タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)
2) レイアウト / 行程 (同じような、または全く異なったスピードでのカーブ)
3) ライディングスタイル (より " 丸く " または " 鋭く ")

定着の状態からのレベル選択 :
正しいレベルの選択はレイアウト / 行程中の定着状況に関連します (後述のサーキットおよび一般道での使用時のアドバイス参照)。

レイアウトタイプからのレベル選択
レイアウト / 行程に均等な速度で走行するカーブがある場合、カーブごとに満足できる介入レベルを見つけることはとても簡単です。その反対に、よりゆるいカーブがある場合、より譲歩した介入レベルが必要です (ゆるいカーブ時、DTC はその他のカーブよりもより介入しようとします)。

ライディングスタイルからのレベル選択
DTC は " 丸く " 操縦する人にはバイクを倒し、" 鋭く " 操縦する人には車体を上げて、カーブからより早く抜けれるよう介入します。

サーキットでの使用時のアドバイス
タイヤを温める間の約 2 周は、システムとの接触を良くするため、レベル 8 に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを 7、6、と DTC の最適なレベルに達するまで調整します (タイヤを温めるため、ひとつのレベルごとに 2 周する)。
1 つか 2 つのゆるいカーブ以外は納得のできるレベルの場合、違うレベルに設定しようと調整するよりは、ゆるいカーブでのライディングスタイルを少し " 鋭く " し、カーブ出口での車体角度をより早く上げて走行するとよいでしょう。

一般道での使用時のアドバイス

DTC を起動した後、レベル 8 を選択し、好みのスタイルで運転します。DTC が介入しすぎると感じる場合は、レベルを 7、6 と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整して下さい。
定着状況および / または行程の種類および / またはライディングスタイルを変更し、設定レベルでは納得がいかない場合は調整します (例 : レベル 7 では DTC が介入しすぎると感じる場合はレベル 6 に、レベル 7 では全く DTC の介入がないと感じる場合はレベル 8 に)。

ENGINE（エンジン出力コントロール）セットアップ

この機能でエンジン出力と排出量をパーソナライズします。
この機能に入るには、64 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "RIDING MODE" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。
ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で変更したいライディングスタイルを選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに移ります。この時点でボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "ENGINE" 表示を選択し、再度リセットボタン（12、図 14）を押して、決定します。
長方形の内部のディスプレイの右側にある機能入口に、エンジン設定（ENGINE 162 HIGH、162 LOW 又は 100 HP）が表示されます。

参考

フランスおよび日本バージョンのディスプレイには設定（ENGINE HIGH、MIDDLE 又は LOW）が表示されます。

ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で、3 つのエンジン設定から一つ選択します。一度新しい設定を選択したら、リセットボタン（12、図 14）を押して、"MEMORY" の文字を表示させます。

この時点で "MEMORY" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押して、新設定をメモリーします。新設定のメモリーが正常に行われると、2 秒間緑色の "MEMORIZED" の文字が表示され、その後自動的に EXIT の文字が表示されます。
この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

フランス、日本
RIDING MODE
SPORT
TOURING
URBAN
EXIT
リセットを押す
SPORT
DTC
DEFAULT
ENGINE
EXIT
リセットを押す
SPORT
DTC
MEMORY
ENGINE 162 HIGH
162 HIGH
162 LOW
100 HP
EXIT
"▲"
"▼"
リセットを押す
RESET を 3 秒間押す
MEMORIZED
ENGINE 162 LOW
リセットを押す
SPORT
DTC
MEMORY
ENGINE HIGH
HIGH
MIDDLE
LOW
EXIT
"▲"
"▼"
リセットを押す
RESET を 3 秒間押す
MEMORIZED
ENGINE MIDDLE
リセットを押す

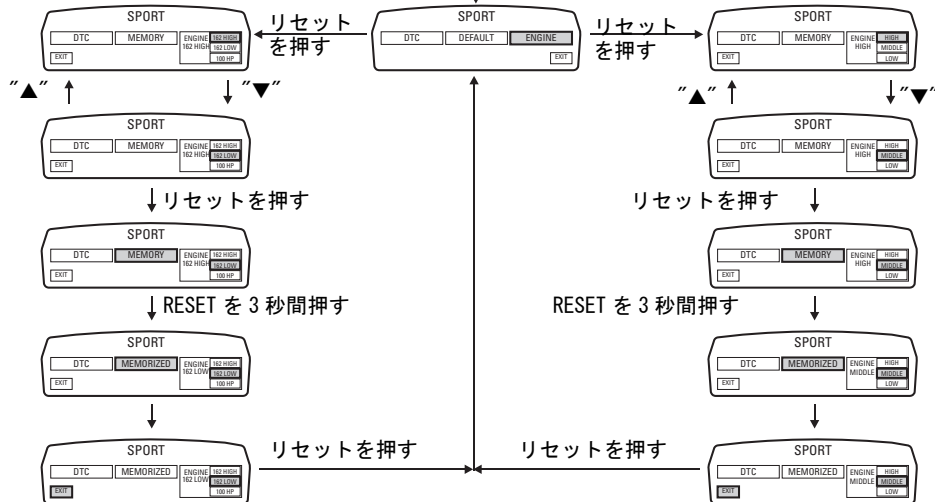



図 47

DEFAULT（Ducati 社設定の修復）

この機能で Ducati 社設定から、それぞれのライディングスタイルに設定が可能です。
この機能に入るには、64 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "RIDING MODE" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で修復したいライディングスタイルの初期パラメーター（デフォルトパラメーター）を選択し、ボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。この時点で、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "DEFAULT" 表示を選択します。
この時点でリセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押して初期パラメーターを修復します。
パラメータの更新には約 3 秒かかり、ディスプレイ上には " PLEASE WAIT…" の表示が出ます。作業終了時にはディスプレイ上に、"DEFAULT OK" が表示され、パラメーター更新が実行された表示が出ます。

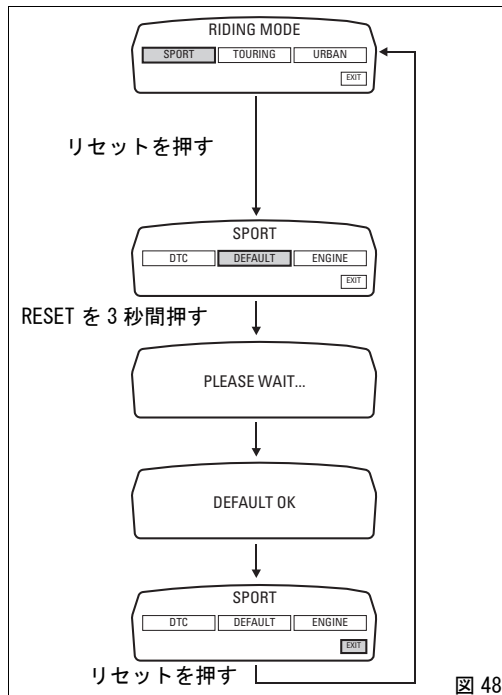



図 48

重要
この作業で全てのライディングスタイルパラメーターを修復します。

この調整終了には"EXIT"表示のあるリセットボタン（12、図14）を押してください。

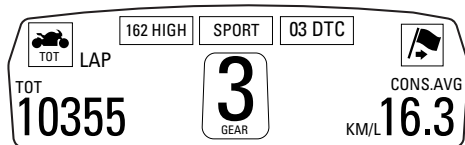
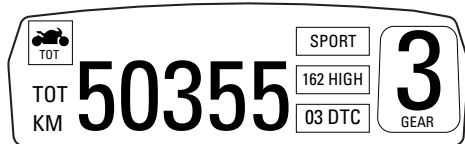
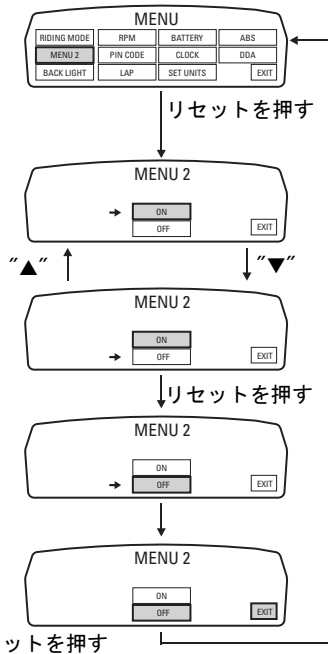
メニュー 2 の停止 / 再起動機能

この機能はメニュー 2 を停止 / 再起動することができます。
メニュー 2 を OFF にすると " メインディスプレイ " に平均燃費（CONS. AVG)、瞬間燃費（CONS.)、平均スピード（SPEED AVG)、トリップタイム（TRIP TIME)、及び気温（AIR）が表示されなくなります。
しかしこれらの機能は計算を続けるので、この Menu 2 を再起動した時のデータは更新されたもので正確です。

この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "MENU 2" を選択し、リセットボタン（12、図 16）を押して次のページに進みます。
ディスプレイ上には機能の状態が表示されます（緑色で ON または黄色で OFF)。ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図 14）を押して決定します。
この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

メニュー 2 "ON"

メニュー 2 "OFF"

図 49

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
MENU 2
ON
OFF
EXIT
"▲"
"▼"
MENU 2
ON
OFF
EXIT
リセットを押す
MENU 2
ON
OFF
EXIT
MENU 2
ON
OFF
EXIT
リセットを押す
図 50

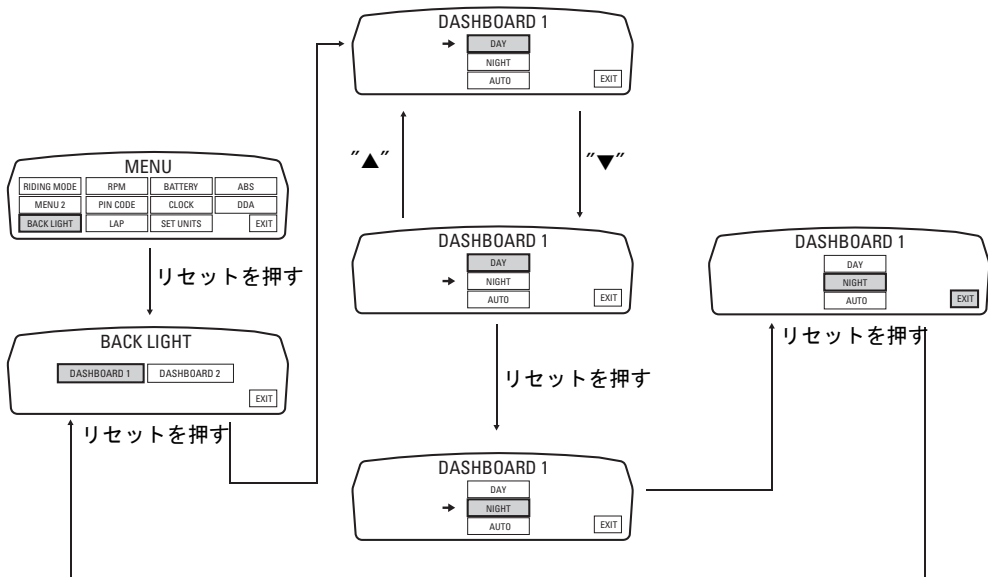
タンクのインストルメントパネル - DASHBOARD 1の背景調整機能

この機能はタンクのインストルメントパネルの″背景″を調整することができます。
この機能に入るには、48ページの″設定″メニューを表示し、ボタン（1、図16）″▲″又は（2、図16）″▼″で″BACK LIGHT″を選択し、リセットボタン（12、図14）を押して次のページに進みます。
ボタン（1、図16）″▲″又は（2、図16）″▼″で″DASHBOARD 1″を選択し、リセットボタン（12、図14）を押して決定します。
ディスプレイ上の″DASHBOARD 1″機能に入ると、調整ステータス（緑色でDAY、NIGHT又はAUTO）が表示されます。ボタン（1、図16）″▲″又は（2、図16）″▼″で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図14）を押して決定します。
この調整終了には″EXIT″表示のあるリセットボタン（12、図14）を押してください。

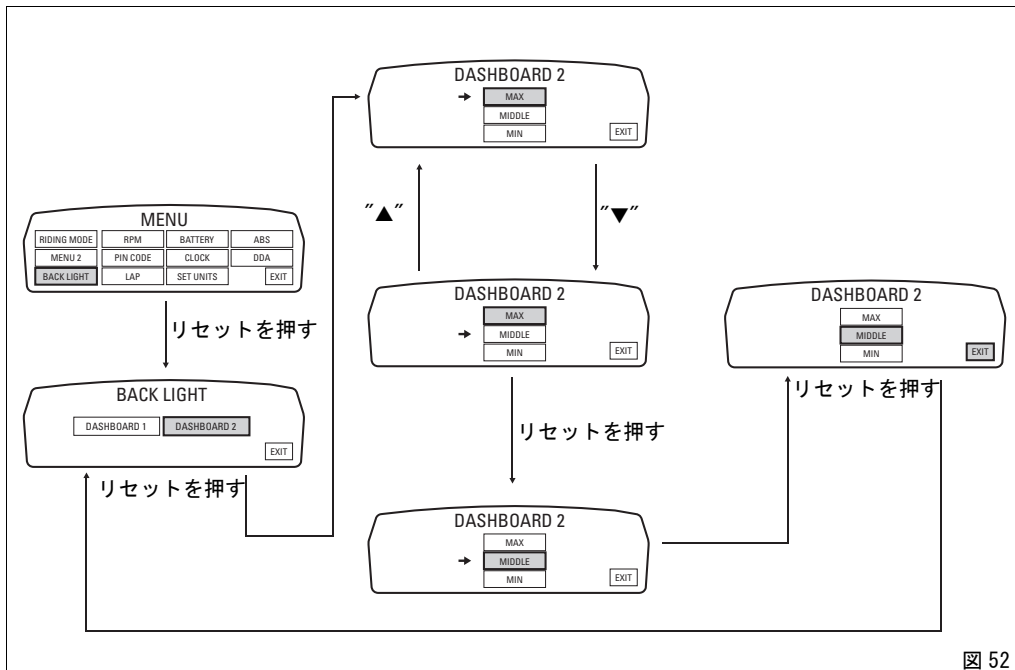
″DAY″調整では、インストルメントパネルの背景はよく見えるよう常に″白色″で、外の光が強いときに使用します。
″NIGHT″調整では、インストルメントパネルの背景は制限された視界でもよく見えるよう″黒色″で、外の光が弱い、又は暗いときに使用します。
″AUTO″調整では、インストルメントパネルの背景は（センサーが感知する）外の光の強さによって自動的に調整され、外の光が弱いときには″黒色″、外の光が強いときには″白色″になります。

参考

バッテリーが中断された場合、電源の確保および次のKey-On時に画面の光調整もリセットされ、いつも″AUTO″モードにセットされます。

DASHBOARD 1
DAY
NIGHT
AUTO
EXIT
MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
"▲"
"▼"
リセットを押す
BACK LIGHT
DASHBOARD 1
DASHBOARD 2
EXIT
リセットを押す
DASHBOARD 1
DAY
NIGHT
AUTO
EXIT
リセットを押す
DASHBOARD 1
DAY
NIGHT
AUTO
EXIT
DASHBOARD 1
DAY
NIGHT
AUTO
EXIT
リセットを押す
図 51

ハンドルバーのインストルメントパネル – DASHBOARD 2のバックライト調整機能

この機能ではハンドルバーのインストルメントパネの " バックライト " の強度調整を行います。
この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "BACK LIGHT" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。
ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "DASHBOARD 2" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して決定します。
ディスプレイ上の "DASHBOARD 2" 機能に入ると、調整ステータス（緑色で MAX、MIDDLE 又は MIN）が表示されます。ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図 14）を押して決定します。
この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

"MAX" を選択すると、ハンドルバーに設置されたインストルメントパネルは常に背景を最高の強度に設定し、外の光が強いときに使用します。
"MIDDLE" を選択すると、ハンドルバーに設置されたインストルメントパネルの背景を最高の強度より 30% 弱めたバックライトに設定し、外の光が弱いときに使用します。
"MIN" を選択すると、ハンドルバーに設置されたインストルメントパネルの背景を最高の強度より 50% 弱めたバックライトに設定し、外の光があまりない、又は暗いときに使用します。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
BACK LIGHT
DASHBOARD 1
DASHBOARD 2
EXIT
リセットを押す
DASHBOARD 2
MAX
MIDDLE
MIN
EXIT
"▲"
"▼"
DASHBOARD 2
MAX
MIDDLE
MIN
EXIT
リセットを押す
DASHBOARD 2
MAX
MIDDLE
MIN
EXIT
DASHBOARD 2
MAX
MIDDLE
MIN
EXIT
リセットを押す
図 52

デジタルエンジン回転表示機能

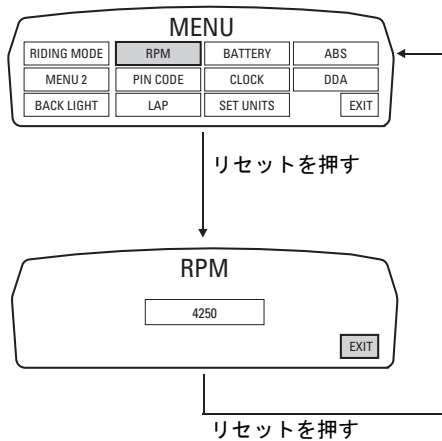
この機能はより正確なエンジン回転数(RPM)を表示します。

この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン(1、図 16)"▲" 又は(2、図 16)"▼" で "RPM" を選択し、リセットボタン(12、図 14)を押して決定します。

ディスプレイにはエンジン回転情報が 50 rpm から正確に表示されます。

この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン(12、図 14)を押してください。

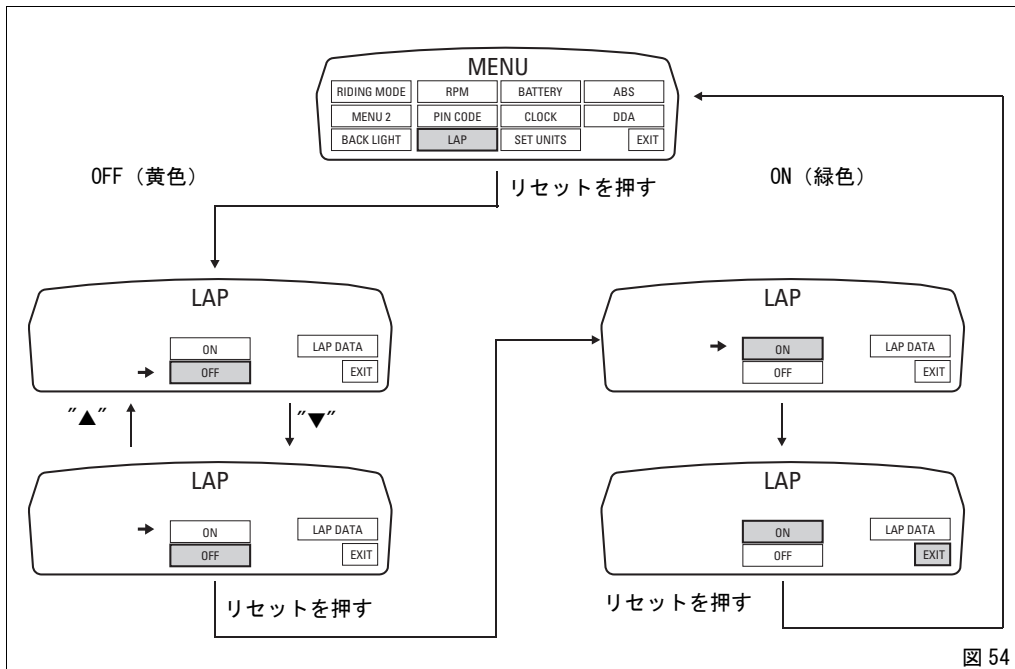
MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
RPM
4250
EXIT
リセットを押す

図 53

LAP（ラップタイム）起動/解除機能

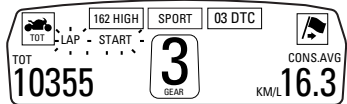
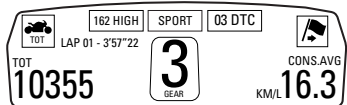
この機能でLAP（ラップタイム）の起動/解除が可能です。
この機能に入るには、48ページの"設定"メニューを表示し、ボタン（1、図16）"▲"又は（2、図16）"▼"で"LAP"を選択し、リセットボタン（12、図14）を押して次のページに進みます。
ディスプレイ上には機能の状態が表示されます（緑色でONまたは黄色でOFF)。ボタン（1、図16）"▲"又は（2、図16）"▼"で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図14）を押して決定します。
この調整終了には"EXIT"表示のあるリセットボタン（12、図14）を押してください。

"OFF"設定にすると、LAP機能は解除されます。
"ON" 設定にすると、LAP機能が起動されます。
("LAP調整"の章参照)

参考

"LAP" 機能が起動中、フラッシュボタン（11.図14）は、ハイビーム機能の "flash" とラップタイム機能のStart / Stopの両方に使われます。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
OFF（黄色）
リセットを押す
ON（緑色）
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
″▲″
″▼″
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
リセットを押す
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
リセットを押す
図 54

LAP 設定
この機能で LAP の設定をします。
機能が起動状態であれば (LAP 起動 / 解除参照)、以下の方法でラップタイム機能の設定が可能です。
- フラッシュボタン（11、図 14）を一度押すと、クロノメーターが最初のラップを開始し、インストルメントパネルに "LAP-START" の点滅表示が 4 秒間映し出され、その後元の表示に戻ります。
- 以後、フラッシュボタン（11、図 14）を押すたびに、ディスプレイ上には回転数及びラップタイムが自動的に 10 秒間表示され、その後元の表示に戻ります。

30 回までラップタイムを記録する事が出来ます。
メモリーがフルの場合、メモリーがリセットされるまでは、フラッシュボタン（11、図 14）を押してもラップタイムは記憶せず、ディスプレイ上に 4 秒間 "LAP-FULL" と点滅表示されます。
LAP 機能を OFF にした場合、そのラップは記録されません。
LAP 機能使用中に突然エンジンが止まった場合 (キー OFF)、LAP 機能は自動的に OFF になります (クロノメーターが作動していても、ラップタイムは記憶されません)。
ラップタイムの "STOP" 指示が出されなかった場合、9 分 59 秒 99 の時点でクロノメーターは 0 に戻り、ストップ指示が出されるまでラップタイムを測定し続けます。
LAP 機能が ON になり、" メモリー " がリセットされず、記憶されている周回数が 30 未満（例えば 18 周分メモリーされている）の場合、インストルメントパネルはメモリーがいっぱいになるまで記憶します (この場合はさらに 12 周分記憶可能)。
この機能は今現在記録されているラップタイムしか表示しません。"LAP DATA" 機能の全データを完全に表示するために、他のデータ（ 最高速度及びエンジン最高回転数 ）も同様に記録されます（LAP 記録表示参照）。

162 HIGH
SPORT
03 DTC
TOT
LAP
TOT
10355
3
GEAR
CONS.AVG
KM/L 16.3
FLASH ボタンを 1 回押す
LAP - START
FLASH ボタンを 2 回押す
LAP 01 - 3'57"22
FLASH ボタンを 31 回押す
LAP 30 - 2'55"32
FLASH ボタンを 32 回押す
LAP - FULL
図 55

LAP 記録表示

この機能で LAP 記録表示をします。
この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "LAP" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。
ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "LAP DATA" 表示を選択し、リセットボタン（12、図 14）を再度押してすでに記憶されているラップタイムを表示するページに移ります。

ディスプレイ上には以下の項目が表示されます。
- 左上部にラップ数の表示が表示されます（例：LAP N.01）。
- 左下部の長方形内にラップタイム（TIME)、相当ラップタイムの最高到達スピード（SPEED MAX)、及び、相当ラップタイムの最高到達エンジン回転数（RPM MAX）が表示されます。
- ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "NEXT"（リセットボタン（12、図 14）を押す度ごとに次のラップタイムを表示）及び "PREV"（リセットボタン（12、図 14）を押す度ごとに前のラップタイムを表示）を右側に表示することができます。

この機能終了には "EXIT" を選択し、reset ボタン (12、図 14) を押してください。

参考
記録最高速度はディスプレイに表示されます (5% 増大させたもの)。

メモリーにデータが全く記録されていない場合、"NO LAP" の表示と共にストップウォッチが "-.--.- -"、
最高回転数 = - - - - - - -、
及び最高スピード = - - - - - - を表示します。

参考
記録タイムが消去されると、LAP 機能が起動中でも自動的に OFF になります。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
"▼"
"▲"
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
リセットを押す
LAP DATA
LAP N.01
TIME: 3'55"22
SPEED MAX: 192 KM/H
RPM MAX: 6850
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
"▼"
"▲"
LAP DATA
LAP N.30
TIME: 2'43"38
SPEED MAX: 212 KM/H
RPM MAX: 7550
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
LAP DATA
LAP N.30
TIME: 2'43"38
SPEED MAX: 212 KM/H
RPM MAX: 7550
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
LAP DATA
LAP N.30
TIME: 2'43"38
SPEED MAX: 212 KM/H
RPM MAX: 7550
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
リセットを押す
図 56

LAP 記録消去機能

この機能で LAP 記録を消去することができます。
この機能に入るには、48 ページの ″設定″ メニューを表示し、ボタン（1、図 16）″▲″ 又は（2、図 16）″▼″ で “LAP” を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。
ボタン（1、図 16）″▲″ 又は（2、図 16）″▼″ で ″LAP DATA″ 表示を選択し、リセットボタン（12、図 14）を再度押してすでに記憶されているラップタイムを表示するページに移ります。
″ERASE″ の文字を選択し、ボタン（1、図 16）″▲″ 又は（2、図 16）″▼″ で消去する LAP 記録をスクロールし、リセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押します。この時点でディスプレイの左側に ″PLEASE WAIT…″ の文字が表示され、その後消去が正常に行われたことを示す ″ERASE OK″ の表示が 2 秒間表れます。
記録データがなくなり、″NO LAP″ と表示されます。
この機能終了には ″EXIT″ を選択し、reset ボタン (12、図 14) を押してください。

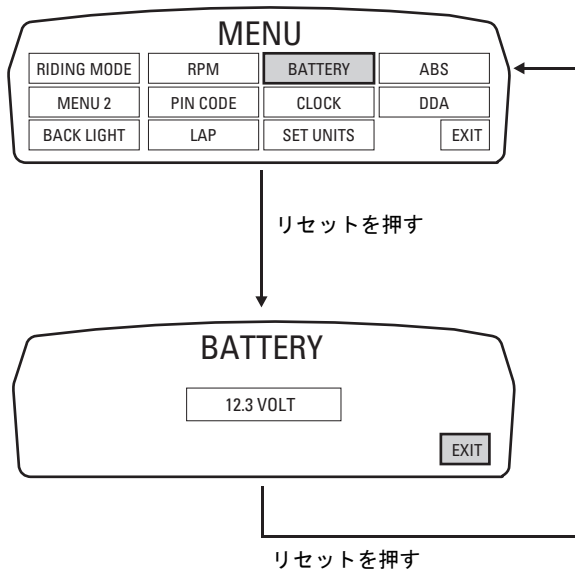
MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
"▼"
"▲"
LAP
ON
OFF
LAP DATA
EXIT
リセットを押す
LAP DATA
LAP N.30
TIME: 2'43"88
SPEED MAX: 212 KM/H
RPM MAX: 7550
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
ERASE を 3 秒間押す
LAP DATA
PLEASE WAIT...
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
LAP DATA
ERASE OK
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
LAP DATA
NO LAP
TIME: -' --" ---
SPEED MAX: --- KM/H
RPM MAX: ----
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
LAP DATA
NO LAP
TIME: -' --" ---
SPEED MAX: --- KM/H
RPM MAX: ----
PREV
NEXT
ERASE
EXIT
リセットを押す

図 57

バッテリーテンション表示 (BATTERY)

ここではバッテリーテンション表示機能を説明します。
この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "BATTERY" を選択し、リセットボタン（12、図 12）を押して決定します。
ディスプレイ上には以下の項目が表示されます。

- バッテリーテンションが 11.8 から 14.9 Volt の場合、固定表示になります。
- バッテリーテンションが 11.0 から 11.7 Volt の場合、点滅表示になります。
- バッテリーテンションが 15.0 から 16.0 Volt の場合、点滅表示になります。
- バッテリーテンションが 10.9 Volt 以下の場合、" LOW " が点滅表示され、" 車両 / エンジン診断 - EOBD" ランプ (7、図 6) が点灯します。
- バッテリーテンションが 16.1 Volt 以上の場合、" HIGH " が点滅表示され、" 車両 / エンジン診断 -EOBD" ランプ (7、図 6) が点灯します。

参考
データが出力できない時は "- - -" が表示されます。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
BATTERY
12.3 VOLT
EXIT
リセットを押す
図 58

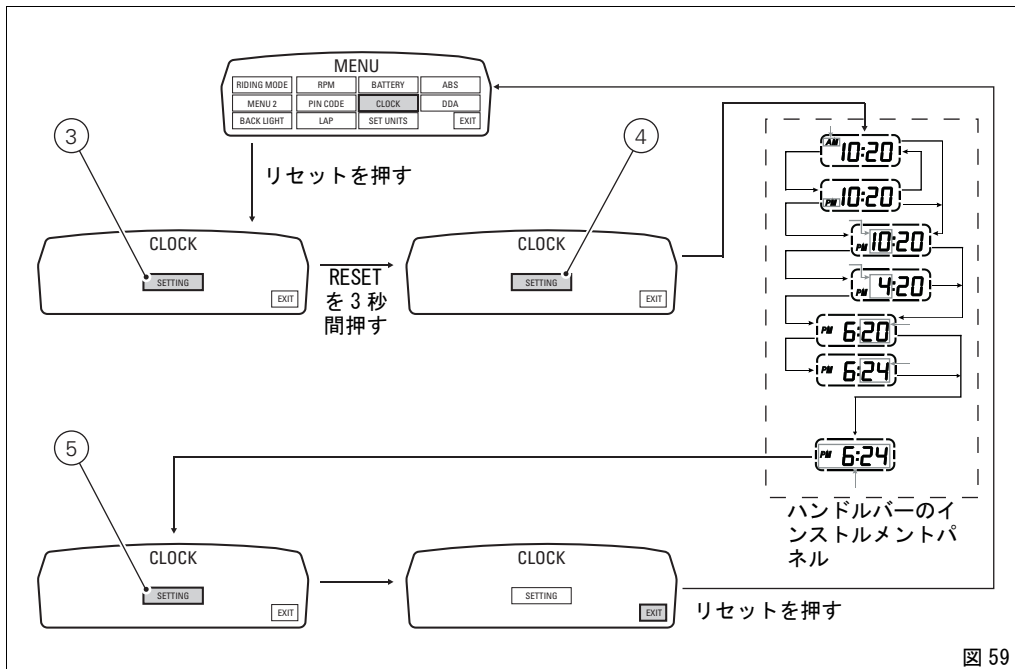
時計の調整

この機能は時計の調整設定をします。
この機能に入るには、48 ページの ″ 設定 ″ メニューを表示し、ボタン（1、図 16）″▲″ 又は（2、図 16）″▼″ で ″CLOCK″ を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して決定します。
その後、緑色で ″SETTING″（3、図 59）の表示が表れます。この時点でハンドルバーのインストルメントパネルの表示を変更するには、リセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押します。″SETTING″ 表示が灰色になります（4、図 59）。

時計のセットアップ

この機能に入ると最初に ″AM″ の表示が点滅します。
ボタン ″▼″(2、図 16) を押すと、PM が点滅表示します。
ボタン ″▼″(2、図 16) を押すと、ひとつ前のステップに戻ります (時間が 00:00 の場合は、AM から PM へ移ると 12:00 が表示されます)。
ボタン ″▲″(1、図 16) を押すと、時間表示が点滅し始め、時間の設定に入ります。
ボタン (2、図 16)″▼″ を押すたびに、1 時間進みます。ボタン (2、図 16)″▼″ を押し続けると、秒につき 1 時間ずつ進みます (ボタンを押し続けている間、時間表示は点滅しません)。
ボタン (1、図 16)″▲″ を押すと、分が点滅し始め、分の設定に入ります。
ボタン (2、図 16)″▼″ を押すたびに、1 分進みます。ボタン (2、図 16)″▼″ を押し続けると、1 秒につき 1 分ずつ進みます。
ボタン (2、図 16)″▼″ を 5 秒以上押し続けると、100ms につき 1 分の割合で数字が増します (ボタン (2、図 16)″▼″ を押している間、数字は点滅しません)。
ボタン（1、図 16）″▲″ を押すと調整が終了し、タンクのインストルメントパネルのディスプレイ上に ″SETTING″ の文字が緑色で表示されます（5、図 59)。
この機能終了には ″EXIT″ を選択し、reset ボタン (12、図 14) を押してください。

参考

バッテリーが中断された場合、電源の確保および次の Key-On 時に、時計はリセットされます（自動的に 00:00 から再開します)。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
3
CLOCK
SETTING
EXIT
RESET
を 3 秒
間押す
4
CLOCK
SETTING
EXIT
AM 10:20
PM 10:20
PM 10:20
PM 4:20
PM 6:20
PM 6:24
PM 6:24
ハンドルバーのインストルメントパネル
5
CLOCK
SETTING
EXIT
CLOCK
SETTING
EXIT
リセットを押す
図 59

単位の変更機能

この機能では表示単位の変更が可能です。
この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン(1、図 16)"▲"又は(2、図 16)"▼"で"SET UNITS"を選択し、リセットボタン(12、図 14)を押して次のページに進みます。
ボタン(1、図 16)"▲"又は(2、図 16)"▼"で変更したい単位の大きさを選択し、再度リセットボタン(12、図 14)を押します。
インストルメントパネルには変更が可能な表示単位が示されます。ボタン(1、図 16)"▲"又は(2、図 16)"▼"で、希望する表示を選択し、もう一度リセットボタン(12、図 14)を押します。

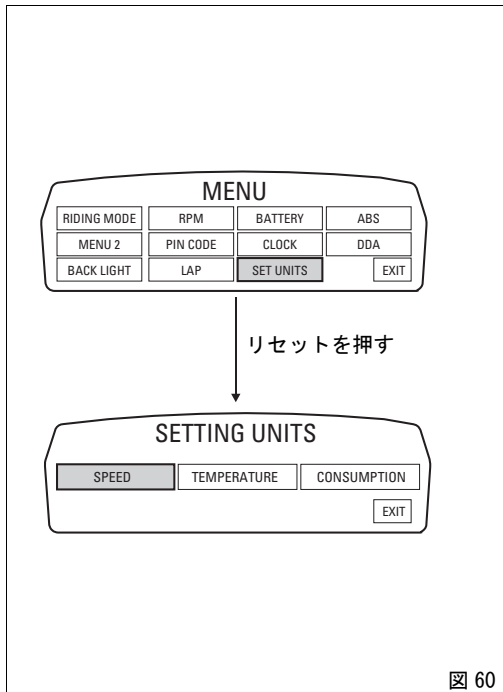



図 60

SPEEDの設定

この機能はスピードの単位を変更することができます（従って走行距離の単位も変更します。）
ディスプレイ上に現在設定されている単位が緑色で表示されます。ボタン（1、図16）″▲″又は（2、図16）″▼″で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図14）を押して決定します。
設定をメモリーすると、メイン表示にもどったとき、新しく設定した単位が表示されます。

1）Km/h：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- TOT、TRIP1、TRIP2、TRIP FUEL：Km
- 車両スピード及び平均スピード（SPEED AVG）：Km/h

2）mph：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- TOT、TRIP1、TRIP2、TRIP FUEL：マイル
- 車両スピード及び平均スピード（SPEED AVG）：mph。

この調整終了には“EXIT”表示のあるリセットボタン（12、図14）を押してください。

″TEMPERATURE″設定

この機能では温度の単位の変更が可能です。
ディスプレイ上に現在設定されている単位が緑色で表示されます。ボタン（1、図16）″▲″又は（2、図16）″▼″で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図14）を押して決定します。

設定をメモリーすると、メイン表示にもどったとき、新しく設定した単位が表示されます。

3）°C：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- クーラントおよびT_AIR温度：°C

4）°F：この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- クーラントおよびT_AIR温度：°F

この調整終了には″EXIT″表示のあるリセットボタン（12、図14）を押してください。

"CONSUMPTION" 設定
この機能では平均燃費及び瞬間燃費の単位の変更が可能です。
ディスプレイ上に現在設定されている単位が緑色で表示されます。ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図 14）を押して決定します。
設定をメモリーすると、メイン表示にもどったとき、新しく設定した単位が表示されます。

5) Km/L: この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- CONS. 及び CONS. AVG ：Km/L
6) L/100 ： この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- CONS. 及び CONS. AVG: L/100
7) mpgal UK ： この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- CONS. 及び CONS. AVG: mpgal UK
8) mpgal USA ： この設定を選択すると、以下の項目がこの単位を使用します：
- CONS. 及び CONS. AVG: mpgal USA

この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

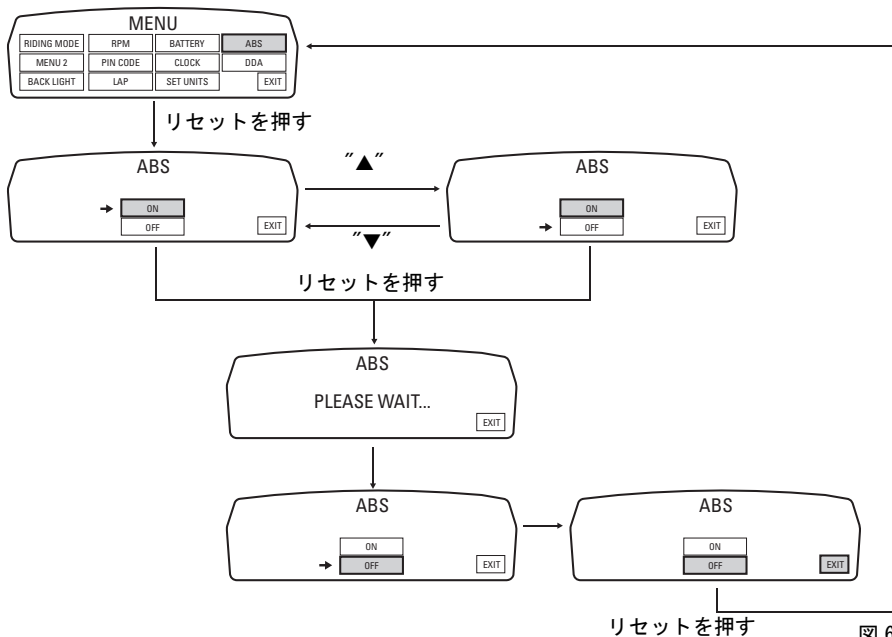
リセット
SETTING UNITS
SPEED
TEMPERATURE
CONSUMPTION
EXIT
リセット
SPEED
Km/h
mph
EXIT
"▲"
"▼"
SPEED
Km/h
mph
EXIT
リセット
SPEED
Km/h
mph
EXIT
"▲"
"▼"
SETTING UNITS
SPEED
TEMPERATURE
CONSUMPTION
EXIT
リセット
TEMPERATURE
°C
°F
EXIT
"▲"
"▼"
TEMPERATURE
°C
°F
EXIT
リセット
TEMPERATURE
°C
°F
EXIT
"▲"
"▼"
SETTING UNITS
SPEED
TEMPERATURE
CONSUMPTION
EXIT
リセット
CONSUMPTION
L/100 Km
mpg (UK)
Km/L
mpg (USA)
EXIT
"▲"
"▼"
CONSUMPTION
L/100 Km
mpg (UK)
Km/L
mpg (USA)
EXIT
"▲"
"▼"
CONSUMPTION
L/100 Km
mpg (UK)
Km/L
mpg (USA)
EXIT
"▲"
"▼"
CONSUMPTION
L/100 Km
mpg (UK)
Km/L
mpg (USA)
EXIT
図 61

ABS 停止機能

この機能は ABS システムを停止または作動させることができます。
この機能に入るには、48 ページの " 設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "ABS" を選択し、リセットボタン（12、図 12）を押して次のページに進みます。
ディスプレイ上には機能の状態が表示されます（緑色で ON または黄色で OFF)。ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で左の矢印を新設定上に移動させ、リセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押して決定します。
3 秒後、システムはこの操作が正常に行われたかどうか検証します。この確認中、"PLEASE WAIT…" と表示されます。
検証後新設定条件が表示されます。

参考

停止の操作が正常に行われたかった場合は、同じ操作を繰り返してください。問題が解決しない場合、ディーラーまたは Ducati サービスセンターにご連絡ください。

この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
ABS
ON
OFF
EXIT
"▲"
"▼"
ABS
ON
OFF
EXIT
リセットを押す
ABS
PLEASE WAIT...
EXIT
ABS
ON
OFF
EXIT
ABS
ON
OFF
EXIT
リセットを押す
図 62

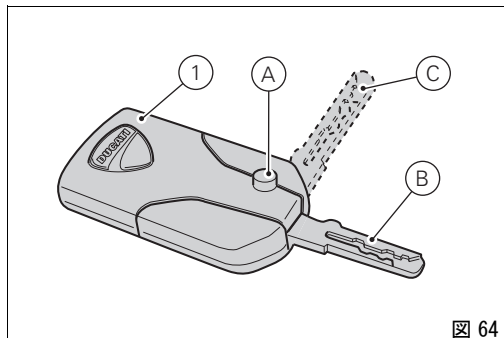
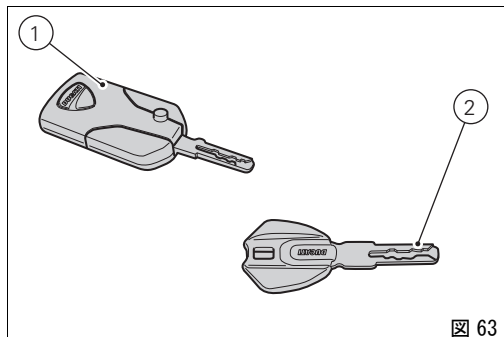
イモビライザーシステム
この車両には電子制御でエンジンをブロックする盗難防止システム（イモビライザー）が搭載されています。イモビライザーは、毎回エンジンを停止する度に自動的に作動します。
各キーボディにはトランスポンダーが内蔵されています。トランスポンダーからの信号は、シート下に設置されたアンテナを介してコントロールユニットに送られます。この信号はパスワードの役割を果たし、イグニッションキーがスイッチに差し込まれる度に、毎回変更され、CPU が〝パスワード〝によってキーを承認した時のみエンジンが始動します。

図 63

キー（図 63）
車両には、以下のキーが付属しています：
- アクティブキー 1 本（1、図 63）。
- パッシブキー 1 本（2、図 63）。

これらのキーは、異なる方法で Hands free システム key-on 状態にする為のコードをもっています。

図 64

アクティブキー（1、図 64）は普通使用のキーで、ボタン（A、図 64）を押すと金属部分（B、図 64）が完全に開きます。ボタン（A、図 64）を押し続けると、中間部分にある金属部分（C、図 64）を移動させることができます。その位置を維持するにはボタンを離し、固定します。
金属のへこみの最後部分は、柄の内側に入っています。

アクティブキー内部にはバッテリーがあり、インストルメントパネル始動の際にキーバッテリーレベルの"警告"が表示されたとき、交換しなければなりません(図 65)。

参考
この場合できるだけ早いバッテリー交換をお勧めします。(106 ページ)。

充電量がある程度の限度を下回ると、このキーはパッシブキー同様、発信できなくなります。この場合、インストルメントパネルに一切のメッセージが表示されません。

警告
キー(1 または 2、図 63)をフィラープラグのロックやシートロックに挿したまま走行しないで下さい。抜けたり、思わぬ事故の元になります。また、強度の衝撃はキー機能と全回路に損傷を与える可能性があります。

警告
過酷な天候の下、キー挿入のまま走行することも、キー内部の回路に損傷を与える可能性があります。

図 65

洗車中にキーを車両の上に放置しないで下さい。防水対応はしておりませんので、損傷の可能性があります。

アクティブキーのバッテリー交換

リチウムイオンバッテリーCR 2032　3 Volt のみ使用してください。

参考
交換後のキーの再設定は必要ありません。

バッテリーの金属部分を取り出してください。
プラスチックの柄部分を、直径がある程度ある硬貨（2 ユーロ硬貨 €）を使い、開けて下さい。図 66 を参照。

重要
矢印で表示されている部分のみに、硬貨を挿入してください。上記以外のもので開けたり、矢印以外の場所に挿入しないで下さい。内部回路や保護シールに損傷を与える可能性があります。

柄部分を外した後は、図で示すように、小さなマイナスドライバーの先をプレス回路（1、図 67）のすぐ下にいれ、回路を破損させないよう慎重に 持ち上げ、引き抜いてください。

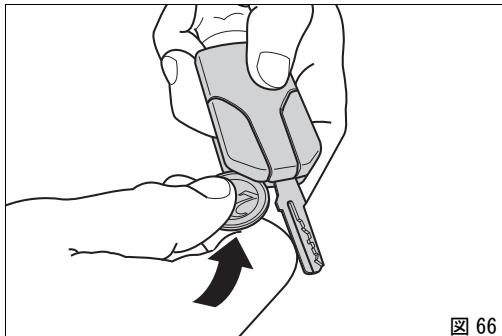



図 66

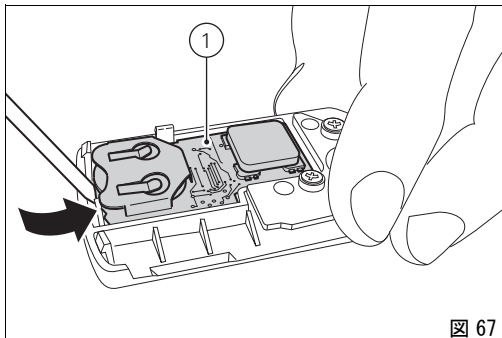



図 67

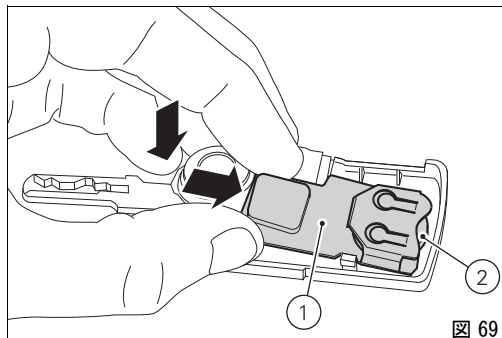
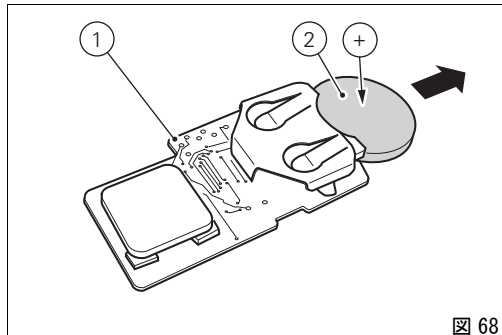
重要
小さなマイナスドライバーの先をプレス回路のすぐ下に、回路を破損させないように慎重にいれて下さい。バッテリーおよびバッテリーケースに力をかけないで下さい。

バッテリー (2、図 68) をプレス回路 (1、図 68) から抜いて、新しいバッテリーと交換してください。電極に十分に注意してください。プラス (+) を必ず上に向けます。

重要
指定バッテリーのみ、使用してください。

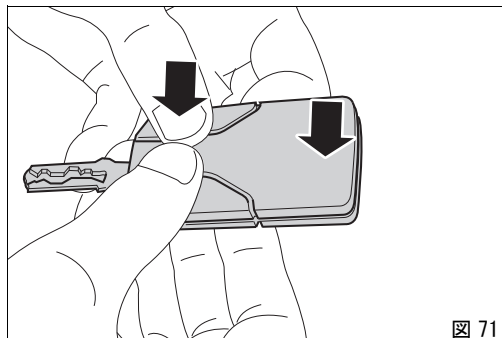
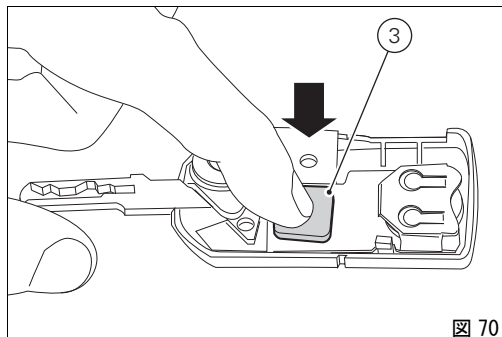
プレス回路を元に戻す時 (1、図 69) には、バッテリー側から (2、図 69) 挿し、プラスチックに入れてください。

図 68

図 69

プレス回路アンテナ (3、図 70) をカチっという連結音が聞こえるまで軽く押して下さい。

二つの柄を揃え、矢印部分 (図 71) を押して、閉じてください。
カチッという音でよく閉じたことがわかります。

図 70

図 71

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、お持ちのキー全てを持って Ducati サービスセンターにご依頼下さい。
Ducati サービスセンターは新しいキー、およびお手持ちのキーを再プログラミングします。
Ducati アシスタントサービスは、お客様が車両のオーナーである証明の提示を求めることがありますので、必要書類をご持参下さい。
この作業時に再メモリーされなかったキーのメモリーは削除されて無効となるため、エンジンを始動する為に使用することはできません。

イモビライザーの解除作業

HF (Hands Free) システムに不具合が生じた場合、車両の一時起動をします。

参考

PIN CODE 機能作動には、不具合が生じた場合に一時起動をするため、予め４桁の PIN をインストルパネルに入力します。

警告

PIN コードは車両所有者自身が設定してください。PIN コードが既に設定になっていた場合は、Ducati ディーラーへ解除の申し込みをして下さい。設定解除をする場合、Ducati ディーラーは車両所有者確認をさせていただくことがあります。

PIN CODE 起動機能

この機能に入るには、"64 ページの設定 " メニューを表示し、ボタン（1、図 16）"▲" 又は（2、図 16）"▼" で "PIN CODE" を選択し、リセットボタン（12、図 14）を押して次のページに進みます。

参考

その時点で "MODIFY PIN CODE" の表示が出た場合、PIN は既に存在し機能していることを表します。

機能の入口でディスプレイに "INSERT NEW PIN CODE" の表示が表れ、その下に緑色の点線 "- - - -" が表示されます。この時点で４桁のコードを入力します。

コードの入力：
リセットボタン（12、図 14）を押します。
ボタン (2、図 16) "▼" を押すごとに、表示数値は０から９まで移動し、また０に戻ります。
Reset ボタン（12、図 14）を押し、数値が設定されます。
同じ方法で４桁すべてを入力します。
リセットボタン（12、図 14）を再度押し、"MEMORY" を表示します。
この時点で入力した PIN をメモリーするには、リセットボタン（12、図 14）を 3 秒間押して緑色の "MEMORY" を表示します。

ディスプレイ上に PIN がメモリーされたことの確認のため約 2 秒間 "MEMORIZED" と表示され、その後自動的に "EXIT" の表示が表れます。
これ以降、"PIN CODE" 機能に入ると、"MODIFY PIN CODE" と表示され、回数に限りがありますが新たに PIN を変更することができます。
この調整終了には "EXIT" 表示のあるリセットボタン（12、図 14）を押してください。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
RESET を押す
PIN CODE を入力しましたか？
NO
PIN CODE
INSTERT NEW PIN CODE
_ _ _ _
MEMORY
EXIT
RESET を押す
PIN CODE
INSTERT NEW PIN CODE
0 _ _ _
MEMORY
EXIT
“▼” を 2 回押す
PIN CODE
INSTERT NEW PIN CODE
2 _ _ _
MEMORY
EXIT
RESET を押す
RESET を押す
PIN CODE
INSTERT NEW PIN CODE
2 5 1 8
MEMORY
EXIT
RESET を 3 秒間押す
PIN CODE
INSTERT NEW PIN CODE
2 5 1 8
MEMORIZED
EXIT
PIN CODE
INSTERT NEW PIN CODE
2 5 1 8
MEMORIZED
EXIT
RESET を押す
図 72

PIN CODE 変更

この機能で４桁のPIN CODEの変更が可能となります。
この機能に入るには、″64ページの設定″メニューを表示し、ボタン（1、図16）″▲″又は（2、図16）″▼″で″PIN CODE″を選択し、リセットボタン（12、図14）を押して次のページに進みます。

参考

″INSERT NEW PIN CODE″ と点線″－－－－″が即表示された場合は、未入力同様、PIN CODEが機能していないことを示します。前頁″PIN CODE起動機能″で説明したように、PINを入力してください

機能の入口でディスプレイに″MODIFY PIN CODE″の表示が表れ、その下に″OLD PIN″及び緑色の点線″－－－－″が表示されます。この時点で４桁のコードを入力します。

参考

PIN変更には、メモリー済みPINを記憶しておくことが必要です。

この時点で″古い″PIN（OLD PIN）を入力します。
リセットボタン（12、図14）を押します。ボタン（2、図16）″▼″を押すごとに、表示数値は０から９まで移動し、また０に戻ります。resetボタン（12、図14）を押し、数値が設定されます。同じ方法で４桁すべてを入力します。新たにresetボタン（12、図14）を押し、数値が設定されます。
入力した暗証番号が正しくない場合、インストルメントパネルに点線″－－－－″が再度表示され、暗証番号の再入力をしなければなりません。
入力した暗証番号が正しい場合、自動的に緑色で″CORRECT″と2秒間表示され、その後自動的に点線″－－－－″が表れ､その脇に″NEW PIN″と表示されます。この時点で４桁のコードを入力します。
リセットボタン（12、図14）を押します。ボタン（2、図16）″▼″を押すごとに、表示数値は０から９まで移動し、また０に戻ります。Resetボタン（12、図14）を押し、数値が設定されます。同じ方法で４桁すべてを入力します。新たにresetボタン（12、図14）を押し、数値が設定されます。
自動的に″MEMORY″と表示されます。

MENU
RIDING MODE
RPM
BATTERY
ABS
MENU 2
PIN CODE
CLOCK
DDA
BACK LIGHT
LAP
SET UNITS
EXIT
リセットを押す
PIN CODE を入力しましたか？
YES
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
_ _ _ _
CORRECT
NEW PIN
_ _ _ _
MEMORY
EXIT
リセットを押す
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
2 5 1 8
CORRECT
NEW PIN
_ _ _ _
MEMORY
EXIT
リセットを押す
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
2 5 1 8
CORRECT
NEW PIN
_ _ _ _
MEMORY
EXIT
リセットを押す
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
2 5 1 8
CORRECT
NEW PIN
_ _ _ _
MEMORY
EXIT
リセットを押す
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
2 5 1 8
CORRECT
NEW PIN
5 7 9 2
MEMORY
EXIT
リセットを押す
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
2 5 1 8
CORRECT
NEW PIN
5 7 9 2
MEMORY
EXIT
RESET を 3 秒間押す
PIN CODE
MODIFY PIN CODE
OLD PIN
2 5 1 8
CORRECT
NEW PIN
5 7 9 2
MEMORIZED
EXIT
リセットを押す
図 73

この時点で入力した新しいPINをメモリーするには、リセットボタン（12、図14）を3秒間押して緑色の"MEMORY"を表示します。
ディスプレイ上に新しいPINがメモリーされたことの確認のため約2秒間"MEMORIZED"と表示され、その後自動的に"EXIT"の表示が表れます。
この調整終了には"EXIT"表示のあるリセットボタン（12、図14）を押してください。

参考
PIN CODEの設定は何度でも可能です。

ランプコントロール

ヘッドランプコントロール

ヘッドランプが自動的に OFF となり、バッテリーの消費量を抑えます。
Key-On にすると、ハイビームおよびロービームは OFF の状態です。
エンジンを始動させるとロービームが自動的に点灯します。この時点から ″ 通常の ″ 機能になります。ロービームからハイビームへ (ボタン 11、図 14 を利用) 変更することができ、″FLASH″(ボタン 11、図 14 を利用) を使用することができます。Key-On にした後もエンジンを始動させない場合も、左側スイッチでロー / ハイビームを点灯する事ができます (ボタン 11、図 14)。1 回押すとロービームが点灯します。この時点から、同じボタンを利用してロービーム / ハイビームを ON (及び OFF) にすることができます (60 秒以内にエンジンが始動されない場合は、点灯しているロービームまたはハイビームは消灯します)。
上記の手順でエンジンを始動する前にビームを点灯した場合、車両を始動させる際、自動的に一旦消灯し、エンジンが完全に始動した時点で点灯します。

ターンインジケーター（自動リターン機能)

インストルメントパネルでターンインジケーターの自動リターン機能の調節が可能です。
2 つのうち、どちらかのターンインジケーターを点けた後リセットボタン (12、図 14) で解除する事ができます。
手動リセットしなかった場合、500m(または 0.3 マイル) 走行後、インストルメントパネルはインジケーターを自動的に解除します。
自動解除の際、走行距離のカウントは 80 Km/h (50 mph) 以下で行なわれます。
走行距離カウントは自動解除が完了した後、80 km/h (50 mph) 以上で可能です。また、前述の速度を下回った場合、カウントは解除され、再開します。

パーキング機能

この機能はパーキング様式を設定します。
PARKING 機能で 車両停止の際、駐車が目立つように、前後部ライトを点灯することができます。
車両停止後 60 秒以内に、ボタン（2、図 16）"▼" を 3 秒間押すと設定が可能です。
設定が完了すると、円形ディスプレイ上に５秒間表示され、ライトは２時間点灯され、その後自動的に消灯します。

機能の中止するには、車両を起動及び停止（Key-On / Key-Off）する必要があります。

参考
機能作動中に突然バッテリーが無くなるなどの理由で電源が遮断された場合、電源をリセットするため、インストルメントパネルは機能を停止します。

警告
この機能を頻繁に使うことで、バッテリーの消耗が著しくなります。Ducati 社はこの機能を必要な時のみに利用することをお勧めします。

図 74

ステアリングロックがが可能なポジション表示

この機能はステアリングがロック可能なポジションであることを表示します。

車両のエンジンを切った後 60 秒以内に、ステアリングロックが可能なポジションであることをセンサーが察知し、インストルメントパネルはディスプレイ上に５秒間連続表示します。

ステアリングロック起動表示

この機能でステアリングロックの起動を確認できます。
車両のエンジンを切った後 60 秒以内に、下のほうにある RUN ボタンを押すと、ステアリングロック状態に入ります。
正常にステアリングロック状態に入れば、インストルメントパネルのディスプレイ上に５秒間表示されます。

参考

ステアリングロックは正しいステアリングポジションでのみ起動ができます。

WAITING
FOR
LOCK

図 75

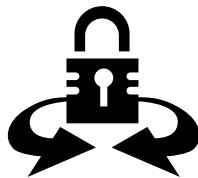



図 76

始動の赤いボタン上に " 不具合 " の疑いの表示

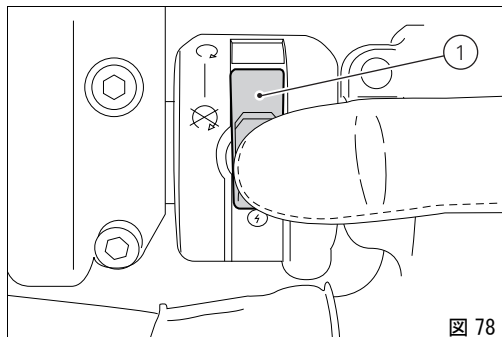
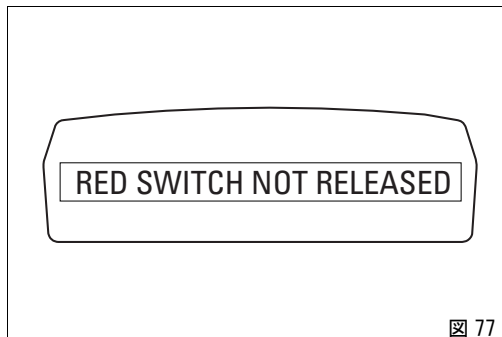
この機能は、システムの不具合吸収がないことを保証するため、キーを " 最高 " の位置に持ってくる必要があることを知らせます。

重要

短時間のうちに車体のバッテリーが切れる可能性があります。

不具合は、エンジン停止 (Key-Off) 後の 60 秒間表示されます。
停止 (Key-Off) するため、1 秒以上起動ボタン (1, 図 78) を押し続けると、システムは "RED SWITCH NOT RELEASED" を表示し、点滅します (図 77)。

図 77

図 78

キー (1, 図 79) を離した後も表示が続く場合は、ボタン (1, 図 80)″最高″の位置にする必要があります。
この場合、不具合をディーラー又は、Ducati に認可された整備工場に連絡してください。

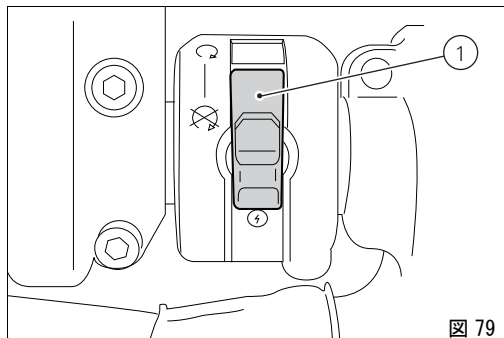



図 79

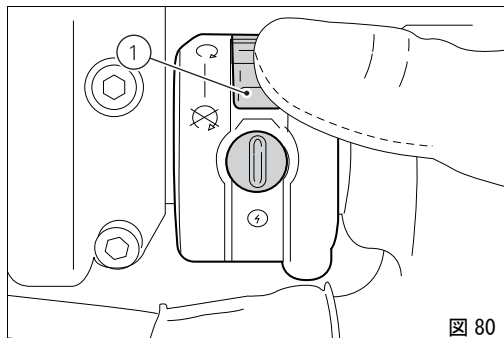



図 80

運転時に必要なコマンド

警告
この章では車両を運転する上で必要な全てのコマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマンドを使用する前によくお読み下さい。

コマンド類の配置 (図 81)

1) ハンドルバーのインストルメントパネル
2) Hands free システム
3) タンクのインストルメントパネル
4) 左側スイッチ
5) クラッチコントロールレバー
6) リアブレーキペダル
7) 右側スイッチ
8) スロットルグリップ
9) フロントブレーキレバー
10) ギアチェンジペダル

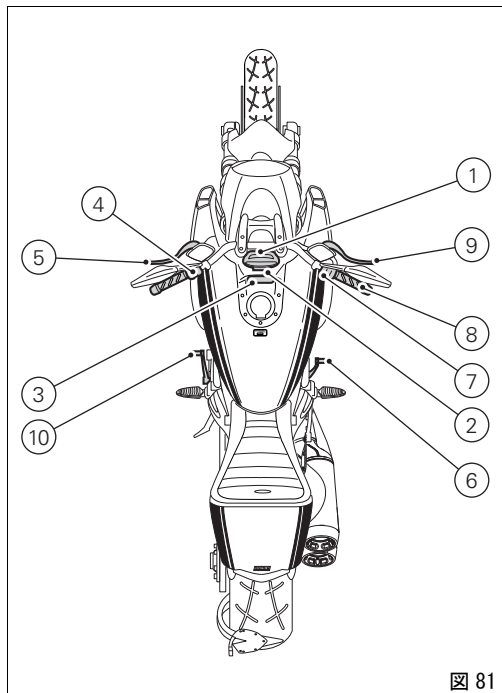



図 81

"Hands free" システム

Hands free システムは、以下から成り立っています。
1) "Hands Free" ブロック
2) アンテナ
3) アクティブキー
4) パッシブキー
5) エレクトリックキャップ（オプション）

"Hands free" ボタン（7、図 84）はタンクの前部にあります。

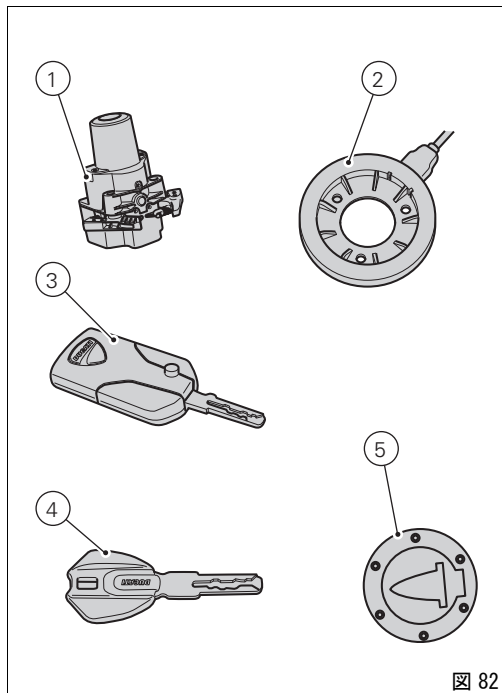



図 82

"Hands free" システムの起動 "key on" と解除 "key off"

Key on は Hands free と全てのエレクトリックデバイスの起動 / 開始に使われます。
Key off は Hands free と全てのエレクトリックデバイスの解除 / 停止とエンジン停止を確実にします。
Key on はハンドルの右スイッチボタン (6) 上か Hands free ブロック (1、図 82) 上の緊急ボタン (7) で行ないます。
key off はハンドルの右スイッチボタン (6) か Hands free ブロック (1、図 82) 上のボタン (7) で行ないます。

参考

(6) か (7) のボタンは ON/OFF どちらも同様に使用することができます。例えば、どちらかで ON にすると、もう片方で OFF にすることができ、その反対で使用することもできます。

Key on は (3、図 82) か (4、図 82) のどちらか一つのキーもしくは暗証番号で可能です。
Key off は (3、図 82) か (4、図 82) のキーがなくても可能です。
Key off にするは、停止状態でハンドルのボタン (6) か Hands free ボタン (7) を押します。停止状態でない場合は、Hands free ボタン (7) のみ押します。

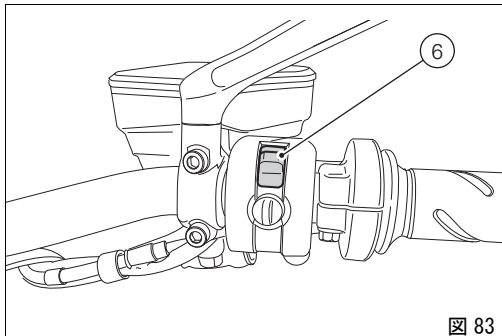



図 83

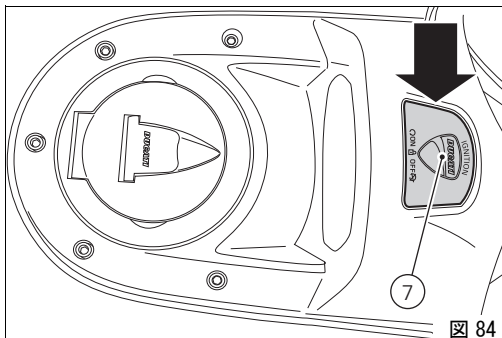



図 84

参考
アクティブキー (3、図 82) のバッテリーが切れると、パッシブキー同様の作動になります (4、図 82)。インストルメントパネルはバッテリーの消耗状態を表示します。

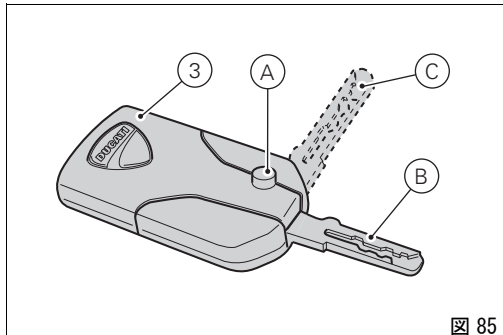
キー（3）の金属部分は、フィラープラグを開ける時とシートのロックに使います。
キー（3）の金属部分はキー内部に隠れています。ボタン（A、図 85）を押すと金属部分（B、図 85）が完全に開きます。ボタン（A、図 85）を押し続けると、中間部分にある金属部分（C、図 64）を移動させることができます。その位置を維持するにはボタンを離し、固定します。

参考
車両が key-on でエンジン off の時、アクティブキー (3、図 85) を抜いた 30 秒後、車両はユーザーが何もしなくても自動的に停止します。

図 85

アクティブキーでハンドルの赤いキーを使い Key-on/key-off

key-on にはハンドルにある Hands free 起動 / 停止の赤いキー (6) を使います。これにはアクティブキー (3、図 82) が必要です。

参考

アクティブキー (3、図 82) は、約 1.5 m 圏内で作動しますので、その圏内に置くようにしてください。

Key-off にはハンドルにある Hands free 起動 / 停止の赤いキー (6) を使います。キー (3、図 82) がなくとも、停止状態であれば key-off になります。

アクティブキーで Hands free ブロック上のキーを使い Key-on/key-off

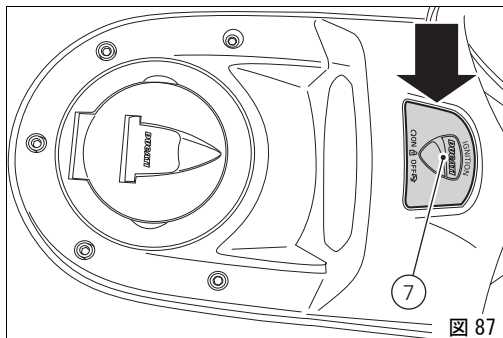
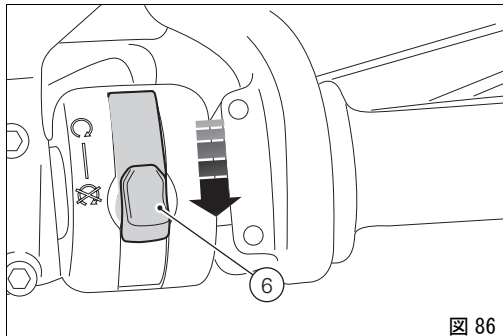
Key-on には Hands free ブロック (1、図 82) 上のボタン (7) を使います。これにはアクティブキー (3、図 82) が必要です。

参考

アクティブキー (3、図 82) は、約 1.5 m 圏内で作動しますので、その圏内に置くようにしてください。

Key-off には Hands free ブロック (1、図 82) 上のボタン (7) を使います。これはアクティブキー (3、図 82) がなくても可能です。

図 86

図 87

パッシブキーでハンドルの赤いキーを使い

Key-on/key-off

Key-on にはハンドルにある Hands free 起動 / 停止の赤いキー (6) を使います。これにはパッシブキー (4、図 82) が必要です。

参考
パッシブキー (4、図 82) は、数 cm 圏内で作動しますので、キー (4、図 82) はアンテナ (2) のそばに置くようにしてください。アンテナ (2) を操作するにはシートを取り外します (139 ページ " シートの取り外し " 参照)。

Key-off にはハンドルにある Hands free 起動 / 停止の赤いキー (6) を使います。キー (4、図 82) がなくとも、停止状態であれば key-off になります。

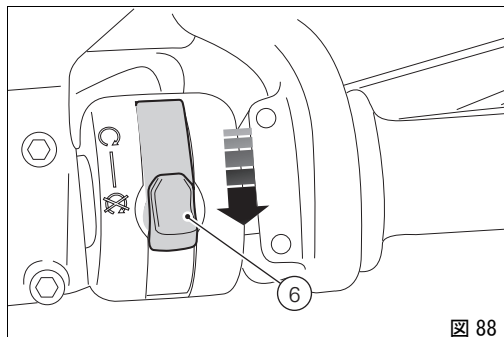



図 88

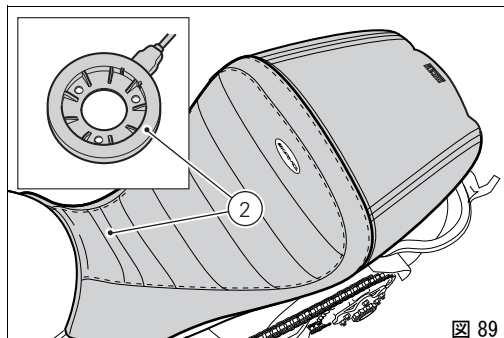



図 89

パッシブキーで Hands free ブロック上のキーを使い Key-on/key-off

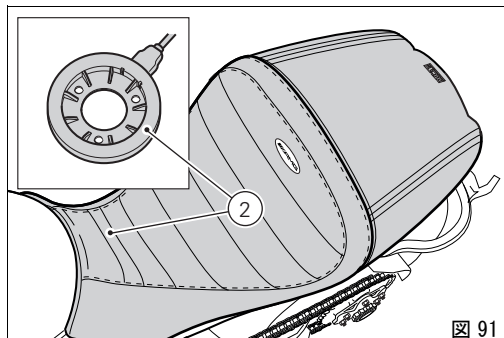
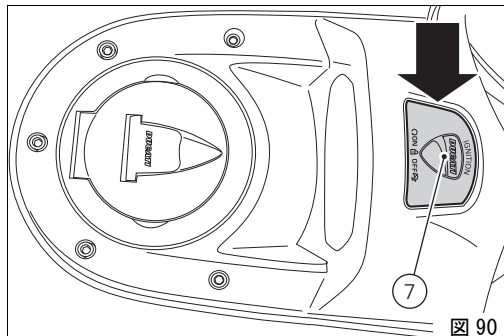
Key-on には Hands free ブロック上のボタン (7) を使います。これにはパッシブキー (4、図 82) が必要です。

参考

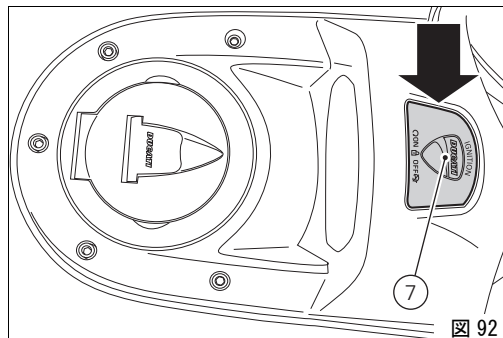
パッシブキー (4、図 82) は、数 cm 圏内で作動しますので、キー (4、図 82) はアンテナ (2) のそばに置くようにしてください。アンテナ (2) を操作するにはシートを取り外します (139 ページ " シートの取り外し " 参照)。

Key-off には Hands free ブロック (1、図 82) 上のボタン (7) を使います。これはパッシブキー (4、図 82) がなくても可能です。

図 90

図 91

暗証番号（イモビライザー解除）で Key-on/ key-off

Key-on には hands free ブロック (1、図 82) 上のボタン (7) を使います。これにはキー (3、図 82) と (4、図 82) は必要なく、ダッシュボードで暗証番号を入力します。
Key-off にはハンドルにあるボタン (6) を押し / Hands Free ボタン (7) / エンジン off キー無し。
以降 key-on 後、key-off ごとにキーは使わずに暗証番号を入力します。
暗証番号は車両入手時にユーザーが入力します。
暗証番号を入力しないとこの機能は作動しません。
Hands Free ボタン (7) を押すと、インストルメントパネルにバックライトが点灯し、円形ディスプレイに４桁の暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を正しく入力すると、インストルメントパネルが点灯し、エンジンが起動します。
暗証番号は 120 秒以内に入力を終了してください。それを過ぎると自動的 Key-off となります。

図 92

車両解除のための暗証番号入力機能

この機能で HF (Hands Free) システムに不具合が生じた場合、車両の一時起動をします。
通常ボタンで車両の起動ができないときは、緊急 Hands Free ボタン（7、図 92）ボタンを押します。

ボタンを押した後、インストルメントパネルのディスプレイ上に "INSERT PIN CODE" と表示され、その下に緑色の点線 "- - - -" が表れるので、4 桁の PIN コードを入力します。

コードの入力：
リセットボタン（12、図 14）を押します。
ボタン (2、図 16) "▼" を押すごとに、表示数値は 0から9まで移動し、また0に戻ります。
reset ボタン（12、図 14) を押し、数値が設定されます。
同じ方法で4桁すべてを入力します。
新たに reset ボタン（12、図 14) を押し、決定します。
暗証番号が正しくない場合、インストルメントパネルに点線 "- - - - " が再度表示され、暗証番号の再入力をしなければなりません。

参考

暗証番号の再入力は何度でも可能です。しかし、インストルメントパネルは入力開始 120 秒後に自動的に消灯します。

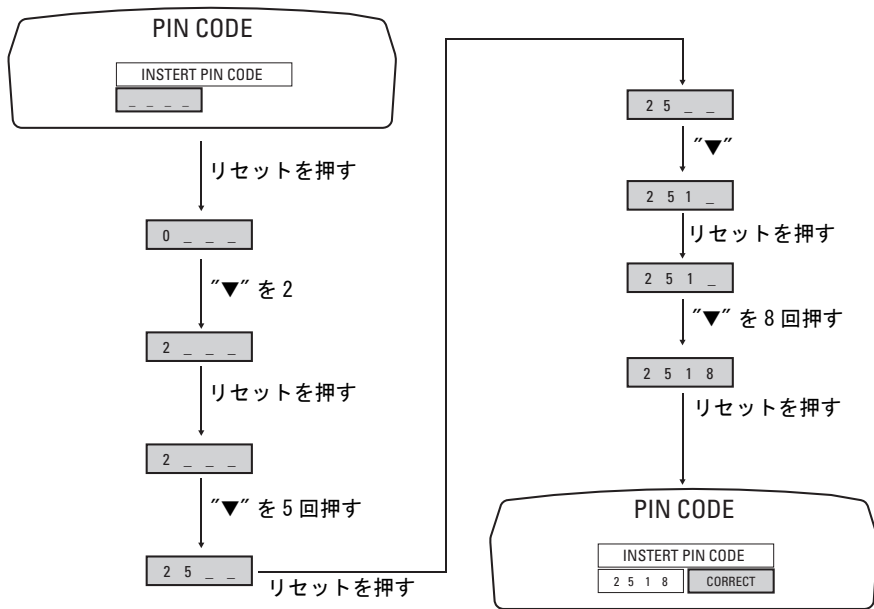
暗証番号が正しければ、ディスプレイ上に 3 秒間、暗証番号が点滅表示され、"CORRECT" の文字が表れます。3 秒後、ディスプレイ全体が通常表示にもどります。
以降、車両の起動は Start ボタン (key-on) で可能になります。

参考

車両停止 (key-off) にしない限り、車両起動が可能です。次の起動の際、もし問題が解決しない場合、車両の " 一時 " 起動のため、もう一度最初から繰り返してください。

重要

起動のため、上記のプロセスをふまなければならないときは、早めに Ducati サービスセンターまでお問い合わせ下さい。

PIN CODE
INSTERT PIN CODE
_ _ _ _
リセットを押す
0 _ _ _
"▼" を 2
2 _ _ _
リセットを押す
2 _ _ _
"▼" を 5 回押す
2 5 _ _
リセットを押す
2 5 _ _
"▼"
2 5 1 _
リセットを押す
2 5 1 _
"▼" を 8 回押す
2 5 1 8
リセットを押す
PIN CODE
INSTERT PIN CODE
2 5 1 8
CORRECT
図 93

左側スイッチ（図 94)

1) ディマースイッチ、ビームの選択、2 ポジション（図 94）:
(A) 下方向に押すたびにロービームライト点灯 ≣D からロービームライト及びハイビームライト点灯 ≣D への信号が伝わります。
(B) 水平に押した場合 ≣D = ハイビーム点滅 (FLASH)、“Start-Stop lap”表示。

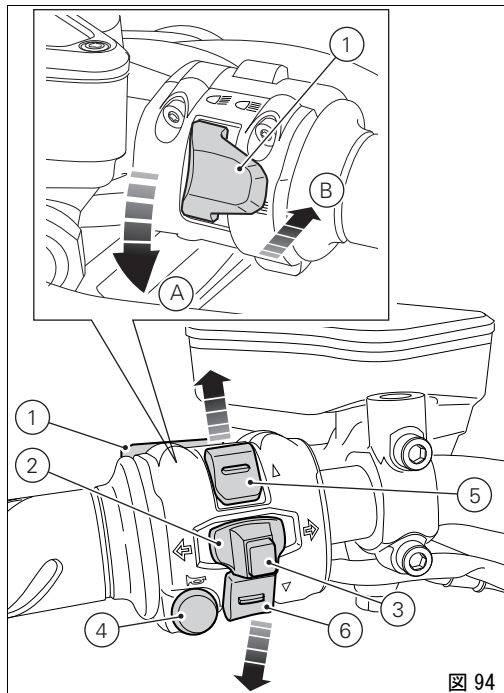
2) ボタン ⇦⇨ = ターンインジケーター、3 ポジション（図 94）:
中央位置＝ OFF
⇦ ＝ 左折
⇨ ＝ 右折

3) ターンインジケーター停止ボタン、Riding mode 起動とメニュー操作

4) ボタン＝ 警告ホーン

5) メニュー操作ボタン、ディスプレイスクロールと TRIP1 と TRIP2 機能のリセット。

6) メニュー操作ボタン、ディスプレイスクロール。

図 94

クラッチレバー (図 95)

レバー (1) でクラッチの接続を操作します。
この機種にはアジャスター (2) がついており、レバーとハンドルバー上のハンドル間の調整が可能です。
レバーの間隔はアジャスター (2) の 10 クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。
レバー (1) を操作すると、エンジンの回転がトランスミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、特に発進時に重要です。

警告

クラッチ及びブレーキレバーの調整は、停車時に行います。

重要

クラッチレバーを正しく操作することで、トランスミッションの損傷を避け、車両の寿命を延ばすことができます。

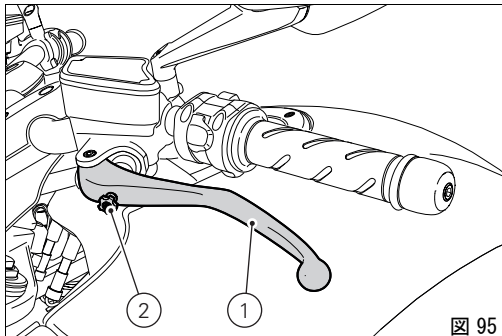



図 95

参考

サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。また、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いて下さい (この場合サイドスタンドは下ろしません)。

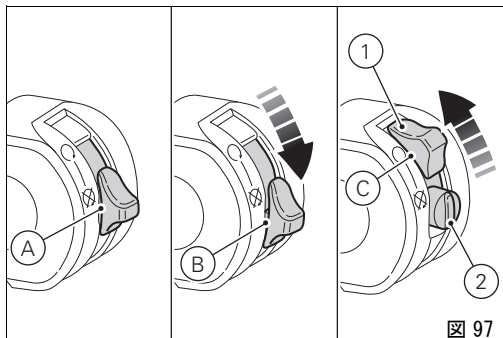
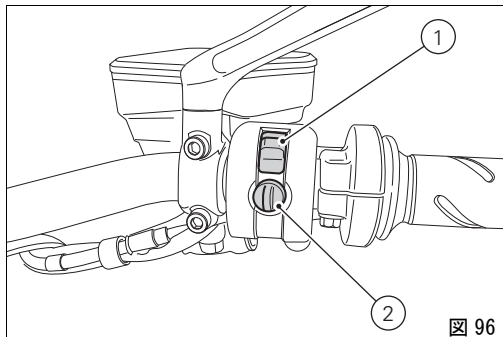
右側スイッチ（図 96）

1) 赤スイッチ　ON/OFF
2) 黒ボタン　エンジン始動

スイッチ（1）は 3 ポジションあります。

A) 中央：RUN OFF このポジションではエンジンの起動は不可、全てのエレクトリックデバイスは停止します。
B) 下部に押した場合　：起動 / 停止 このポジションでシステムの起動 (key-on) と停止 (key-off) が可能です。
C) 上部に押した場合：RUN ON このポジションのみで、黒ボタン (2) を押しながら、エンジンの起動が可能です。

図 96

図 97

スロットルグリップ（図 98)

ハンドルバー右側のスロットルグリップ（1、図 98）は、スロットルボディの開閉を操作します。グリップを緩めると、自動的に元の位置（アイドリング状態）に戻ります。

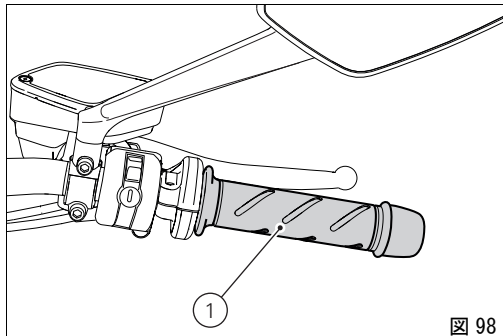



図 98

フロントブレーキレバー（図 99)

レバー（1、図 99）をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。
コントロールレバー（1、図 99）にはつまみ（2、図 99）がついており、レバーとグリップとの間隔が調整できるようになっています。
レバーの間隔はアジャスター（2、図 99）の 10 クリックで調整できます。時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。

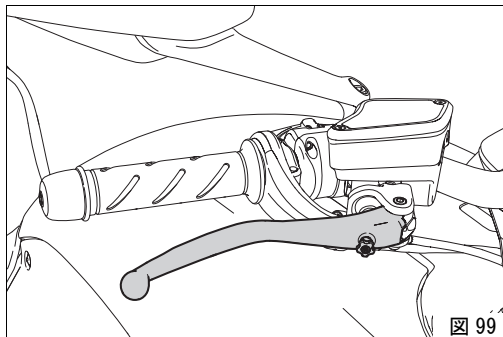



図 99

リアブレーキコントロールペダル（図 100）

ペダル（1、図 100）を下に踏むことで、リアブレーキが機能します。
システムは油圧式で作動します。

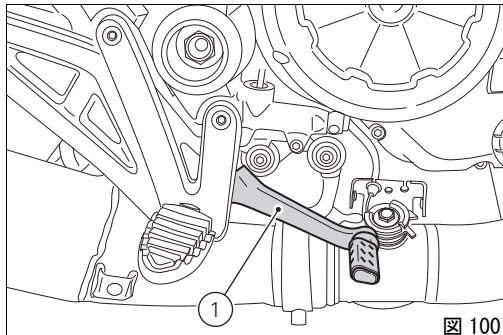



図 100

ギアチェンジペダル（図 101）

ギアチェンジペダル（1、図 101）は中央のニュートラルのポジションNに自動的に戻ります。ニュートラルポジションであることはインストルメントパネル上のNランプ(2、図 6)で表示されます。
ペダルは以下のように動かせます：
下へ＝シフトダウンおよび1速へのチェンジは、ペダルを下に押します。この時、インストルメントパネルのNランプが消えます。
上へ＝ペダルを上へ上げることで、2速から順次3、4、5、6速へとチェンジします。
一回の操作が一速分のチェンジに相当します。

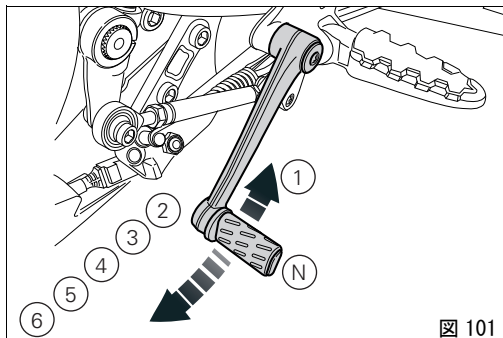



図 101

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの配置調整

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルのポジションは、ライダーのライディングスタイルとフットペグの位置に合わせて調整することができます。これらの調整は以下の手順で行ってください：

ギアチェンジペダル（図 102)

ロッド (1) を固定しながら、ナット (2) と (3) を緩めます。

参考
ナット (2) は、逆ネジになっています。

ギアチェンジペダルを好みの位置に定めながら、レンチでロッド (1) の六角部分を回します。
ロッドに対して両ロックナットを締め付けます。

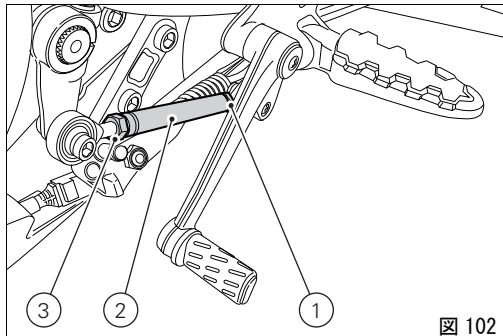



図 102

リアブレーキコントロールペダル (図 103)

ナット (7) を緩めます。

ペダルが好みの位置になるまで、調整スクリュー (6) を回します。

ロックナット (7) を締め付けます。

ペダルを手で押しながら、ブレーキがかかり始める前に約 3 ～ 6 mm の遊びがあるかを確認します。

もし上記のような遊びが確認できない場合、マスターシリンダーのロッドの長さを次の手順で調整します :

シリンダーのロッド上にあるロックナット (10) を緩めます。

フォーク (9) のロッド (8) の遊びを増やしたい場合は締め、逆に減らしたい場合は緩めます。

ロックナット (10) を締め付け、ペダルの遊びを点検します。

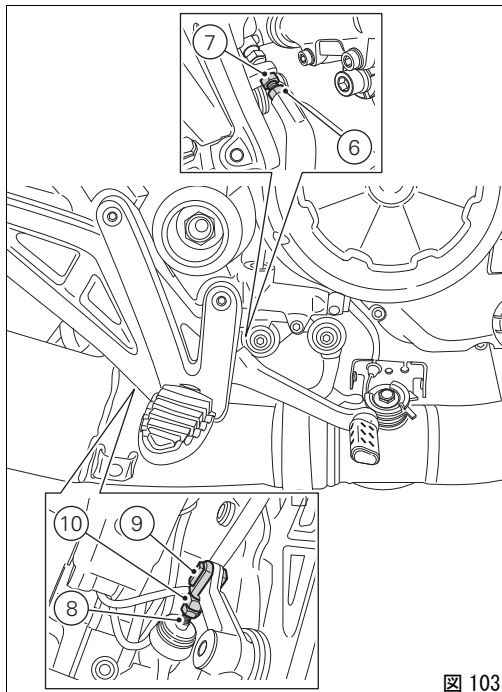



図 103

主要構成部品 / 装備

車両上の配置 (図 104)

1) フィラープラグ。
2) シートロック。
3) サイドスタンド。
4) リアビューミラー。
5) フロントフォークアジャスター。
6) リアショックアブソーバーアジャスター。
7) 触媒システム。
8) エキゾーストサイレンサー (161 ページ、" 注意事項 " 参照) 。

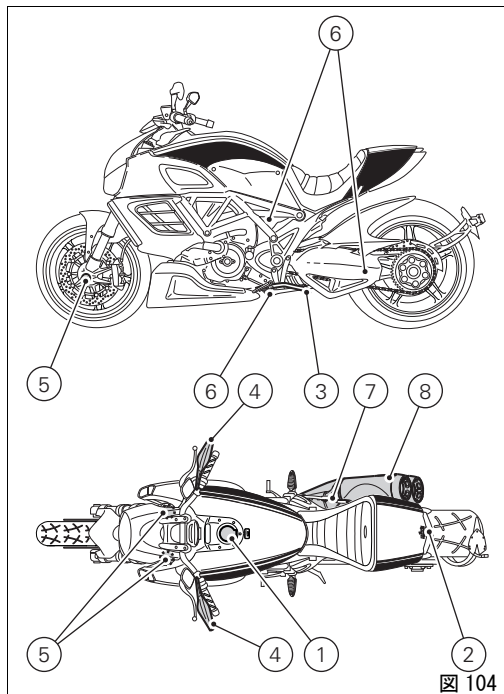



図 104

燃料フィラープラグ

参考
タンクキャップを開閉するには、アクティブキーを使用し、中間位置の金属部分を 104 ページに示した位置にします。

開け方
プラグの保護カバー (1、図 105) を起こし、アクティブキーもしくはパッシブキーを挿入します。
キーを時計回りに 1/4 回転してロックを解除します。
プラグ (2、図 106) を起こします。

閉じ方
キーの差し込まれたプラグ（2、図 106）で押しながら閉じてください。キーを抜き取り、プラグの保護カバー（1、図 105）を閉じます。

参考
プラグはキーが差し込まれていないと閉まりません。

警告
燃料補給（ 165 ページ参照 ）後は毎回、プラグが正しい位置で確実に閉まっていることを確かめて下さい。

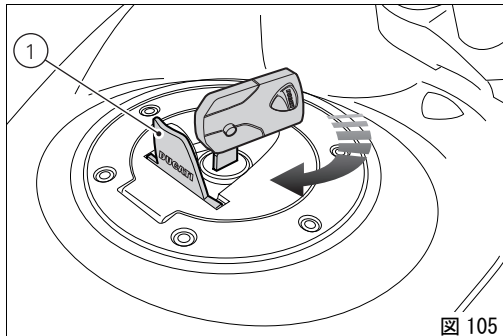



図 105

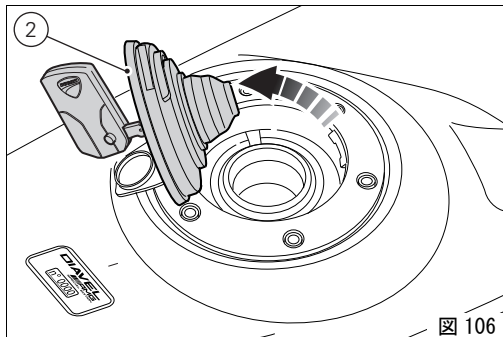



図 106

シートロック

ロック（1、図 107）を操作することで、シートを取り外し、シート下のスペース及び装置の作業をすることができます。

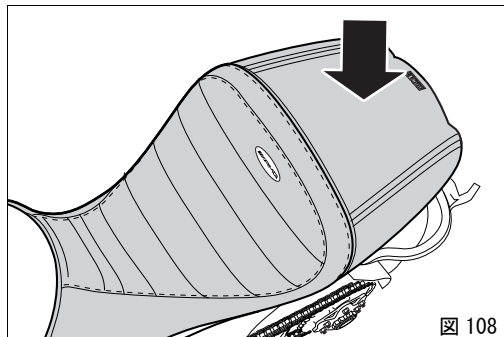
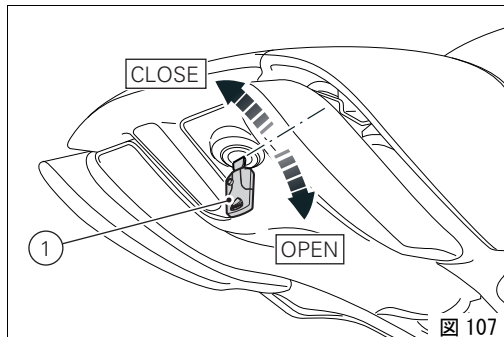
シートの取り外し

ロック（1、図 107）にアクティブ又はパッシブキーを差し込み、時計方向に回しながら同時にラッチの近くを下方に押し下げてピンを外します。フロントストッパーからシートを後ろ側へ引き出します。

シートのメンテナンス

このモデルには Alcantara®（Alcantara S.p.A. 社が独占的に製造する新世代素材の登録商標）製のシートが装備されており、次のようにお手入れを行います。
日常のお手入れ：Alcantara® の美しさを長期間保つため、定期的にお手入れすることをお勧めします。その際は、あまり力を入れて擦りすぎないようにしてください。また、スチームを使用しないでください。
毎日のお手入れ：柔らかいブラシまたは乾いた布で Alcantara® の埃を取るか、あるいは掃除機をご使用ください。
毎週のお手入れ：Alcantara® の埃を落とした後、軽く湿らせたコットン布で拭きます。プリント柄のある布 / 吸収性のあるペーパーの使用は避けてくださ

図 107

図 108

い。素材にプリントのインクが付着することがあります。

毎年のお手入れ：シートのライニングは取り外しができません。www.alcantara.com に掲載されているAlcantara® クリーニング専用製品を使用することができますが、それらの製品がお手元にない場合は、次の手順に従ってください。丁寧にほこりを落とします。柔らかい布またはスポンジをきれいな水で湿らせます。水分をよく絞り、内部まで濡らさないように注意しながら Alcantara® の全面を拭きます。きれいな水で湿らせた布でもう一度拭き、良く乾かします（一晩かけて）。乾いた後、柔らかい刷毛のブラシで優しくブラッシングすることでこの素材は美しく蘇ります。

一般的なシミ抜き方法

局部的なシミで、www.alcantara.com に掲載されている Alcantara® クリーニング専用の洗剤がお手元にない場合は、次の手順に従ってください。
- シミがついたら 30 分以内に汚れが広がらないよう縁から中心に向けてシミを落とします。
- Alcantara® には直接洗剤を使用しないでください。
- 密度の濃いもの（ヨーグルト、ジャムなど）の場合はスプーンやプラスチックのへらなどでまず取り除き、液体の場合はプリント柄のない吸収ペーパーやスポンジで
- 吸い取ります。
- シミが広がったり内部にしみ込まないよう擦らないようにします。
- 白い布か良く絞ったスポンジでシミを落とします。
- スポンジを使用する場合は、拭う度にきれいな水で濯ぎ、良く絞ります。

シミに種類によって使用するものが異なりますので、次の取扱事項をお読みください。

水溶性のシミ

www.alcantara.com に掲載されている Alcantara® クリーニング専用製品を使用することをお勧めしますが、それらの製品がお手元にない場合は、シミに種類によっては水、レモン汁、純粋なエチルアルコール（果実酒用）を使用することができます。以下の手順に従ってください。
- 果汁、ジャム、ゼリー、シロップ、ケチャップ：ぬるま湯を使用。きれいな水でたたきながらすすいでください。
- 血液、卵、糞、尿：冷たい水を使用。これらの成分は凝固するので温水は避けてください。きれいな水でたたきながらすすいでください。
- リキュール、ワイン、ビール、コーラ、茶：ぬるま湯を使用。色染みが残る場合は、レモン汁を使用し、その後よくすすぎます。
- 鉛筆、ココア、チョコレート、クリームやチョコレートのお菓子、アイスクリーム、マスタード：

ぬるま湯を使用。きれいな水でたたきながらすすいでください。
- 酢、頭髪用ジェル、トマトソース、砂糖入りコーヒー：レモン汁を使用。その後、ぬるま湯で拭います。きれいな水でたたきながらすすいでください。

非水溶性のシミ

www.alcantara.com に掲載されている Alcantara® クリーニング専用製品を使用することをお勧めしますが、それらの製品がお手元にない場合は、シミに種類によっては水、レモン汁、純粋なエチルアルコール（果実酒用）を使用することができます。以下の手順に従ってください。
- 口紅、ファンデーション、マスカラ、アイシャドー、香水、靴墨、一般油脂、草のシミ、水彩ペン（消せないタイプのものも含む）：エチルアルコールでたたき、水でたたいた後、すすぎます。
- とりわけ淡い色についてしまった草や水彩ペンのシミは取るのが難しいので、乾燥しないうちにすぐに取り除くことが重要です。
- チューイングガムや蝋：シミの上にビニール袋に入れた氷を置きます。成分が固まったら取り除き、エチルアルコールで拭います。

頑固なシミ

上記の方法を繰り返し行います。
非水溶性シミでも、その後水で拭う場合が多々あります。

原因不明の古いシミ

まずぬるま湯を使用し、その後きれいな水でたたきながらすすぎます。シミが水に溶けるようであれば、何度も繰り返します。乾燥させた後、必要に応じてエチルアルコールを使用します。

ヘルメットキャリーケーブル

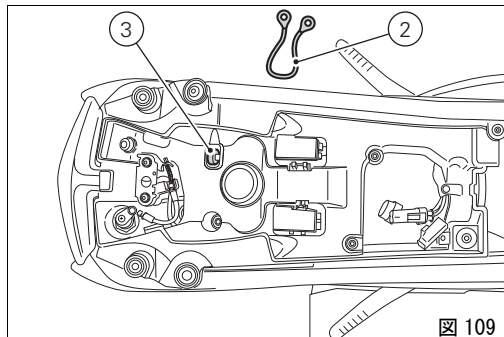
参考

ヘルメットキャリーケーブル（2、図 109）はツールキット内にあります。166 ページの〝付属アクセサリー〟を参照してください。

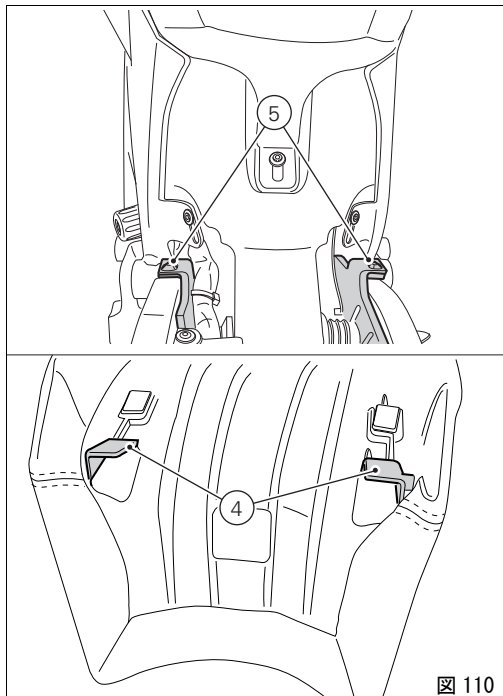
ケーブルをヘルメットに通し、ケーブルの先端をピン（3、図 109）に通します。ヘルメットをぶら下げた状態でシートを元に戻し、固定します。

警告

ヘルメットロックケーブルは、車両の駐車中にヘルメットの盗難を防止するためのものです。ヘルメットをぶら下げた状態で走行してはいけません。運転の邪魔になり、バランスを失う可能性があります。

図 109

シートの取り付け

すべてのエレメントが正しい位置にあり、シート下に固定されていることを確認します。シート底部のブラケット（4）をフレームの突出部（5）に差し込み、シートの後端部を押し、カチッと音がしてロックがかかったことを確かめます。シートがフレームにしっかりと固定されたことを確認し、ロックからキーを抜きます。

図 110

サイドスタンド（図 111）

重要
サイドスタンドを使用する前に、地面が適しているか、平らであるかを確かめて下さい。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等にパーキングすると、車両転倒の原因となります。
傾斜面に停車する場合は、常にリアホイールが斜面の低い側になるようにして下さい。
サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック (1) を足でいっぱいに押します。次に、スタンドがしっかりと路面に着くまで、車体を徐々に傾けていきます。

警告
サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないで下さい。

サイドスタンドを元の位置（水平位置）に戻すには、車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。

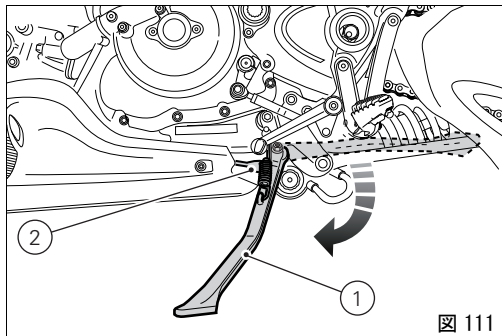



図 111

参考
定期的にスタンド（内側と外側 2 つのスプリングの状態）と安全センサー (2) の作動を点検することをお勧めします。

参考
スタンドが開き、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いて下さい（この際サイドスタンドは閉じていなければなりません）。

パッセンジャーハンドル

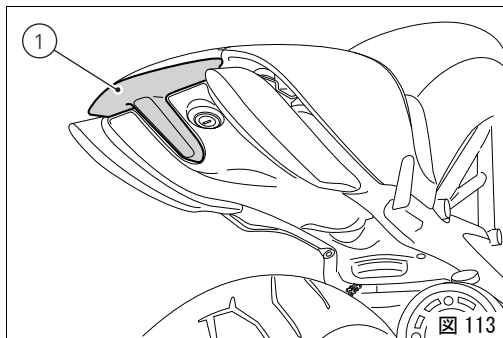
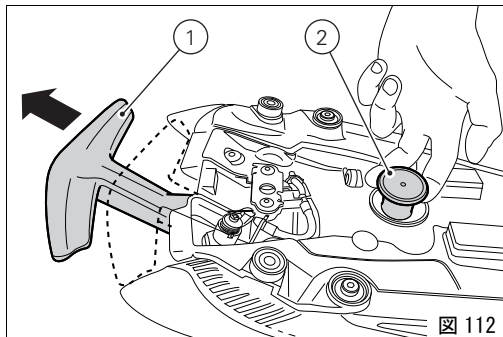
パッセンジャーハンドル（1、図 112）はバックテール内に設置されており、取り出すにはシートを取り外し（139 ページ、″シートの取り外し″参照）、つまみ（2、図 112）を持ち上げ、同時に所定の位置から一番高い位置までハンドル（1、図 112）を取り出します。

警告

使用する前に、前後に引っ張ってパッセンジャーハンドルが正常の位置に固定されていることを確認してください。

元に戻すには、つまみ（2、図 112）を持ち上げ、パッセンジャーハンドル（1、図 112）を所定の位置のバックテール（図 113）に完全に入るまで押し、シートを再度取り付けます（143 ページ″シートの取り付け″参照）。

図 112

図 113

フロントフォーク調整

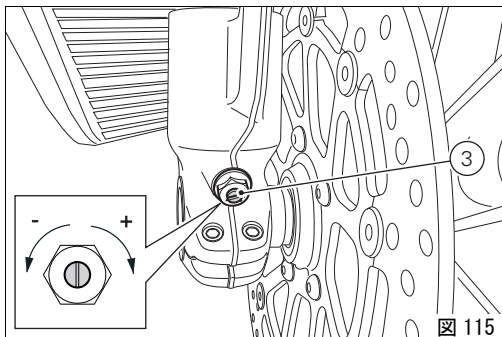
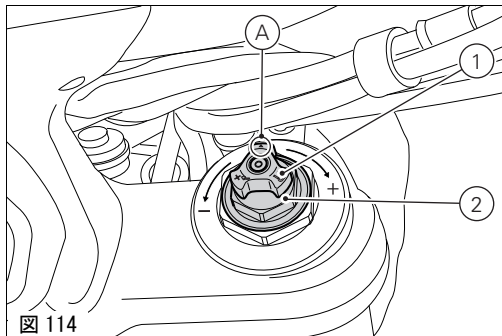
車両のフォークは、リバウンド / コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。
調整はアジャスターを使用して行います。

1) 油圧ブレーキのリバウンドダンピングの変更 (図 114)
2) 内部スプリングプリロードの変更 (図 114)
3) 油圧ブレーキのコンプレッションダンピングの変更 (図 115)。

車両をサイドスタンドに安定した状態で停車させます。

リバウンドダンピングを調整する際は、各フォークレッグ端部にあるアジャスター (1) を回します。
コンプレッション油圧ブレーキを調節するには、ドライバー (−) で、各フォークの上部に配置されているアジャスター (3) を回します。アジャスター (1) 及びアジャスター (3) のスクリューを回すごとに、ダンピングは緩みます。アジャスターをいっぱいに締め込むと “0” 位置になり、ダンピングが最強にセットされます。この位置から反時計周りに回し回転数を数えることができます。
それぞれのレッグの内部スプリングプリロードを変更調整するには、すべて開いた位置から六角形のアジャスター (2、図 114) を 22mm の六角レンチで回転させます (時計回り)。基準の位置 (A、図 114) から時計回りに一回転すると、スプリングプレロー

図 114

図 115

ド 1mm に相当し、最大値は 15mm で 15 回転に相当します。

すべて閉じた状態からの通常の調整は以下のように行います。
コンプレッションダンピング：
1.5 回転
リバウンドダンピング：
1.5 回転
スプリングプリロード：すべて開く（反時計回り）

重要
同じポジションの両方のレッグのアジャスターを調整します。

リアショックアブソーバー調節

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランスを調整できるよう外部アジャスターを装備しています。
アジャスター (1 図 116) は、ショックアブソーバーのスイングアームへの固定位置下部にあり、リバウンド（リターン）の時点で油圧ブレーキを調整します。
車両の左側にあるつまみ (2、図 117) で、アブソーバーのアウタースプリングプリロードを調整します。

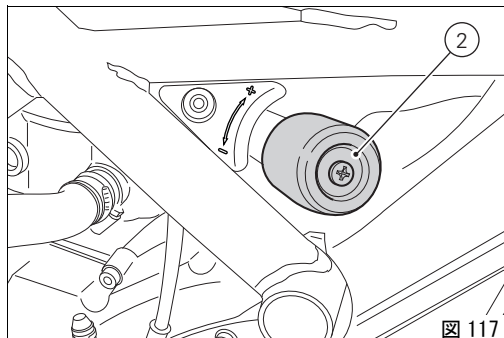
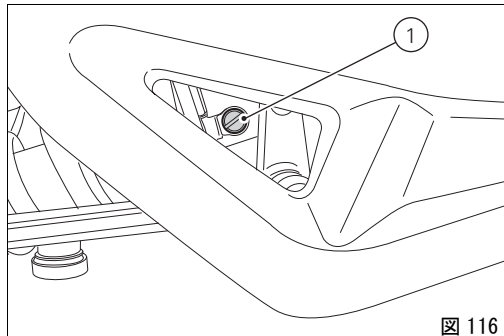



図 116

図 117

ショックアブソーバーの拡張タンク上にあるつまみ（3、図 118）は油圧ブレーキのコンプレッションダンピングの調整をします。
アジャスター（1）またはつまみ（2）及び（3）を時計回りに回すと、ブレーキもしくはプリロードがアップします。その逆はダウンします。
STANDARD 調整 アジャスターが完全に閉じた状態から時計回りに：
アジャスター（1、図 116）を 12 クリック
つまみ（2、図 117）すべてオープン（反時計回り）
アジャスター（3、図 118）を 25 クリック。

警告
ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となります。

パッセンジャーと荷物を載せる場合、りショックアブソーバーのスプリングを最大にプリロードし、車両の動的挙動を改善させ、地面の干渉を避けます。この場合には、リバウンドダンピングの再調整が必要になることがあります。

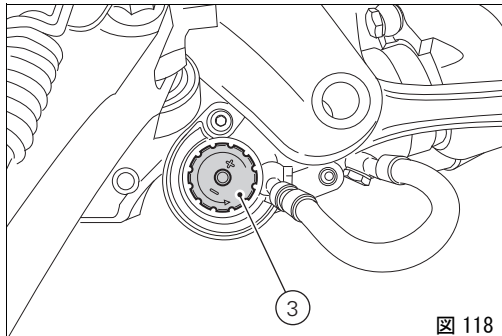



図 118

表に示した値は参考値で、ライダーの洋服を含めた体重が 80-90kg、パッセンジャーの洋服を含めた体重が 70-80kg と想定しています。

フロントフォーク						
		幅	デフォルト	Sport	Touring	Urban
ライダーのみ	コンプレッション	0~3	1.5	0.5	1	1.5
	リバウンド	0~3	1.5	1	1.5	1.5
	プレロード	0~15	0	4	1	0
ライダー及びパッセンジャー	コンプレッション	0~3	1.5	0	0.5	1
	リバウンド	0~3	1.5	1.5	1.5	2.5
	プレロード	0~15	0	7	4	2
リアショックアブソーバー						
ライダーのみ	コンプレッション	0~40	25	6	15	25
	リバウンド	0~24	12	4	9	12
	プレロード	0~28	0	20	10	0
ライダー及びパッセンジャー	コンプレッション	0~40	25	4	6	15
	リバウンド	0~24	12	6	8	10
	プレロード	0~28	0	28	20	15

パーソナライズ調整用スプリング

参考

リアショックアブソーバーのスプリングをユーザー仕様にする場合、2 種類のスプリングをスペアパーツに注文することができます。

- 約 120kg の重量には、部品番号 36640321A のスプリングの使用を推奨します。
- 約 150kg の重量には、部品番号 36640331A のスプリングの使用を推奨します。

上記の重量に推奨されたスプリングの取り付けは常にゼロに調整された位置のプリロードのグリップ / プレスで行います。したがって、必要な場合、さらに 10mm のプリロードの余裕があります。

警告

スプリングの注文と取り付けについては Ducati オフィシャルディーラーにお問い合わせください。

運転のしかた

慣らし運転の方法

慣らし運転時の最高速度 (図 119)

慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン最大許容回転数：
1) 1,000 km まで
2) 1,000 ~ 2,500 km まで

1,000 km まで

最初の 1,000 km まではタコメーターに注意し、5,500 ~ 6,000 回転 (rpm) を超えてはいけません。
最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジンの負荷と回転数を色々変えることをお勧めします。
エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行することが理想的です。
最初の 100 km は、ブレーキディスクに対してパッドの摩擦材を適切に慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキや長い間ブレーキをかけることは避けて下さい。全ての機械部分を互いに馴染ませるため、また、エンジンの主要部分の寿命に悪影響が出ないよう、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたる高速回転は避けて下さい。
定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑し、調整して下さい。

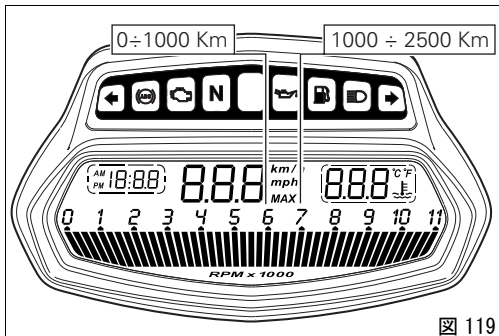



図 119

1000 ～ 2500 km まで
この間、エンジンからよりパワーを引き出す事は可能ですが、下記の回転数を決して超えないようにして下さい：
7,000 rpm

重要
慣らし運転期間は、当マニュアルで指定された点検、整備を必ず受けて下さい。順守されなかった結果、エンジンの損傷、および寿命の短縮などについて、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任も負いません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ばし、調整、オーバーホールの回数を抑えることができます。

走行前の点検事項

警告
走行前にこれらの点検を怠った場合、車両に損傷を与え、ライダー、及びパッセンジャーを危険に晒す恐れがあります。

走行前に以下の点検を実施してください：
タンク内の燃料量
タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油して下さい（ 165 ページ）。
エンジン内のオイルレベル
クランクケースの点検窓でオイルのレベルを確認して下さい。必要であれば補充して下さい（191 ページ参照）。
ブレーキおよびクラッチフルード
各リザーバー内のフルードレベルを確認して下さい（168 ページ）。
クーラント量
クーラントタンクの液量を確認します。必要であれば補充して下さい（167 ページ参照）。
タイヤコンディション
空気圧と摩耗度を点検します（189 ページ）。
コマンド機能
ブレーキ、クラッチ、アクセル、トランスミッション等の作動レバーまたはペダルを作動させて機能を確認します。
ランプ類、インジケーター
ランプ、インジケーター、ホーンが適切に機能するかを確認します。電球が切れている場合には交換して下さい（185 ページ）。

ロック類
フィラープラグ（138 ページ）およびシート（139 ページ）。
スタンド
サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置にあるかをチェックします（144 ページ）。

ABS ランプ

key-on 後、ABS ランプ（9、図 6）は点灯し続けます。時速 5 km/h を超えると、ランプが消えると、ABS システムが正常に機能していることを示します。

警告
不良な点がある場合には、車両の使用を中止し、Ducati オフィシャルディーラーにご連絡下さい。

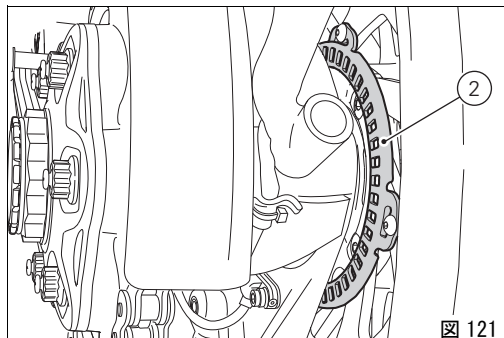
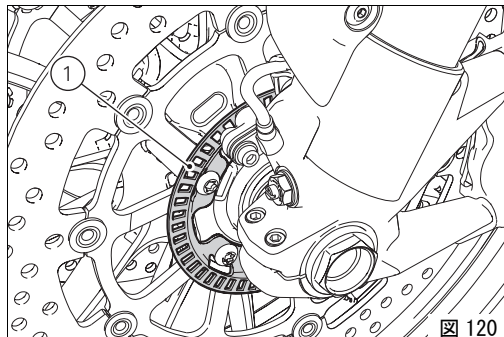
ABS 装置

フロントフォニックホイール (1、図 120) とリアフォニックホイール (2、図 121) をよく清掃してください。

警告
汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しない恐れがあります。泥の多い路面を走行する時には ABS システムがうまく機能しない場合がありますのでシステムを OFF にしておくことをおすすめします。

警告
長い後輪立ち走行を行うと、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

図 120

図 121

ON/OFF

警告
エンジンを始動する前に、運転に必要な操作系の取り扱いに慣れておいて下さい（120 ページ）。

警告
屋内では絶対にエンジンを始動したり、作動させたりしないで下さい。排気ガスは有毒ですので、短時間で意識を失ったり、さらには死に至る危険性があります。

右ハンドルの赤いスイッチ（1、図 122）を下にずらしながら、アクティブキーまたはパッシブキーで"key-on"（Hands free システムと全てのエレクトリックデバイスの起動）状態にして下さい。
ハンドルバーのインストルメントパネルは初期設定と車両システムコントロールを開始し、外側から内側に連続で全てのランプを数秒点灯します。
このコントロールの後は、グリーンのランプ N（2、図 123）と赤いランプ （3）のみが点灯します。

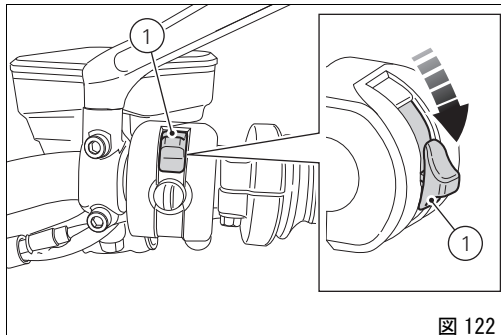



図 122

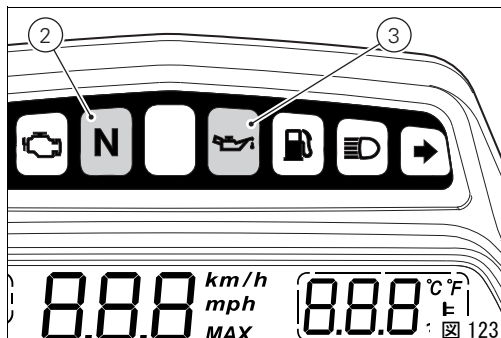



図 123

警告
サイドスタンドが完全に上がって（水平）いない場合、安全センサーが作動して始動できません。

Key-on 後で、まだエンジンが始動していない状態の時、アクティブキーが感知されない場合、その 10 秒後に、このシステムは自動的に key-off になります。

参考
サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください（この時サイドスタンドは上がっていなければなりません）。

黒いボタン (4、図 124) が見えるように、赤いスイッチ (1) を上にずらして下さい。
エンジン起動のため、ボタン (4) を押して下さい。

重要
エンジン冷間時は回転数を上げ過ぎないで下さい。潤滑が必要な全ての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるのを待ってください。

オイル圧の赤いランプは、エンジン起動後数秒で消えます。

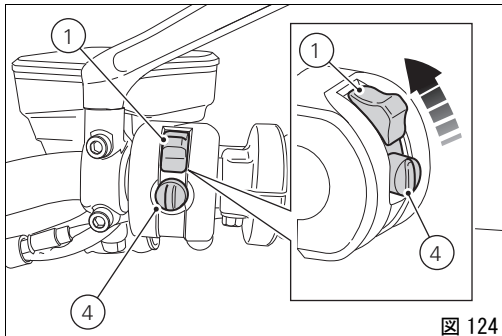



図 124

ハンドルの赤いスイッチ (1、図 124) を RUN OFF にいれ、エンジンを停止します。

参考
Hands free システムと全てのエレクトリックデバイスの起動に関しては、121 ページ "Hands Free システム" も参照してください。

車両の発進

1) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
2) 1速に変速するためにギアチェンジペダルをつま先でしっかり押し下げます。
3) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと、車両は発進し始めます。
4) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数を上げます。
5) シフトアップするには、エンジン回転数を落とすためにスロットルを戻し、クラッチを切り、ギアチェンジレバーをもち上げ、クラッチレバーを放します。

シフトダウンは以下のように行います。スロットルグリップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギアを同調させやすくするためにエンジンを軽くふかしてシフトダウンし、クラッチを放します。
これらの作業は適切に素早く操作しなければなりません。上り坂を走行する際には、車速が落ちてきたらすぐにシフトダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッキングを避けて下さい。

重要
急な加速操作は、オーバーフローやトランスミッションのスナッチを招きますので避けて下さい。ギアを変速した後もクラッチレバーを引いたままでいると、機械部分の過熱や摩擦部分の異常な摩耗を引き起こします。

警告
長い後輪立ち走行を行うと、ABS システムが停止してしまうおそれがあります。

ブレーキ操作

減速するには、最初にスロットルグリップを戻してエンジンブレーキをかけ、それからブレーキングします。エンジンが急に止まるのを防ぐため、車両が停止する前に、クラッチを切ります。

ABS システム

困難な条件下のブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、牽引力、安定性が減り、車両のコントロールを失います。アンチブロックブレーキシステム (ABS) は、緊急のブレーキ時、悪道路、悪天候の下でブレーキの性能を最も効率的に使えるように開発されたものです。ABS は油圧電子システムです。ホイールがロックされそうになると、ホイールにあるセンサーからコントロールユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内のプレッシャーが制御されます。一時的にプレッシャーが下がることで、タイヤが理想的な接地状態を維持したまま、ホイールは回転を続けます。ブレーキ回路内のプレッシャーはすぐにまた上がり始め、ブレーキが作動するようになります。ロックアップのリスクが完全になくなるまでこのサイクルが繰り返されます。
ブレーキが作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダル上に軽い断続的抵抗が感知されます。
フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABS もフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。
このシステムをインストルメントパネルで停止させたい場合は、"ABS 停止機能 " を使います。

⚠ 警告

レバーとペダルの内、片方だけ使用するとブレーキ効力が低下します。ブレーキ類は急激に力づくで操作すると、ホイールのブロックが生じ、車両のコントロールを失います。雨中を走行する際や、滑りやすい路面上ではブレーキ力が著しく低下します。このようなコンディションでは慎重に優しくブレーキ操作をして下さい。急ブレーキは車両のコントロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用します。ブレーキは断続的に短時間だけ使用して下さい。ブレーキの長時間にわたる連続使用は、摩耗材の過熱を招き、ブレーキ能力の著しい低下の原因となります。規定空気圧以外のタイヤはブレーキ能力を低下させるとともに摩耗を早め、また運転の確実性と、カーブでの安定を欠きます。

車両の停止
スロットルグリップを緩めると、車両は 徐々にスピードを落とし始めます。シフトダウンしながらクラッチをつなぎ、最後に1速からニュートラルに入れます。ブレーキをかけると、車両を完全に停止することができます。赤いスイッチ (1、図126) を下にずらし、エンジンをOFFにして下さい。

パーキング
停止させた車両をサイドスタンドを使い駐車します。
ハンドルを左か右に振りきります。
これがエンジン停止後、60秒以内に行なわれれば、インストルメントパネルのディスプレイ上に約5秒間 "Waiting for lock" (図125) のメッセージが表示されます。

WAITING
FOR
LOCK

図 125

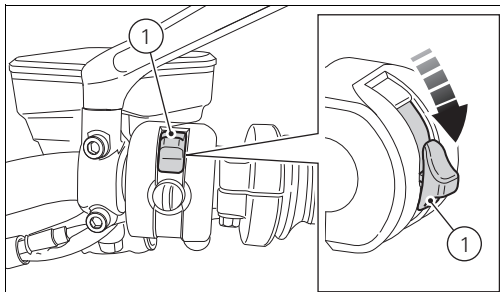



図 126

この間にステアリングブロック設定したい場合は、新たに 赤いスイッチ (1、図 126) を下にずらして下さい。
ステアリングブロックが正常に設定されれば、タンクインストルメントパネルのディスプレイ上に STEERING LOCKED (図 127) と 5 秒間表示されます。
ステアリングブロックは、key-on で解除できます。
Hands free システムがステアリングブロックの解除ができない場合、円形ディスプレイ上に UNLOCK ERROR (図 128) と表示されます。
この場合、ハンドルレバーを押しながら車両の停止と再起動 (Key-Off/Key-On) を推奨します。もしマークが変わらない (つまりステアリングロック状態のまま) 場合は、Ducati サービスセンターにご依頼下さい。

車両停止から 60 秒以内に、夜間もしくは明るさに乏しい場所にて目立つように、Parking 機能を起動させ、前後部に位置するライトを点灯することができます。

図 127

UNLOCK
ERROR

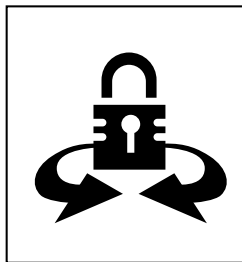
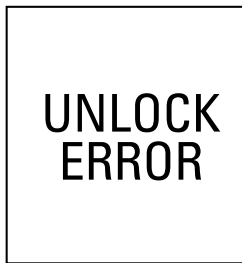



図 128

ボタン（2、図 129）を 3 秒以上押します。タンクインストルメントパネルのディスプレイ上に、起動を示すマークと PARKING(図 130）が 5 秒間表示され、ランプは 2 時間点灯し続けます。この時間が経過すると、自動的に消灯します。

参考
Parking 機能が起動中に、突然バッテリーが無くなるなどの理由で電源が遮断された場合、電源をリセットするため、インストルメントパネルは機能を停止します。

重要
この機能を頻繁に使うことで、バッテリーの消耗が著しくなります。この機能は必要な時のみに利用することをお勧めします。

警告
エキゾーストシステムは、エンジンを止めた後も熱い場合があります。エキゾーストシステムボディには手を触れないよう充分注意し、車両を木材、木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにして下さい。

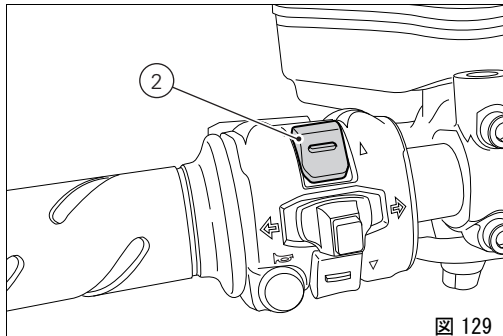



図 129

図 130

警告
発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック（ディスクロック、リアスプロケットロック等）は大変危険で、車両の機能とライダーとパッセンジャーの安全に危害を与えるおそれがあります。

燃料の補給 (図 131)

給油の際、入れすぎないように注意してください。
燃料はプラグの下縁をこえてはいけません。

警告

ガソリンは無鉛に出来るだけ近いもの、もしくはオクタン価 RON が最低 95 のものを使用してください（200 ページ " 給油 " 参照）。
プラグの上部に燃料が溜まってないことを確認します。

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

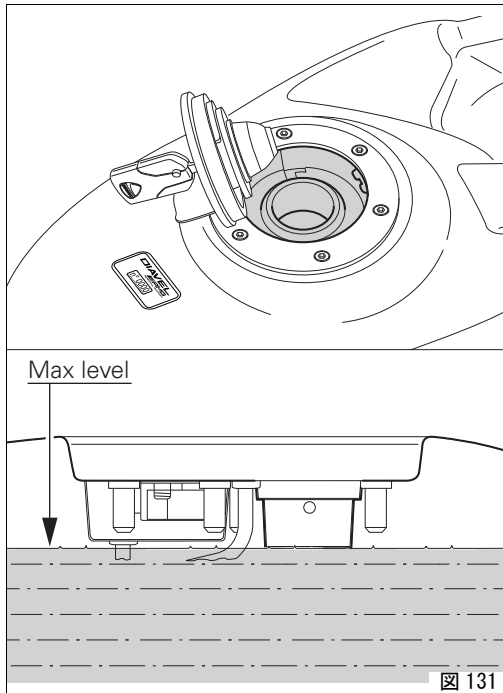



図 131

付属アクセサリー（図 132）

シート (1) 下にツールケース (2) があり、その下のスペースに取扱説明書が収納されています。
ツールキットは以下のものからなります。
- ヒューズ用ピンセット
- ヘルメット盗難防止ケーブル 2 本
- ドライバー
- ドライバー用ハンドル
- 14/16 mm ソケットレンチ
- 6 mm リンケージ
- 3 mm 六角レンチ
- 4 mm 六角レンチ
- 5 mm 六角レンチ

ツールケースを取り外すにはシートを取り外す必要があります（139 ページ " シートの取り外し " 参照）。

Diavel AMG には端に AMG のロゴの入ったスポーツエキゾーストチューブ、専用エアフィルターとエンジンソフトウェアがついています。
このキットの取り付けについては Ducati サービスセンターにお問い合わせください。
キットには以下の部品が含まれています。
- サイレンサー (3)
- カーボン製ヒートガード (4)
- コントロールユニット (5)
- エアフィルター (6)。

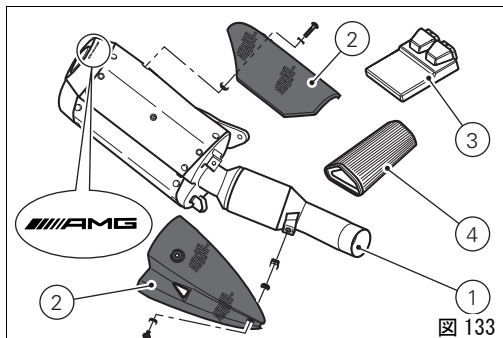
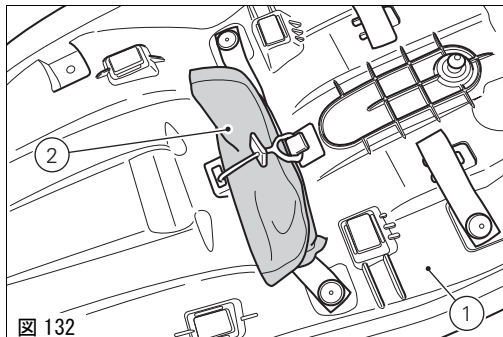
図 132

図 133

エアフィルターの交換

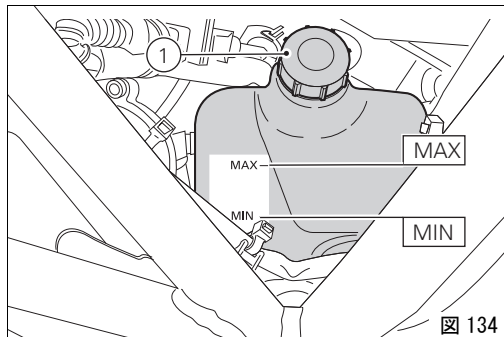
重要
エアフィルターのメンテナンス作業が必要な場合は、ディーラーまたはDucati サービスセンターにご連絡下さい。

クーラントレベルの点検および補充

車両右側にある拡張タンク内のクーラントレベルを点検します。ハンドルを左側にいっぱい切り、エキスパンションタンク脇に見えるMIN からMAX 目盛のどのレベルにあるかを確認します。液体レベルがMIN 以下の場合は補充します。フィラープラグ (1) をゆるめ、希釈水と不凍液SHELL Advance Coolant またはGlycoshell (35 ～ 40%) の混合液をMAX のレベルになるまで補充します。
プラグ (1) を閉めます。

上記に示された混合液を使用することで最良のコンディションを保つ事が出来ます
(-20° C/-4° F から凍結し始めます)。

クーリングシステムの容量：2.5 リットル。

警告
この作業は、エンジン冷間時に車両が完全に垂直で安定した状態で行って下さい。

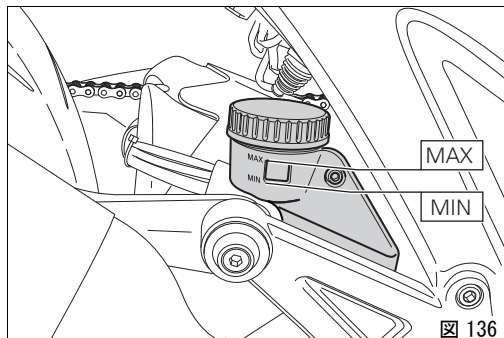
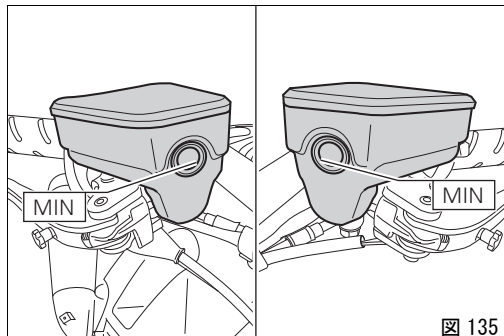
図 134

ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検
ブレーキ、クラッチ液のレベルは、絶対に各リザーバータンクの MIN 目盛りより下になってはいけません。
液体レベルが下がりすぎると、回路内に空気が混入し、システム作動に悪影響を及ぼします。
また、定期点検表で指定されているブレーキ / クラッチフルード補充及び交換は、Ducati ディーラーまたはサービスセンターに依頼して下さい。

重要
ブレーキ、クラッチシステムのパイプは 全て4 年毎に交換して下さい。

ブレーキシステム
ブレーキパッドが磨耗していないのに、ブレーキレバー、ブレーキペダルの過度の遊びに気付いた場合には、Ducati ディーラーまたはサービスセンターに連絡し、システムの点検とエア抜きを行って下さい。

警告
ブレーキ / クラッチフルードはプラスチックおよび塗装部分に損傷を与えますので、こぼさないようにして下さい。

図 135

図 136

⚠ 警告
これらの液体は腐食性ですので傷損害を与える恐れがあります。異なった品質のオイルを混ぜないで下さい。
シールの状態をチェックしてください。

クラッチシステム

クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの際クラッチにスナッチやジャダーが出る場合は、システム内にエアが混入している事があります。システムを点検しエアを排出する必要があるため、Ducati ディーラーまたはサービスセンターにご連絡下さい。

⚠ 警告
クラッチフルードレベルはクラッチディスクの磨耗材の消耗によって上がる傾向があります。規定のレベルを超えないよう注意して下さい(最低レベルの 3 mm 上)。

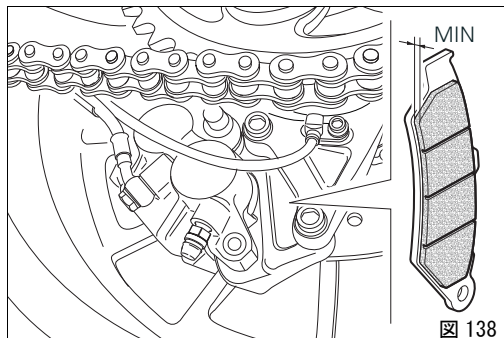
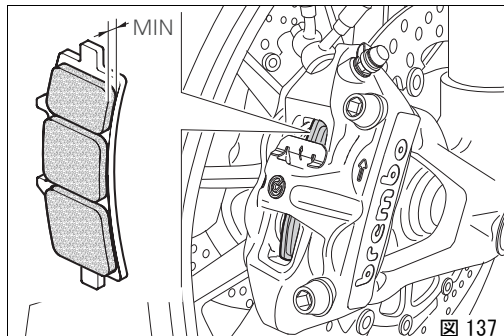
ブレーキパッドの摩耗点検 (図 137 と図 138)

キャリパー間の開口部を通してパッドの摩耗を点検します。
摩耗剤の厚さが一つでもおよそ 1mm ならば、両方のパッドを交換します。

警告
摩耗剤が消耗しすぎると、ブレーキディスクと金属製サポートが接触し、ブレーキの性能、ディスクの完全性、ライダーの安全性を損なう可能性があります。

重要
ブレーキパッドの交換は Ducati ディーラーまたはサービスセンターで実施して下さい。

図 137

図 138

ジョイント部の潤滑

スロットルコントロールケーブル外部のシースの状態を定期的に点検する必要があります。外側プラスチック部に亀裂や押し潰された跡があってはいけません。コマンドを操作して内部ケーブルが滑らかに動くことを確認します。引っかかったり何か異常を感じる場合は、ディーラーまたは Ducati サービスセンターに交換を依頼して下さい。
このようなことを避けるためスロットルトランスミッションの場合は 2 本の固定スクリュー (1、図 139) を緩めてスロットルを開き、ケーブルの両端とプーリー (2、図 140) をグリース SHELL Advance Grease または Retinax LX2 で潤滑します。

図 139

警告
プーリーの中にケーブルを入れ、注意しながらスロットルを閉じます。

カバーを付け、スクリュー (1) を 10 Nm のトルクで締め付けます。

サイドスタンドのスムーズな作動を確保するために、汚れを取り除き、全ての可動部分に規定のグリース SHELL Alvania R3 を塗布して下さい。

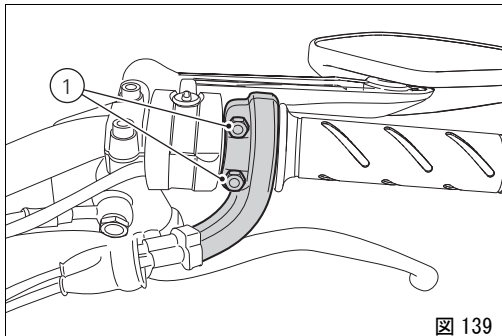
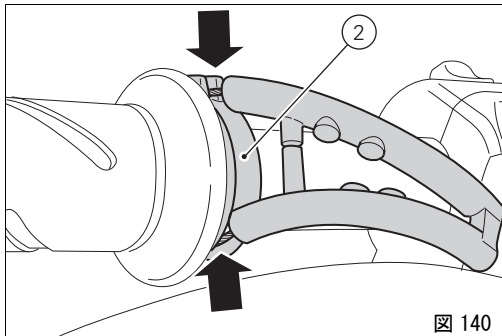



図 140

スロットルグリップの調整

スロットルグリップは ハンドルのどのポジションでも、1.5 ～ 2.0 mm(グリップの端で測定) の遊びがなければなりません。必要であれば、車両右側のステアリングチューブにある適切なアジャスター (1 および 2、図 141) を使用して調整します。
アジャスター (1) はスロットル開度調整用で、(2) は閉度調整用です。
アジャスターの保護カバーを引き抜き、ロックナット (3) を緩めます。両方のアジャスターを釣り合うように操作して調整します。時計回りに回すと遊び量が増え、反時計回りに回すと減少します。調整が終了したらロックナット (3) を締め、アジャスターに保護キャップを取り付けます。

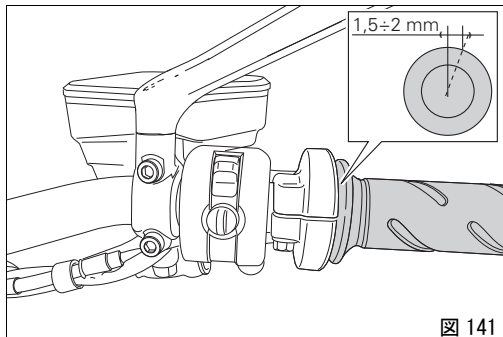



図 141

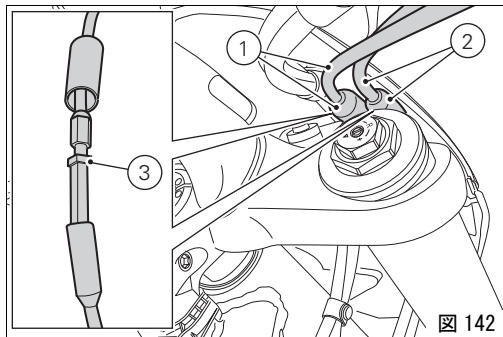



図 142

バッテリーの充電
バッテリーを充電する際、バッテリーを車両から取り外して下さい。

重要
バッテリーはロアフェアリングに設置されており、取り外しには必ず Ducati オフィシャルディーラーまたはサービスセンターに依頼してください。

左のロアフェアリング（1、図 143）を以下のスクリューを緩めながら取り外します。
エレクトリカル部品タンクへのサイド固定スクリュー（2、図 143）；
エレクトリカル部品タンクへのアッパー固定スクリュー（3、図 143）；
中央ロアフェアリングへのアンダー固定スクリュー（4、図 143）；

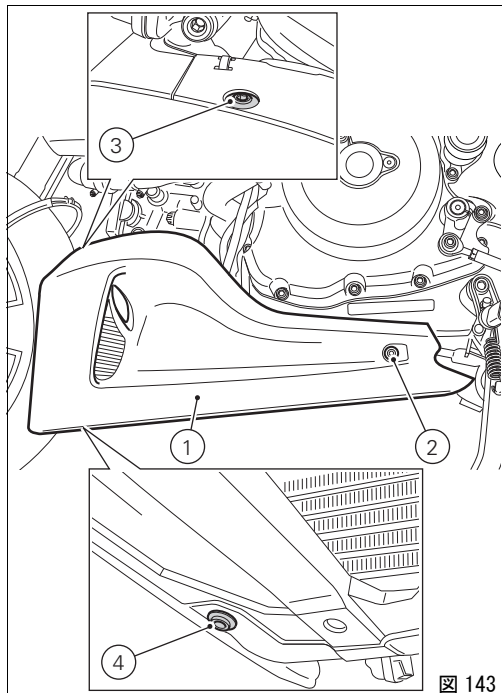
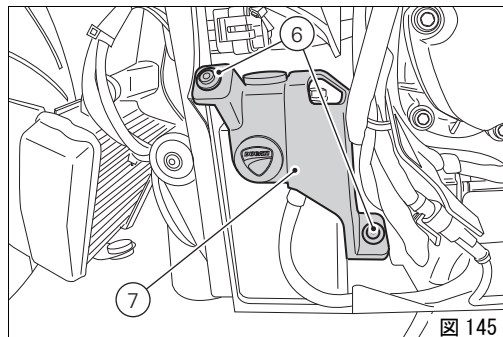
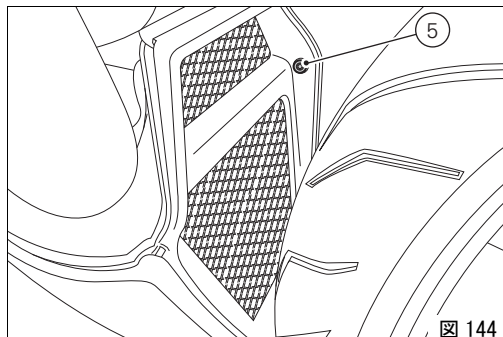



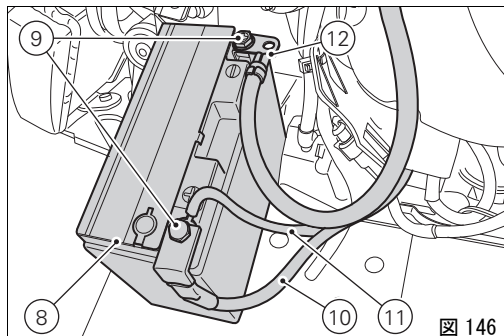
図 143

左ロアフェアリングへ中央ロアフェアリングを固定するスクリュー（5、図 144）；
スクリュー（6、図 145）を緩め、バッテリーを固定するカバー（7、図 145）を取り外します。

図 144

図 145

所定の位置からバッテリー（8、図 146）を抜き取り、陰極端子（-）からスクリュー（9、図 146）を緩めます。
陽極ケーブル（10、図 146)、ABS 陽極ケーブル（11、図 146）を陽極から、陰極から陰極ケーブル（12、図 146）を外します。

警告
バッテリーは爆発性のガスを発生させます。熱源の近くに保管しないで下さい。

警告
バッテリーは幼児の手の届かないところに置いて下さい。

バッテリーは 0.9A で 5 ～ 10 時間充電します。

充電は換気のよい場所で行って下さい。
端子に充電機のコンダクターを接続します。赤い端子はプラス (+)、黒い端子はマイナス (-) 。

重要
電源を入れる前にバッテリーを充電機に接続します。電源に接続する際に火花が発生し、セル内の可燃性ガスに引火する危険があります。
接続は常に赤のプラス (+) 極から行って下さい。

図 146

ABS システムの陽極ケーブル（11、図 147）を陽極ケーブル（10、図 147）の上に置き、スクリュー（9、図 147）をその上に差し込みます。

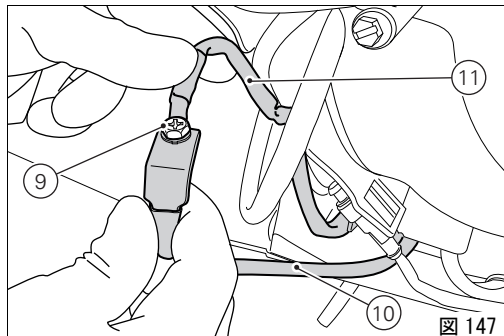
図 147

前もって ABS ケーブル（11、図 148）と組み立てておいた陽極ケーブル（10、図 148）をバッテリーの陽極に、陰極ケーブル（12、図 148）バッテリーの陰極に接続し、スクリュー（9、図 148）を差し込みます。
電極のスクリュー（9、図 148）を 5Nm ± 10% のトルクで締め付け、酸化を防ぐためにバッテリー電極周辺にグリースを塗布します。
図 149 に示す方向にケーブル（10、図 149）及び（11、図 149）を向け、バッテリー（8、図 149）をサポートに取り付けます。

図 148

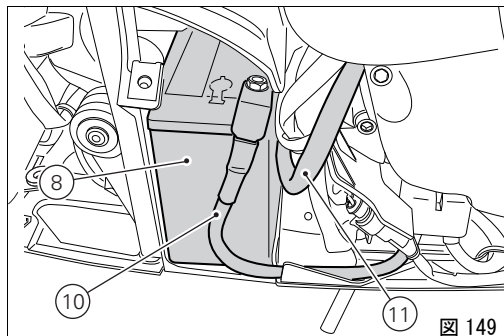
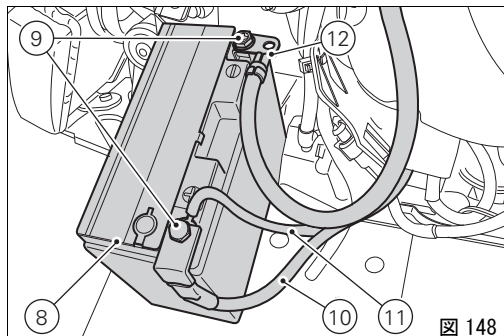
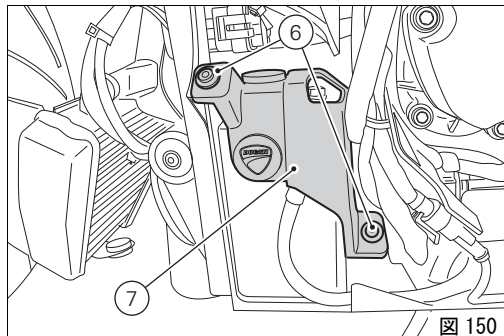
図 149

バッテリー固定カバー（7、図 150）を取り付け、スクリュー（6、図 150）を 10 Nm ± 10% のトルクで締め付けます。

図 150

以下の要領で左ロアフェアリング（1、図 151）を取り付けます。
エレクトリカル部品タンクにサイド固定スクリュー（2、図 151）を差し込みます。
エレクトリカル部品タンクにアッパー固定スクリュー（3、図 151）を差し込みます。
中央ロアフェアリングにアンダー固定スクリュー（4、図 151）を差し込みます。

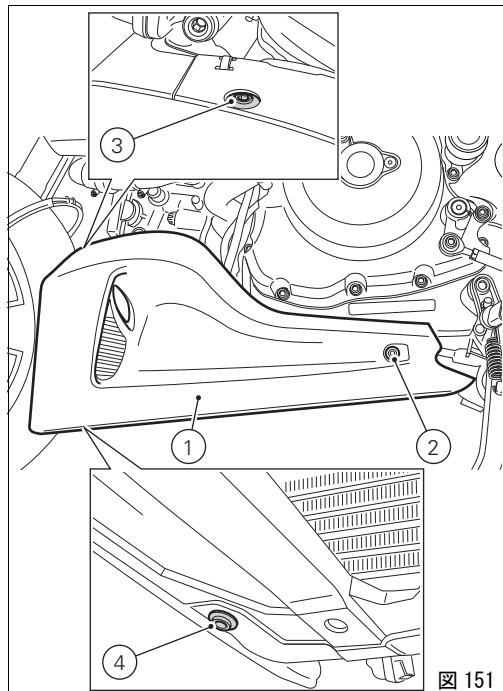
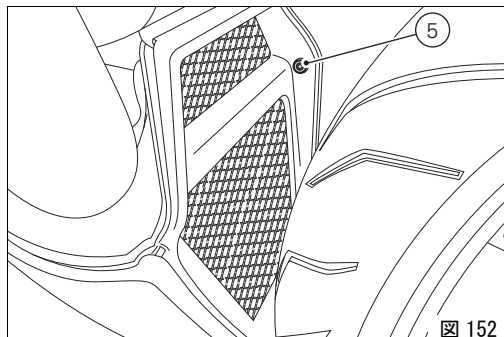



図 151

左ロアフェアリングへ中央ロアフェアリングを固定するスクリュー（5、図 152）を差し込みます。
スクリュー（2、図 .149）、（3、図 151）、（4、図 151）及び（5、図 152）を 10 Nm ± 10% のトルクで締め付けます。

図 152

バッテリー充電および冬季の断熱

お客様の車両には当社の販売網でお求め可能な所定のバッテリー充電器 (2) バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601A – 多くの国）（バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601AX – 日本、中国、オーストラリアのみ）に接続できるコネクター（ 1、図 154) が装備されています。

参考

このモデルのエレクトリカルシステムは待機電力が非常に小さくなるよう設計されています。バッテリーは自然に消耗し、これは ″ 使用していない ″ 期間や環境条件にも左右されます。

重要

所定のメンテナーを介してバッテリー電力の最低値が維持されないと、不可逆反応でバッテリー自体の性能の低下を招くサルフェーション現象が生じます。

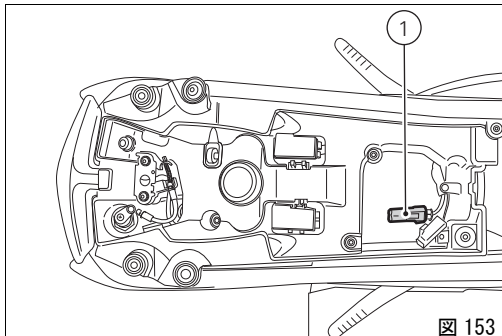



図 153

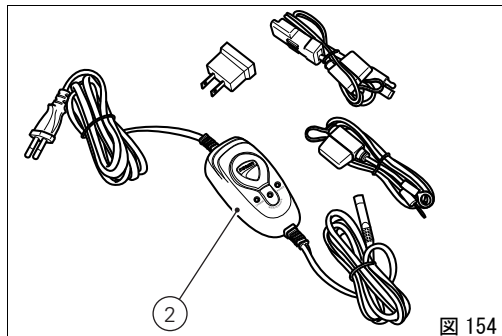



図 154

参考
車両を使用していない期間（大体 30 日以上）、Ducati 充電メンテナー（バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601A - 多くの国）（バッテリーメンテナーキット、部品番号 69924601AX - 日本、中国、オーストラリアのみ）の使用を推奨します。電圧をモニターし、最大 1.5 アンペア /h 充電できるインターナルエレクトロニクスを搭載しています。
メンテナーを車両の後部にある診断プラグに接続します。

参考
Ducati が承認していない充電メンテナーを使用すると、車両のエレクトリカルシステムに損傷を起こす原因になることがあります。上記の理由で車両が損傷した場合、すなわち過ったメンテナンスと判断された場合、バッテリーに車両保証は適用されません。

トランスミッションチェーン張力の点検
(図 155)

重要
チェーン張力の調整は Ducati オフィシャルディーラーまたはサービスセンターに依頼してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を探します。
サイドスタンドに車両を駐車します。測定位置でチェーンを下方向に押し、その後離します。
″開口部″の上部側面及びペグ中央の距離を測定します。
その距離は 9 ～ 11 mm でなければなりません。

重要
トランスミッションのチェーンが張りすぎている、又は緩すぎる場合は、測定値が規定値になるよう調整します。

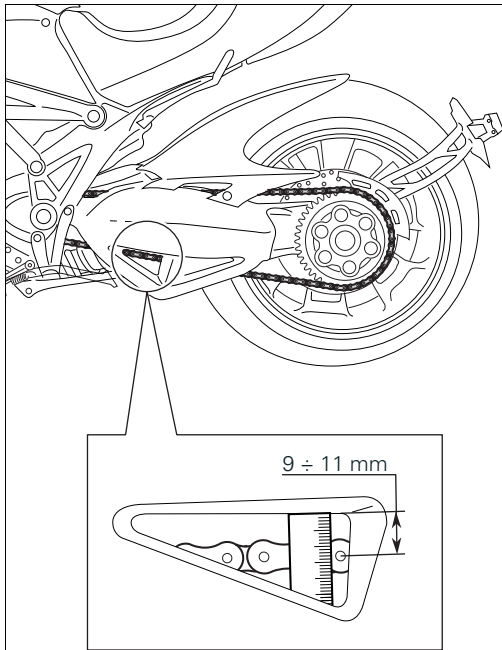



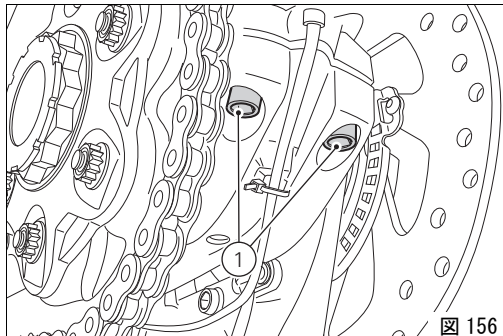
図 155

警告
安全な走行状態を保つにはスクリュー (1、図 156) の正しい締め方がとても重要です。

重要
不適切なチェーンの張りは、トランスミッション部品の磨耗を促進させます。

チェーンの潤滑
この車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑をより保つ O リングシールの付いたチェーンが装備されています。
チェーンを洗浄する場合には、シールの損傷を防止するため、専用の溶剤を使用して下さい。ウォッシャー等でスチームや圧力のかかった水で洗浄しないで下さい。
洗浄後は、コンプレッションエアーでチェーンを乾かし、SHELL Advance Chain または Advance Teflon Chain で潤滑します。

重要
規定オイル以外を塗布すると、チェーン、フロント / リアスプロケットに損傷を与える可能性があります。

図 156

ハイ / ロービーム電球の交換
切れた電球を交換する前に、新しい電球が 207 ページの " エレクトリカルシステム " の章に記載されている電圧及び電力と同じであることを確認してください。取り外したパーツを再度取り付ける前に、新しく取り付けた電球の機能を点検してください。
図 157 にはロービーム (LO)、ハイビーム (HI) およびパーキングランプ (1) 配置が図示されています。

ヘッドランプ

重要
ロー / ハイビームの電球を交換するには、Ducati ディーラーまたはサービスセンターにご連絡下さい。

警告
雨天時または洗車後に車両を使用する際、ランプレンズが曇っている場合があります。
レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

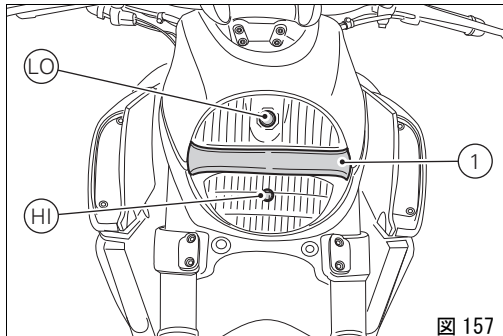



図 157

ヘッドランプの光軸調整 （図 158)

ヘッドランプの光軸をチェックするには、適切な空気圧のタイヤの車両にまたがり、車体を垂直に保ち、縦軸に対して正しい角度を保持します。車両は壁またはスクリーンから 10m の距離に配置します。
壁にヘッドランプの中心と同じ高さで水平に線を引き、また車体の縦軸に一致する垂直線も引きます。
この作業はできれば薄暗い場所で行って下さい。
ロービームを点灯します：
光の照射範囲の高さが（照射された部分と明るいの部分との境界の上限）、地上からヘッドランプの中心までの高さの 9/10 以下でなければなりません。

参考

この方法は、イタリアの基準で制定された照射角度に準拠したものです。
イタリア以外の国で使用する場合は、それぞれの国で法律に従い調整してください。

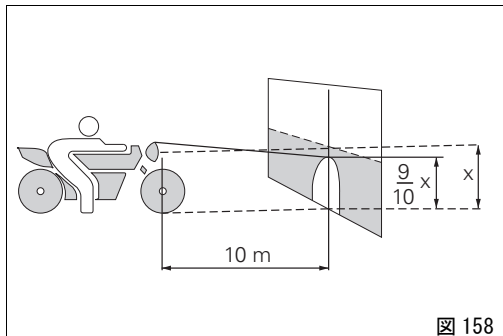
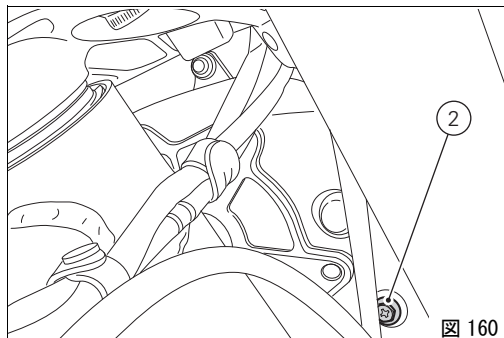
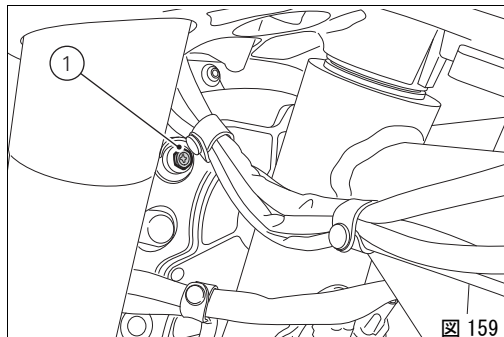



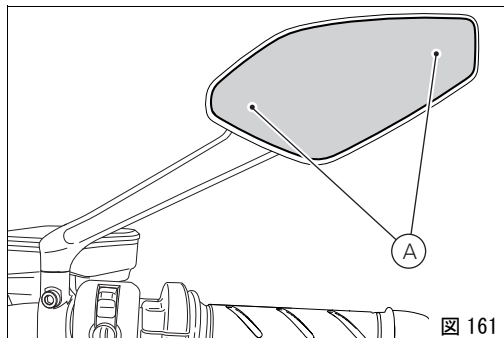
図 158

ヘッドランプの垂直方向の光軸調整を行うにはスクリュー (1) を、水平方向の光軸調整を行うにはスクリュー (2) を回します。

図 159

図 160

リアビューミラーの調整 (図 161)

(A) を手で押し、ミラーを調整します。

図 161

チューブレスタイヤ

フロントタイヤ空気圧：
2.50 bar（ライダーのみ）- 2.6 bar（タンデム と/もしくは バック）
リアタイヤ空気圧：
2.50 bar（ライダーのみ）- 2.6 bar（タンデム と/もしくは バック）
タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化しますので；高度の高い場所や気温差のある場所を走行する場合は、毎回点検と調整を行って下さい。

重要
タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定しなければなりません。
フロントリムがダメージを受けないように、悪路を走行する時はタイヤの空気圧を0.2～0.3bar上げて下さい。

タイヤの修理、交換（チューブレス）

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかることがあります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、パンクの可能性をチェックします。

警告
パンクしたタイヤは交換して下さい。
交換する際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指定してください。
走行中のエア漏れを防ぐため、タイヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確認します。チューブタイプのタイヤは絶対に使用しないで下さい。突然タイヤが破裂し、ライダー、パッセンジャーの安全に大きな危険を及ぼします。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を行って下さい。

重要
ホイールのバランスウェイトを外したり、移動させたりしないで下さい。

参考
タイヤの交換が必要な場合は、ホイールを正しく着脱することが大切ですので、Ducatiオフィシャルディーラーまたはサービスセンターにご依頼下さい。
センサー、フォニックホイールなどABSシステムのパーツがホイールに装着されており、特別の調整が必要になります。

タイヤ摩耗の限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所の (S、図 162) 溝の深さを測定します :
溝の深さは 2mm 以下、または道交法の規定値以下であってはなりません。

重要

タイヤを定期的に点検します。特に側面に傷やヒビがないか、でっぱり、広範囲のシミ、内部の損傷を表す箇所がないかを注意深く目視点検して下さい。損傷が著しい場合はタイヤを交換して下さい。
トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いて下さい。

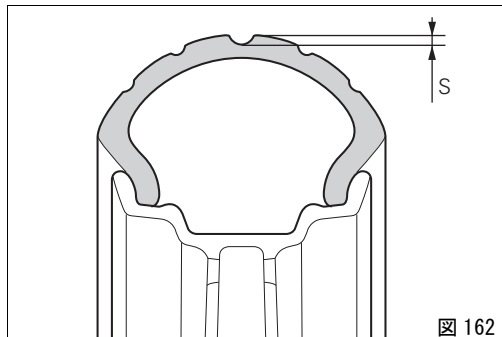
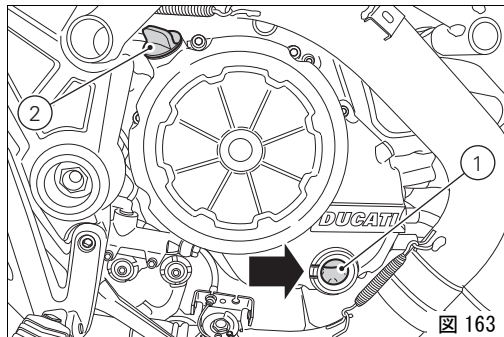
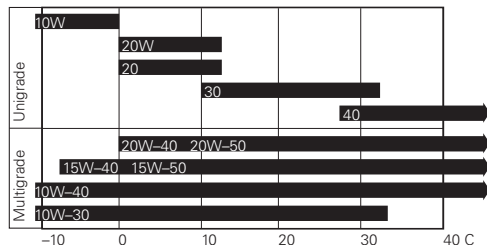
図 162

エンジンオイルレベルの点検 (図 163)
エンジンオイル量は、クラッチカバー上の
オイル点検窓 (1) で確認できます。レベルチェックは車体を垂直に配置し、エンジン冷間時に行ってください。オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイル SHELL Advance 4T Ultra を補充してください。注入口キャップ (2) を外し、指定のオイルを所定のレベルまで補充してください。プラグを取り付けます。

図 163

重要
保証書に記載されている定期点検表に従い、エンジンオイルとフィルターの交換は、Ducati ディーラーまたはサービスセンターににご依頼下さい。

粘度
SAE 15W-50
車両使用環境の気温が表示された規定範囲内であれば、表に示された以外の粘度のオイルも使用できます。

スパークプラグの清掃と交換 （図 164）

スパークプラグはエンジンの重要な部品ですので、定期的な点検が必要です。
定期的に検査をすることにより良好なエンジンの状態を保つ事が可能になります。
スパークプラグの点検または交換は、オフィシャルディーラーまたはDucati サービスセンターに依頼してください。中央電極のセラミック製絶縁体 (1) の色具合をチェックします。エンジンが正常に機能していれば、全体が薄い茶色を帯びています。

参考
中央電極の摩耗状態、電極間の距離の点検：0.8~0.1 mm

重要
広すぎたり、狭すぎたりするとエンジン性能に影響を及ぼし、また、始動困難やアイドリングの不安定などを招きます。

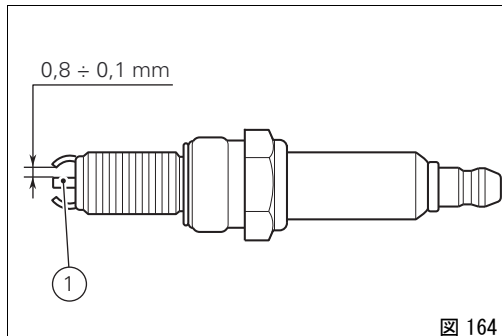



図 164

車両の清掃

塗装部分とメタリック部分の本来の艶を長期間保つため、走行する道路の状態に合わせて、車両を定期的に清掃、洗車しなければなりません。車両に損傷を与えないように、強力な洗剤や溶剤を使用せず、専用の洗剤と水を使って洗車します。
プレキシグラス部分やシートのお手入れには、水と中性洗剤をお使いください。
定期的にアルミニウム製部品を手作業で清掃してください。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないアルミニウム専用洗剤を使用してください。

参考

研磨剤付きスポンジやスチールウールは使用せず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対象になりません。

重要

このモデルにはAlcantara‹ (Alcantara S.p.A. 社が独占的に製造する新世代素材の登録商標）製のシートが装備されており、″シートのメンテナンス″の章に記載された特別なメンテナンスをおこなう必要があります。

重要

走行後のボディがまだ暖かい間は、水染み等を防ぐためすぐには洗車をしないで下さい。高温や、ウォッシャー等の圧力のかかった水で洗浄しないで下さい。ウオッシャー等の使用は、フォークやホイールベアリング、電装部分、ランプ内部の結露（くもり）、フォークシール、エアー吸入口、エキゾーストサイレンサーの磨耗や変形をもたらし、車両の安全を損ねるおそれがあります。
エンジンにひどく汚れた部分や油脂汚れなどがある時は、油取り用洗剤を使って、トランスミッション系統（チェーン、ギア、リム等）に洗剤がかからない様に洗浄します。水道水で良くすすぎ、車体全表面部をセーム革で拭きます。

警告

洗車後は、ブレーキ能力が落ちることがあります。ブレーキディスクには絶対に、グリースやその他のいかなるオイルを付けないで下さい。ブレーキ能力が失われます。ディスクは非油性の溶剤で清掃してください。

警告

洗浄、雨、結露などにより、ヘッドランプレンズにくもりが生じることがあります。
レンズ内の結露はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABS システムが効率よく作動するように、フォニックホイールを入念に清掃してください。ホイールやセンサーをいためますので、強い洗剤、溶剤の使用は避けてください。

参考

インストルメントパネルの清掃にアルコール又はその二次製品を使用しないでください。

ビレットアルミが使用されている部品があるので、ホイールリムの清掃には十分注してください。車両を使用する度に清掃し、水分を拭き取ってください。

長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の作業を行うようお薦めします :
車両を清掃します。
燃料タンクを空にします。
スパークプラグの穴からシリンダーの中に数滴のエンジンオイルを注入し、エンジンを手で数回転させてシリンダー内壁に保護膜を形成させます。
車両をスタンドに立てかけて停車します。
ケーブルを外し、バッテリーを取り外します。
1ヶ月以上車両を使用しなかった場合には、バッテリーの点検と充電、交換を行う必要があります。
結露を防止し塗装を保護するため、車体はカバーで覆います。
車体カバーは Ducati パフォーマンスにて取り扱っています。

重要注意事項

国によっては (フランス、ドイツ、イギリス、スイス等) 排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。
法規に義務付けられた定期点検を行う他、規制に適さない部品がある場合は、適合する Ducati オリジナルパーツと取り替えて下さい。

メンテナンスプログラム

ディーラーで行うメンテナンス

走行距離 1000 km 時に行なわれるメンテナンス一覧
DDS でエンジンコントロールユニット、車両および ABS 上のエラー検出
エンジンオイル交換
エンジンオイルフィルター交換
ランプ、インジケーターの点検
セキュリティデバイスの点検（サイドスタンドスイッチ、クラッチレバースイッチ、右側スイッチモーター停止スイッチ、ギアセンサー）
バッテリーチャージレベルの点検
エンジンオイルインテークフィルター清掃
クーラントレベルのチェック
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検
ブレーキパッドとディスクの消耗度点検
タイヤ圧、磨耗点検

走行距離 1000 km 時に行なわれるメンテナンス一覧
チェーン張力の点検と潤滑
サイドおよびセンタースタンドの動作点検 (装備している場合)
セキュリティーロックコンポーネント点検 (例、ホイールディスクナット、ブレーキキャリパー、ホイールナット、ギアロック)
フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊びと動作を目視点検
セキュリティーデバイス (例、ABS) テストを兼ねた道路上の試運転
保証書にある実施サービスチェックの記入

ディーラーで行うメンテナンス

年走行距離 12000 km で行なわれるメンテナンス一覧 (リミットの設定次第による)
DDS でエンジンコントロールユニット、車両および ABS 上のエラー検出
エンジンオイル交換
エンジンオイルフィルター交換
バルブの遊び点検と / または設定 (24000 km ごとに限定)
タイミングベルトの交換 (24000 km/60ヶ月ごとに限定))
スパークプラグの交換 (24000 km ごとに限定)
エアフィルターの交換 (24000 km ごとに限定)
フロントフォークオイルの交換 (24000 km ごとに限定)
クーラントの交換 (24000 km ごとに限定)
ランプ、インジケーターの点検
セキュリティデバイスの点検 (サイドスタンドスイッチ、クラッチレバースイッチ、右側スイッチモーター停止スイッチ、ギアセンサー)
バッテリーチャージレベルの点検
クーラントレベルのチェック
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検
ブレーキパッドとディスクの消耗度点検
タイヤ圧、磨耗点検
チェーン張力の点検と潤滑

年走行距離 12000 km で行なわれるメンテナンス一覧 (リミットの設定次第による)
ファイナルトランスミッションの磨耗点検
リアホイールピンの点検と潤滑 (24000 km ごとに限定)
サイドおよびセンタースタンドの動作点検 (装備している場合)
セキュリティーロックコンポーネント点検 (例、ホイールディスクナット、ブレーキキャリパー、ホイールナット、ギアロック)
フレキシブルケーブルと配線ケーブルの摩擦部分、遊びと動作を目視点検
セキュリティーデバイス (例、ABS) テストを兼ねた道路上の試運転
保証書にある実施サービスチェックの記入

お客様が行えるメンテナンス

走行距離 1000 km ごとに行なわれるメンテナンス一覧
エンジンオイルレベル点検
チェーン張力設定

テクニカルデータ

全体寸法（mm）（図 165）

重量

重量（燃料およびバッテリー抜き）
205 Kg
重量（燃料およびバッテリー込）: 234 Kg
重量（燃料込み）: 400 kg。.

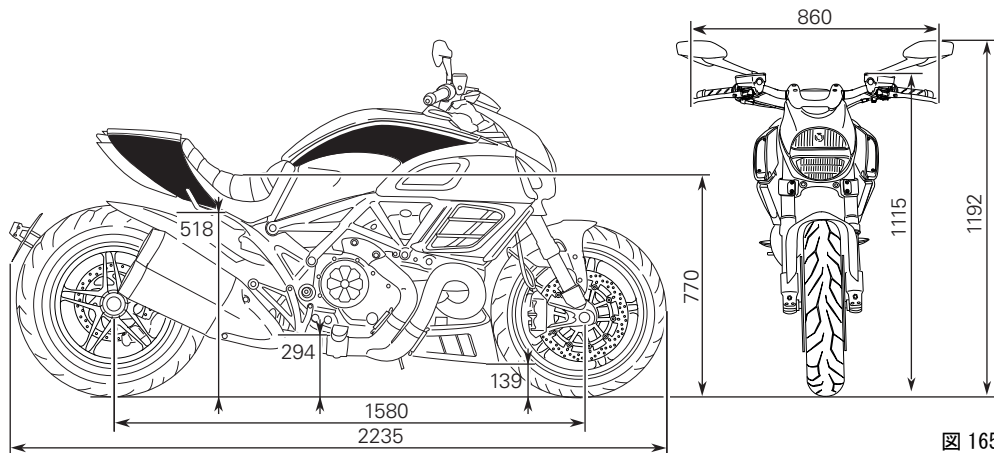



図 165

警告
重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

燃料補給	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 4 リットルを含む	オクタン価 95 以上の無鉛ガソリン	17 リットル
潤滑回路	SHELL - Advance 4T Ultra	4 リットル
フロント / リアブレーキシステム、クラッチ	油圧システム用 SHELL - Advance Brake DOT 4	—
電極保護液	配線用スプレー SHELL - Advance Contact Cleaner	—
フロントフォーク	SHELL - Advance Fork 7.5 または Donax TA	720 cc（スタンド用）
クーラントシステム	不凍液 SHELL - Advance Coolant または Glycoshell 35 ～ 40% + 水溶液	2.5 リットル

重要
燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないで下さい。この燃料を使用すると、車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。

警告
この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

エンジン

4 ストローク 90°"L" 型 2 気筒、低タンクキャストクランクケース付き
ボア mm :
106
ストローク mm :
67.9
総排気量、cm^3 :
1198
コンプレッション比 :
11.5 ± 0.5:1
クランクシャフト最大出力 (95/1/EC)、kW/ 馬力 :
119 kW/162 馬力 /9,500rpm
クランクシャフトトルク最大回転数 (95/1/EC) :
8,000rpm で 13 kgm/128 Nm
最大回転数、rpm :
10,800

重要
どんな状況でも許容最大回転数を越えた状態で走行してはいけません。

タイミングシステム

デスモドロミックシステム :シリンダーごとに 4 本のバルブ、8 本のロッカーアーム (4 オープニングロッカーアーム、4 クロージングロッカーアーム)、ダブルオーバーヘッドカムシャフト。
クランクシャフトよりスパーギアとベルトローラー / コグドベルトで駆動されるカムシャフトによって制御されます。

デスモドロミックタイミングシステム

(図 166)

1) オープニング (アッパー) ロッカーアーム
2) オープニングロッカーシム
3) クロージング (もしくはロア) ロッカーアームシム
4) ロッカーアームリターンスプリング
5) クロージング (もしくはロア) ロッカーアーム
6) カムシャフト
7) バルブ

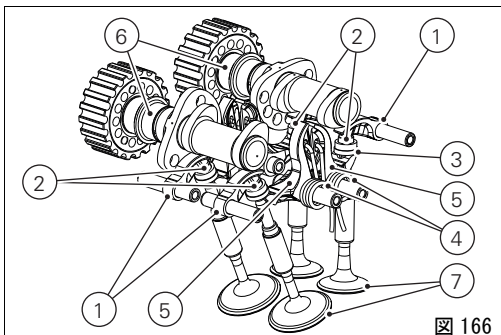



図 166

性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を正しく行い、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ出すことができるようになります。

重要

これは保証の必須条件で、この条件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducati モーターホールディング社はいかなる責任を負うものではありません。

スパークプラグ

メーカー：
NGK
タイプ：
MAR9A-J

燃料供給

ミツビシ製間接式エレクトロニックインジェクションシステム。
ライド・バイ・ワイヤシステム付き楕円型スロットルボディ（直径準拠）:
56 mm
インジェクター（各シリンダー）：1
インジェクター口径：12
ガソリン燃料：95-98 RON

警告

この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料（E10）のみ使用することができます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁止されています この燃料を使用すると車両のエンジン及び部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用すると保証の対象外になります。

ブレーキ

各ブレーキのアンチブロックシステムは、両タイヤに搭載されたホール効果センサーで制御されます。ABS 解除が可能。

フロント

穴付きセミフローティングダブルディスク。
ブレーキシュー材質：
スチール製
ハウジング材質：
アルミニウム製
ディスク径：
320 mm
右側ハンドルレバーによる油圧コントロール
ブレーキキャリパーメーカー：
BREMBO
タイプ：
M4.34a（4 ピストンキャリパーｯ 34）
ブレーキパッド材質：
TT 2182 FF
ポンプタイプ：
PR18/19

リアサスペンション

穴付き固定ディスク、スチール製
ディスク径：
265 mm
車体右側ペダルによる油圧コントロール。
メーカー：
BREMBO
タイプ：
PF 30/32a（2 ピストンフロートキャリパー Ø 30 / Ø 32）
ブレーキパッド材質：
Toshiba TT2182 FF.
ポンプタイプ：
PS 13

警告
ブレーキフルードは腐食性です。誤って目や皮膚に付いた場合は、大量の流水で洗浄して下さい。

トランスミッション

湿式多板クラッチ、サーボシステム及びアンチホッピングは左側ハンドルバレバーにより操作します。
エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝達 エンジンスプロケット / クラッチスプロケット比 : 33/61
6 速コンスタントギア、車体左側ペダルによる操作
ギアスプロケット / リアスプロケット比 :
15/43
変速比 :
1 速 15/37
2 速 17/30
3 速 20/27
4 速 22/24
5 速 24/23
6 速 25/22

トランスミッションチェーン :
メーカー :
DID
タイプ :
HV2 525
サイズ :
5/8" x1/16"
リンク数 : 118

重要
上記のギア比は認可時の値ですので、いかなることがあっても変更してはいけません。

この車両を競技用に仕様変更する場合には、Ducati モーターホールディング社から特別なギア比に関する情報を提供いたしますので、オフィシャルディーラーまたは Ducati サービスセンターにお問い合わせ下さい。

警告
リアスプロケットの交換作業は、Ducati ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせ下さい。この部品の誤った交換作業はライダーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に回復不能な損傷を与える原因となります。

フレーム
ALS450 スチール製パイプトレーリスフレーム
アルミニウムキャストリアフレーム
ステアリングヘッドアングル： 28°
ステアリングアングル：左 34° / 右 34°
トレール： 130 mm

ホイール
露出仕上げ鍛造軽合金 5 スポークリム。

フロント
サイズ：
MT 3.50x17”

リアサスペンション
サイズ：
MT 8.00x17”

タイヤ

フロント
” チューブレス ” ラジアルタイヤ
サイズ：
120/70-ZR17

リアサスペンション
” チューブレス ” ラジアルタイヤ
サイズ：
240/45-ZR17

サスペンション

フロント
プリロード（フォークインナースプリング）及びリバウンド/コンプレッションの外部調整システム付きブラックダイヤモンドカーボンDLC抗摩擦油圧倒立フォークフォークには斜めカットの3本のアームのついたプレートがついています。下部のプレートはキャストアルミニウム製、上部のプレートは鍛造アルミ製で、ラバーマウントには変断面合金ハンドルバーへの取り付け用U時ボルトがついています。
スタンションチューブ径：
加工済み 50 mm
ホイールトラベル
120 mm

リアサスペンション
リバウンド/コンプレッション調整、スプリングプリロードのリモコン操作が可能なショックアブソーバーは、フレーム上部とスイングアーム下部の中心に位置します。スイングアームはフレーム、エンジン用ピンの基点の回りを回転します。
このシステムは車両に高い安定性をもたらします。
ショックアブソーバーストローク：
59.5 mm
ホイールトラベル
120 mm

エキゾーストシステム
断面58mm、端はアルミニウム製のステンレス製2-1-2タイプのモノブロックサイレンサー
マフラー内の集積触媒システムと排気筒上のラムダセンサー 。

カラーバリエーション
AMGダイヤモンドホワイトブライト及びマットカーボン
クリアースモーク：Palinal、部品番号293 I 2105
パールホワイトボトム：Palinal、部品番号844 I 1605
パールベース：Palinal、部品番号928 T 272
クリアー：Palinal、部品番号923 I 1826。

エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです：
ヘッドランプ：
ロービームランプタイプ：1xH7 ブルービジョン (12V-55W)
ハイビームランプタイプ：1xH1 (12V-55W)
ポジションランプ：LED (12V-2.4W)
ハンドル上スイッチ
ターンインジケーター：
フロント：LED (13.5V-2.9W)
警告ホーン。
ストップランプスイッチ
バッテリー、12V-10 Ah、密封タイプ
オルタネーター、12V-430W
マスターヒューズは 30A ヒューズで保護されています。バッテリー (C、図 169) 後のスターターコンタクター上に配置されています。
スターターモーター：12V-0.7 kW.
バックライト、ストップライト、及びリアターンインジケーター ：
ポジションランプ：(13.5V-0.6W)
ストップランプ：LED (13.5V-2.8W)
リアターンインジケーター：LED (13.5V-2.06W)
ナンバープレートホルダーランプ：LED (13.5V-0.67W).

参考

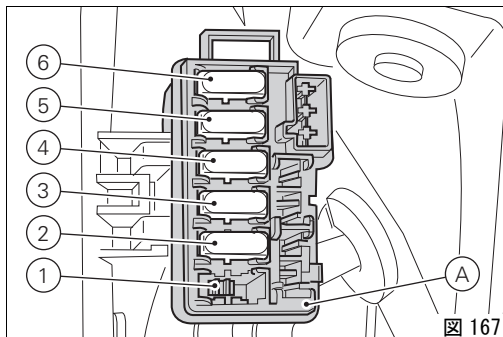
電球の交換は 185 ページ、″ハイ / ロービーム電球の交換″を参照してください。

ヒューズ

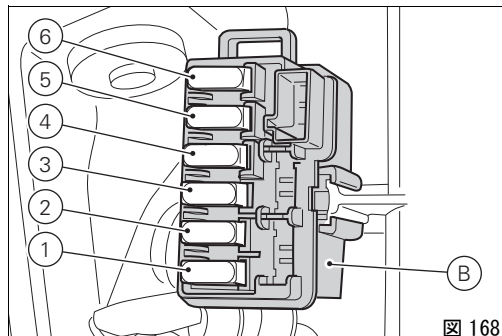
エレクトリックコンポーネントプロテクトはフロントおよびリアヒューズボックス内に１２、スターターコンタクター上に一つあります。それぞれのボックス内に補給ヒューズがあります。
用途およびアンペア値については表を参照してください。
左リアヒューズボックス（A、図 167）及び右リアヒューズボックス（B、図 168）はシート下のスペースに装備されています。
ヒューズを取り外すにはシートを取り外す必要があります（139 ページ〝シートの取り外し〝参照）。
ヒューズの交換には、各ヒューズの配置と定格が表記された保護カバーを外してください。

左リアヒューズボックスの凡例（A、図 167）

配置	内容	数値
1	–	–
2	インストルメントパネル	10 A
3	エンジンコントロールユニット	5 A
4	Key-sense	15 A
5	インジェクションリレー	20 A
6	スロットルオープンリレー (ETV)	15 A

図 167

右リアヒューズボックス凡例（B、図 168）

配置	内容	数値
1	Black Box システム (BBS)	7.5 A
2	ナビゲーター / アラーム	7.5 A
3	ABS 2	25 A
4	ABS 1	30 A
5	ファン	10 A
6	診断 / 充電	7.5 A

図 168

参考
メインヒューズを操作するには左ロアフェアリングを取り外します（173 ページ″バッテリーの充電″を参照）。

メインヒューズ（C、図 169）は、スターターコンタクター (D) 上、バッテリーの近くに位置しています。交換の際は保護キャップ (E) を取り外して下さい。
切れたヒューズは、インナーフィラメントが溶断していることで確認できます (F、図 170)。

重要
回路のショートを防止するために、ヒューズ交換は Key-off 後にして下さい。

警告
表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないで下さい。この規則を順守しない場合、エレクトリカルシステムに損傷を招き、火災の原因となることがあります。

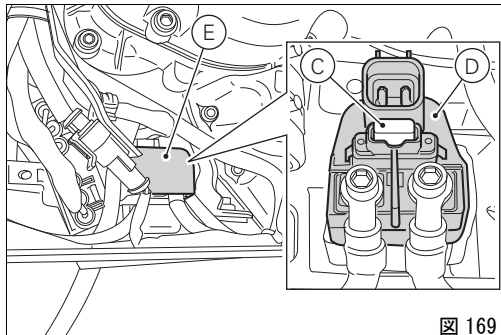



図 169

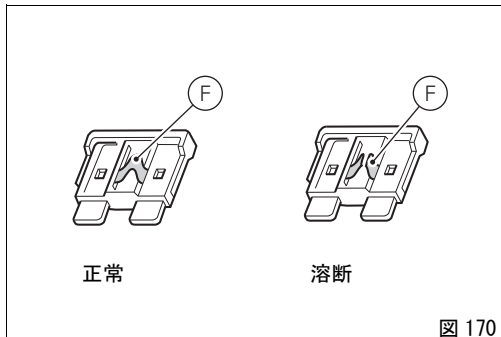



図 170

インジェクション / エレクトリカルシステム配線図凡例

1) 右側スイッチ
2) イモビライザー
3) Hands Free リレー
4) Hands free
5) フロントヒューズボックス
6) 右ファン
7) 左ファン
8) ファンリレー
9) 燃料ポンプリレー
10) ride-by-wire リレー (ETV)
11) インジェクションコントロールユニット (EMS)
12) リアヒューズボックス
13) データの獲得 / 診断
14) スターターモーター
15) ヒューズコンタクター
16) バッテリー
17) アース配線
18) レギュレーター
19) ジェネレーター
20) フューエルポンプ
21) 燃料レベル
22) 右リアターンインジケーター
23) リアライト
24) 左リアターンインジケーター
25) 車両コントロールユニット (BBS)
26) 防犯アラーム
27) エキゾーストバルブモーター
28) ギアセンサー
29) リアスピードセンサー
30) ABS コントロールユニット
31) ガスグリップポジションセンサー (APS)
32) ポテンシオメーター / ride-by-wire (TPS/ETV)
33) エンジン回転作動センサー
34) バーチカル MAP センサー
35) ホリゾンタル MAP センサー
36) エンジン温度
37) 気温センサー
38) バーチカルラムダセンサー
39) ホリゾンタルラムダセンサー
40) オイルプレッシャースイッチ
41) リアストップ
42) サイドスタンドスイッチ
43) クラッチスイッチ
44) フロントストップ
45) バーチカルメインインジェクター
46) ホリゾンタルメインインジェクター
47) バーチカルコイル
48) ホリゾンタルコイル
49) 左側スイッチ
50) 警告ホーン
51) フロントスピードセンサー
52) 左フロントターンインジケーター
53) ハンドルバーに設置されたインストルメントパネル
54) タンクのインストルメントパネル
55) 右フロントターンインジケーター
56) ナビゲーター
57) ハイビーム / ロービームランプ
58) ポジションランプ

配線カラー表

B 青
W 白
V 紫
BK 黒
Y 黄
R 赤
LB ライトブルー
GR グレー
G 緑
BN 茶
O オレンジ
P ピンク

参考
配線図はマニュアルの最後部にあります。

定期点検メモ

KM	DUCATI サービスセンター名	走行距離	実施日
1000			
12000			
24000			
36000			
48000			
60000			

DIAVEL AMG
STARTER
ENGINE STOP
UNLOCK
Ecu
Dash
Key
Inj
Etv
N.C.
1-34
35-68
1 coil Horizontal
2 Injector Horizontal main
3 Injector Horizontal top
4 Injector Vertical top
5 ETV Gnd
6 ETV Source
7 ETV Motor +
8 ETV Motor -
9 ETV Relay
10 Power Gnd
11
12
13
14
15 SideStandsw
16 Clutch Sw
17 Radiator Fan Relay
18 Power Gnd
19
20
21
22
23 Quick Shift
24 Brakesw
25 Starter sw
26 coil Vertical
27 Injector Vertical Main
28 O2 heater Horizontal
29 O2 heater Vertical
30 Starter Relay
31 Fuel Pump Relay
32 Neutral Sw
33 STop Sw
34 Control Gnd
35 Battery Monitor
36 Air Temp Sens.
37 Signal Map Sensor Vertical
38 Crank Angle Sens +
39 Signal Speed sens rear
40 Signal Speed sens Front
41 Oil Press sw
42
43 V supply APS (Sub)
44 Battery
45
46 Signal Map Sensor Horizontal
47 CrankAngle Sens -
48 Sensor Supply 5V
49 V supply TPS
50 Signal APS (sub)
51 Can Low
52
53 Engine Temp. Sens.
54 Signal O2 Sensor H
55 Sensor Gnd
56 TPS Gnd
57 Signal Tps (sub)
58 APS (sub) gnd
59 Can High
60 Self Shut-down
61 Communication Line B
62 Communication Line A
63 Signal O2 Sens (vertical)
64
65 Gnd APS (main)
66 Signal APS (main)
67 V supply APS (main)
68 Signal Tps Main
A
B
Right Front Indicator
Can Low
Can HI
In Left/Right indicator
Menu Input
Menu confirm_Off indicator
Passing_Start_stop_lap
HI Beam input
Claxon Out
Pilot light out
Immo light out
Front left ind out
Front right ind out
SnS 5V
SnS Gnd
Front Speed
Hi Beam
Low Beam
Claxon Input
Rele' socket out
Ntc fuel sensor
brake sw
Key_sense
VBatt1
Vbatt2
Gnd1
Gnd2
Key Sense
Gnd
Can Low
Can Hi
Immo Input alarm
Tair Input
Can Low
Can Hi
Out Right Rear Indicator
Out Left Rear Indicator
In Quick shift
Out Stop Light
In ABS Lamp
In ON/OFF ABS
Position light
5V Sns Vcc
In Sign exup
Out Sns Gnd
M+
M-
In Fuel Sensor
In Gear Sensor
In speed sensor
Key sense
Gnd
Vbatt
diretto
Key
Gnd
IN-pilot light
Out-pilot light
In Unlock hands free
Out unlock hands free
Led
HALL
SET DOWN
SET UP
TURN
HORN
HI BEAM
PASSING
V
O
OM
VM
H
V
7 ETV Motor +
8 ETV Motor -
56 TPS Gnd
68 Signal Tps Main
57 Signal Tps (sub)
49 V supply TPS
(Bk/O)Gnd APS (main)
(Bn/R)V supply APS (main)
(O) Signal APS (main)
(Gr/Bk) Signal APS (sub)
(Bk/W) APS (sub) gnd
(Bn/B) V supply APS (Sub)